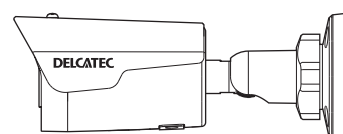
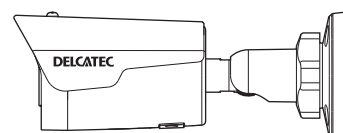
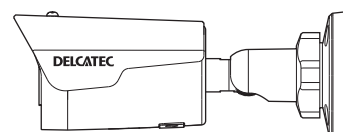
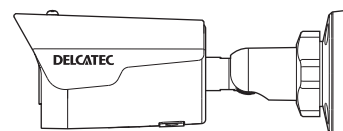
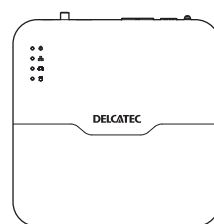


ネットワークカメラ 4ch セット CNE3SZ41



はじめに

準備

設定

その他

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

- ・ この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

もくじ

はじめに	2	録画画質を設定する.....	33
安全上のご注意	4	録画スケジュールを設定する	35
使用上のお願い	7	録画データをバックアップする	39
録画について	7	モニター管理画面で操作する場合 ..	39
使用上のご注意	7	Web ブラウザー管理画面で操作する場	
設置のご注意	7	合	42
このマニュアルについて	7	データをバックアップする	45
用語	8	アラームの設定をする	46
このマニュアルで使われている記号..	8	動体検知の設定	46
本製品の概要	9	タンパリング検知の設定をする	49
管理画面について	10	ビデオロスアラームの設定をする ..	52
		VCA の設定をする	55
		映像を拡大して見る（デジタルズー	
		ム）	64
		ライブ映像画面でズーム表示する ..	64
		再生画面でズーム表示する	65
		設定メニューについて	67
		カメラ選択	68
		カメラ選択	68
		エンコード	73
		音声検出	75
		スナップショット	76
		画面表示	77
		画像	78
		プライバシーマスク	83
		PTZ	84
		VCA 検索	85
		VCA 検索	85
		ネットワーク	87
		基本	87
		アドバンスド	90
		システム	95
		基本	95
		画面表示	96
準備	11		
接続方法	12		
マウスの使い方	14		
キーボード入力の方法	15		
設定	16		
初期設定	17		
ホーム画面	22		
メインメニュー	23		
ポップアップメニュー	24		
コンテキストメニュー	25		
録画映像を再生する	26		
再生画面の表示方法	26		
再生画面について	27		
タイムライン表示	29		
タグ付けした映像を再生	29		
イベントとして登録された映像を再生			
する	30		
ファイル管理画面	31		

時刻.....	99
休日.....	101
ユーザー管理.....	102
セキュリティ.....	105
バックアップ.....	108
録画ステータス.....	108
画像.....	109
ストレージ.....	110
録画ステータス.....	110
スナップショット.....	112
スナップショット撮影スケジュールを 表示することができます。...	112
ハードディスク.....	114
容量設定.....	115
アドバンスド.....	117
アラーム.....	118
動体検知.....	118
タンパリング.....	121
人体検知.....	124
ビデオロス検出.....	125
システム警告.....	125
ブザー.....	125
ドアベルコール.....	125
入力／出力.....	128
VCA.....	129
システム警告.....	132
ブザー.....	134
ドアベルコール.....	134
ワンキー警戒解除.....	135
メンテナンス.....	137
システム情報.....	137
ネットワーク情報.....	139
ログ.....	142
バックアップ.....	143
リストア.....	145
自動機能.....	145
アップグレード.....	146
クラウドアップグレード.....	146
HDD.....	147
メンテナンスログ.....	149

手動.....	150
マニュアル録画.....	150
手動スナップショット.....	151
手動アラーム.....	151
ブザー.....	151
電源オフ.....	152
電源オフ.....	152
Web 管理画面について.....	154
ホーム画面.....	155
ツールメニュー.....	157
再生画面.....	158
動画選択パネル.....	160
設定画面.....	161
クライアント.....	164
システムーセキュリティ HTTPS.....	165
システムーセキュリティ SSH.....	165
カメラ選択ーカメラ選択.....	166
カメラ選択ーアドバンスド.....	168
カメラ選択ー画面表示ー画面表示内容.....	168
メンテナンスーパケットキャプチャ.....	169
メンテナンスーメンテナンスーメンテ ナンス.....	170

その他 171

共通.....	172
ログインパスワードを変更する ...	172
Web 管理画面.....	179
使用上のご注意.....	181
設置上のご注意.....	183
各部の名称とはたらき.....	184

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



警告

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

一般的な注意事項	水ぬれ禁止	接触禁止	指示を守る
一般的な禁止事項	分解禁止	ぬれ手禁止	プラグを抜く



警告



指定の電源で使用する

- 本製品に同梱されている AC アダプター、電源コードは本製品専用です。他の機器への流用および同梱以外の機器・ケーブルの使用はできません。
他の機器の AC アダプターや電源コードなどを使用すると火災や感電の原因となります。
- 同梱の AC アダプター、電源コードは AC100V (50/60Hz) コンセントを使用する。
100V 以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。



ケーブルに無理な力を加えたり、傷つけたりしない

- ケーブル類は、傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、重いものを載せる、加熱する（熱器具に近づける）、引っばるなどをしない。
電源コードなどが傷んだときは（心線の露出、断線など）、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。そのまま使用すると火災や感電などの原因となります。



通風孔をふさいだり、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない

火災や感電の原因となります。



お手入れは AC アダプターをコンセントから抜いてから行う

感電ややけどの原因となります。



結露した状態で使用しない

故障の原因となります。
電源を切り、結露がとれたあとで、電源を供給し直してください。



ぬれた手でさわらない

感電の原因となります。



雷が鳴り出したら本体やコードに触れない

感電の原因となります。



分解、改造、修理はしない

感電・火災・故障の原因となります。
故障した場合は、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。



スピーカーに耳をあてない

難聴などの原因となります。



異常があるときは、すぐに使用を中止する

次のような異常時は、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。

- 煙がでる、変な臭いがする
 - 内部に水や昆虫、物が入った
 - 異音が鳴る
 - 電源プラグ・AC アダプターのコードや本体の外部が破損、劣化している
- 火災、感電、けが、故障の原因となります。

警告



長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグ・AC アダプターを AC コンセントから抜く
火災の原因となります。



電源プラグ・AC アダプターは、風通しの悪い場所で使用しない
風通しを悪くすると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- ・ 押入れ、本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む
- ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする
- ・ 布や布団でおおったり、包んだりする



電源プラグ・AC アダプターに水をかけたり、濡らしたりしない
また、AC アダプターの上に水や薬品の入った容器を置かない

水や薬品が中に入った場合、火災や感電の原因となります。また、ペットなどの動物が AC アダプターの上に乗らないように注意してください。尿や糞が中に入った場合、火災や感電の原因となります。



電源プラグ・AC アダプターは、AC コンセントに根元までしっかりと差し込む

すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、AC アダプターは定期的に AC コンセントから抜いて掃除してください。



万一、AC アダプターを落としたり、破損したりした場合、AC アダプターを AC コンセントから抜いて販売店に連絡する

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電源プラグ・AC アダプターを AC コンセントから抜くときは、コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ず電源プラグ・AC アダプター本体を持って抜いてください。



本製品を移動する場合、必ず電源プラグ・AC アダプターを AC コンセントから抜く

コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。



本製品にホースなどで直接水をかけない
火災や感電の原因となります。



雷の発生が予想されるときは、前もって、電源プラグ・AC アダプターを AC コンセントから抜く
落雷によって、火災の原因となることがあります。



電源（AC100V）を入れたまま配線工事をしない
火災や感電の原因となります。



雷のときは配線工事をしない
感電の原因となります。



次の場所に設置しない

- ・ 強度の不足する場所、不安定な場所
落下や転倒によるけがの原因となります。
- ・ 継続的に振動が発生する場所（工事現場など）
落下や転倒によるけがの原因となります。
- ・ 人や車両の通行の妨げになる場所
ぶつかったり、接触したりして、けがや破損の原因となります。
- ・ 直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
- ・ 浴室やシャワー室、プールなどの湿気の多い所
湿気や湯気による故障の原因となります。
- ・ 塩害や腐食性ガスが発生する場所
取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- ・ 可燃性ガスが発生している場所
爆発によるけがの原因となります。
- ・ 可燃物のそば
 - ・ わらぶき屋根の軒下
 - ・ ベランダなど、洗濯物や布団などがカメラに触れる場所
 - ・ 風により可燃物が飛んできてカメラを覆う恐れのある場所火災の原因となります。



設置、点検時は次のことに注意する

- ・ 設置や配線、点検時は電源を切ってから作業する。
感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- ・ 足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険なので設置工事や点検をしない。
落下や転倒によるけがの原因となります。

 警告

- 本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
けがや故障の原因となります。
- ケーブル類は正しく配置する。
引っ掛けると落下や転倒によるけが、故障の原因となります。
- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）指定がある場合は、その力（トルク）で締め付け、確実に固定する。
落下によるけがの原因となります。
- 台風のあとや積雪のあとなどは、取り付けに緩みや異常が生じることがあるので注意する。
点検はお買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。
- 取り付けたカメラにぶら下がったり、無理な力を加えたりしない。
落下による破損、けがの原因となります。

**電源工事が必要な場合は、電気工事が行えるお買い上げの販売店または工事店に依頼する**

電気工事士の資格がない場合、電気工事をすることは、法律で禁止されています。

**次のような場所や条件では、人体や医療機器などに影響を与える場合があるため、取り付けない**

- 病院など特定の電波の使用を禁止された区域
- 医療用電気機器の近く（手術室、集中治療室など）
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
- 心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の位置
誤動作による事故の原因となります。

**本製品を壁面に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付ける**

不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁（石膏ボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、ベニア板など）には取り付けしないでください。落下により、けがの原因となります。

**乳幼児の手の届く場所に付属品などを置かない**

乳幼児が付属品などを飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

**土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない**

絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。

**土中埋設する場合、ケーブルや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をする**

感電の原因となることがあります。

**取り付け後、確実に固定されているか、またときどきぐらつきがないかを確かめる**

固定が不十分な場合、落下によるけがや感電、故障の原因となります。

**屋外コンセントは、防水ケースを使用する**

電源プラグ・AC アダプターは防水仕様ではありません。漏電や感電の原因となります。

**コードをステップルなどで固定する場合は、被ふくが変形しないように固定する**

ショートや断線により、漏電、感電、火災、故障の原因となります。

**お手入れの注意**

ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。
溶けたり、変形や変色の原因となります。

**定期的に点検する**

取り付けが緩んだり、ネジが錆びたりすると、落下による破損、けがの原因となります。

使用上のお願い

録画について

本製品の故障や誤動作などの原因によって、本製品の内蔵メモリに正常に録画できなかった内容の補償、録画した内容の損失、直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。内蔵メモリの書き込み回数は、約 1000 回です。(ただし、使用環境によって異なります)

使用上のご注意

- ・ 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- ・ 本製品は、防犯を保證する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
- ・ 停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・ 周囲温度 0℃以下で使用した場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。

設置のご注意

- ・ 本製品をセンサーライトの近くに設置しないでください。誤動作することがあります。
- ・ 本製品は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。

商標について

- ・ Microsoft、Windows、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標または登録商標です。
- ・ QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- ・ その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

HE Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、DX アンテナ株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。

用語

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

本製品の概要

本製品は、DX アンテナ製ネットワークカメラ 4 台とハードディスク搭載ネットワークレコーダーがセットになっているため、登録（ペアリング）作業をすることなく、すぐに利用が可能です。

●PoE 対応

カメラ接続用ポートはすべて PoE（PoweroverEthernet）に対応。PoE 対応カメラにカテゴリー 5e 以上の LAN ケーブルを接続することで給電することができます。

●USB ポート

USB ポートを搭載し、USB メモリーを挿すことで映像の書き出しができます。

●カメラ設定

接続しているカメラの設定を、本製品の管理画面から簡単に変更することができます。

●DDNS サービス

ダイナミック DNS サービス「SkyLinkDDNS」に対応し、IP アドレスが変更されても同一カメラの映像を見ることが可能です。

●モバイル用アプリ対応

モバイル用アプリ「Guard Viewer」に対応し、スマホや（iOS/Android 版）タブレットから監視カメラのライブビュー・録画再生映像を見ることができます。

●本書に記載されているイラスト、画面などは開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

管理画面について

本製品の管理画面を表示する方法は以下の 2 通りあります。

- 本製品に直接モニターを接続する方法（モニター管理画面）
- LAN 経由でパソコン上のウェブブラウザから操作する方法（Web 管理画面）

LAN 経由でアクセスする方法（Web 管理画面）については、154 ページの「Web 管理画面について」ページをご参照ください。

準備

接続方法

■カメラ 4 台とネットワークレコーダーの接続例

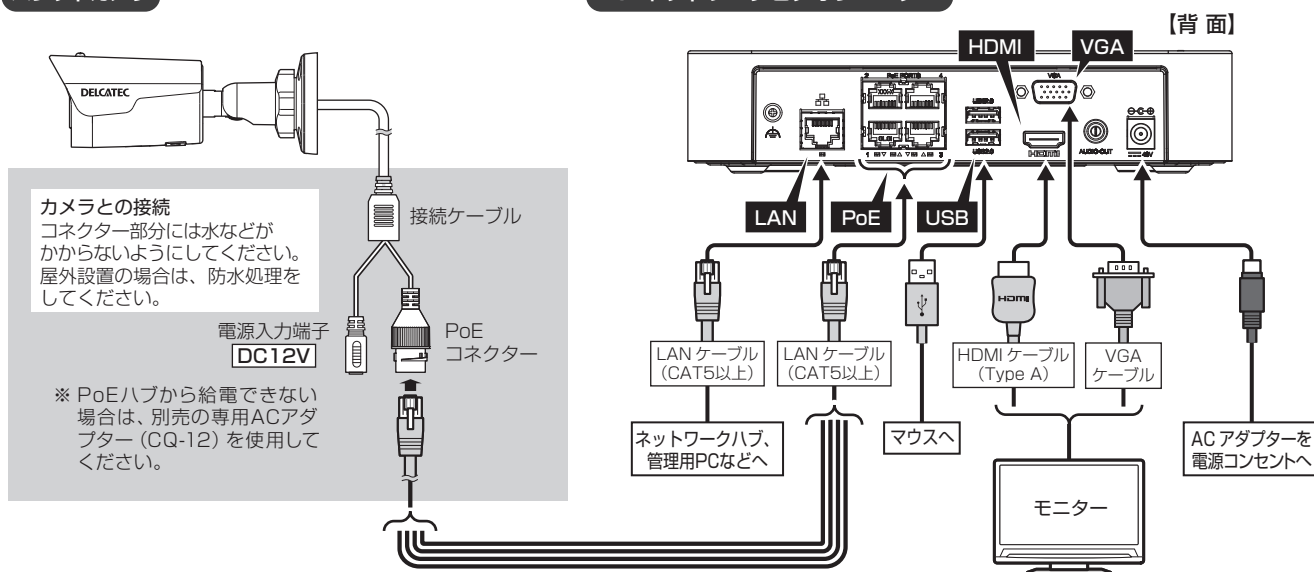
カメラの設置方法は、本製品に付属の取扱説明書をご参照ください。

重要 <モニター接続時の注意>

- 電源を入れる前に、必ず VGA または HDMI 端子にモニターを接続してください。
- ネットワークレコーダーの出力解像度の初期設定は、「1024×768/60Hz」です。接続するモニターが上記解像度に対応していない場合は、接続する前にネットワークレコーダーの出力解像度を設定してください。(96 ページ「画面表示」参照)

バレットカメラ

4chネットワークビデオレコーダー



重要 本製品に同梱されている AC アダプター、電源コードは本製品専用です。他の機器への流用および同梱以外の機器・ケーブルの使用はできません。

重要 <VGA 接続時の注意>

接続するモニターによっては、対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。モニター側の表示調整機能にて、調整をお試しく下さい。(モニターや解像度によっては、調整を行っても正しい表示にはならない場合もあります。)



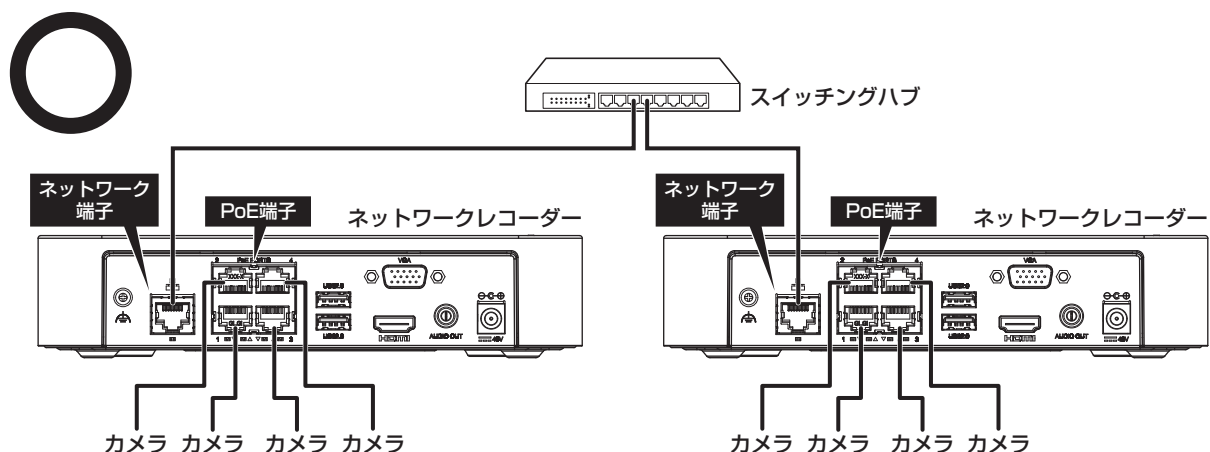
- DX アンテナ製ネットワークカメラ 4 台とハードディスク搭載ネットワークレコーダーがセットになっているため、登録 (ペアリング) 作業をすることなく、すぐに利用が可能です。

■ネットワークカメラの接続可能台数について

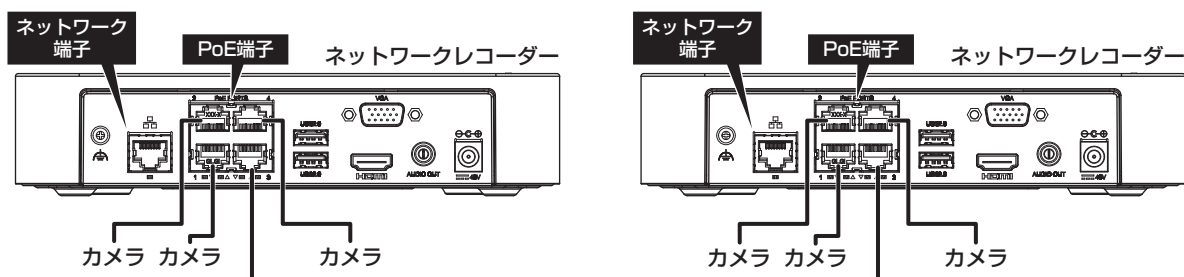
- バレットカメラ / ドームカメラ…最大 4 台まで

同一ネットワーク上に複数のネットワークレコーダーを接続する場合

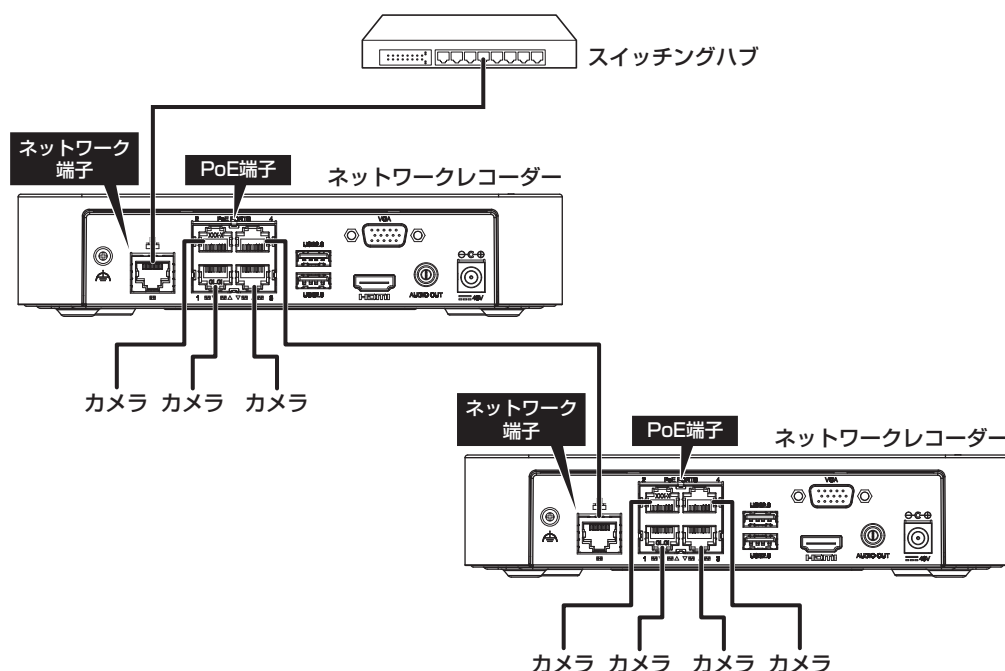
ネットワークレコーダーはスイッチングハブ経由ネットワーク端子で接続してください。ネットワークレコーダー同士を PoE 端子を利用して接続すると、誤動作の原因となります。



ネットワークレコーダー同士をPoE端子で接続しない。



ネットワークレコーダー同士をPoE 端子とネットワーク端子で接続しない。



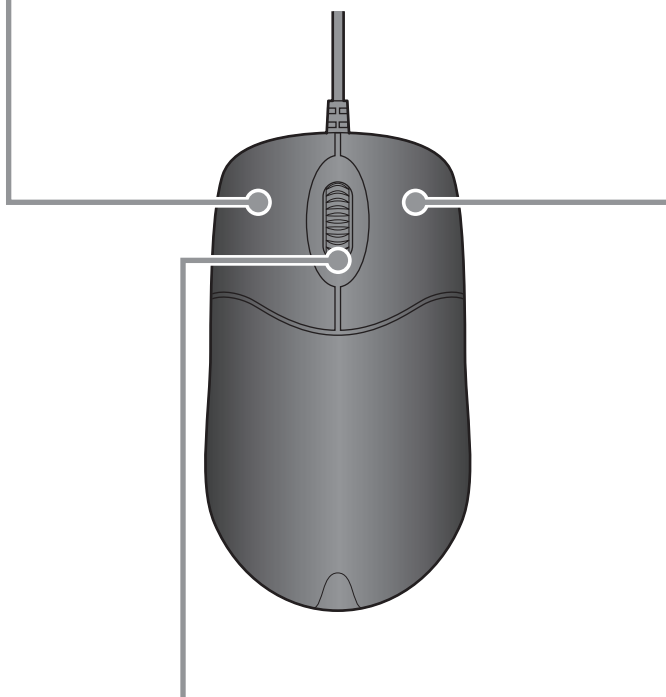
マウスの使い方

左ボタン

クリック	・ 項目の選択または確定
ダブルクリック	・ ライブビューでフルスクリーン表示にする ・ フルスクリーン表示から通常表示に戻る
ドラッグ	・ 動き検出範囲ウィンドウなどで範囲を設定

右ボタン

クリック	・ コンテキストメニューの表示 ・ ズームの終了 ・ ウィンドウを閉じる
------	--



ホイール

回転	メニューのスクロールまたは、プログレスバーの拡大／縮小
長押し	初期設定解像度（1024×768/60Hz）に戻る

キーボード入力の方法

入力欄をクリックすると、ソフトキーボードが表示されます。マウスのカーソルを入力したい文字に合わせてクリックして文字を入力します。



本製品に USB キーボードを接続しても、ご利用になれません。

設定—初期設定

初期設定

本製品の電源を入れると、モニターに初期設定ウィザードが表示されますので、画面に従って設定します。

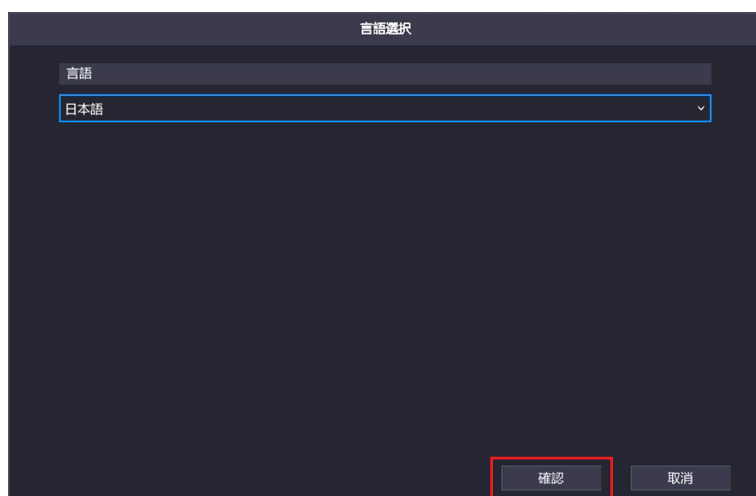
● 初期設定の内容は、後からでも設定できます。



ご使用になるモニターによっては、表示がモニターの画面からはみ出している、モニターに画面が映らない場合があります。モニターまたはレコーダーの設定してください（176 ページ）。

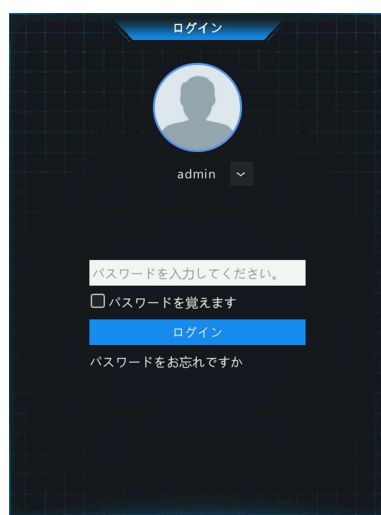
重要 電源を入れる前に、必ず VGA または HDMI 端子にモニターを接続してください。

1 言語を選択し、[確認] をクリックします。



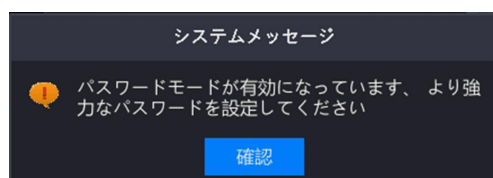
2 入力欄をクリックして初期設定のパスワードを入力します。

初期設定のパスワード：123456



ログインすると、新しいパスワードに変更するよう促すメッセージが表示されます。

[確認] をクリックすると、パスワード変更画面が表示されます。



3 新しいパスワードを設定します。

新しいパスワードは英字・数字・記号をすべて使用した 9 ～ 20 文字で設定してください。

※ 使用できない記号… / \ : * ? ' " < > | % &



①「古いパスワード」入力欄をクリックして、初期設定のパスワードを入力します。

②「パスワード」入力欄をクリックして、新しいパスワードを入力します。

※ 9 ～ 20 文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。

③ 確認のため、「パスワード（確認）」欄に新しく設定したパスワードを再度入力します。

④【確認】をクリックします。

※ パスワードの復旧設定を行う場合は、連絡先メールアドレスを入力してください。後で行う場合は、「Eメール」のチェックをはずしてください。

重要

- 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
- Eメールを設定していないと、変更したパスワードを紛失したり、忘れた場合は、復旧することができません。
- パスワードは、厳重に管理してください。

4 アンロックパターンの設定をします。

本機に接続したマウスでクリック&ドラッグしながら、○を結ぶ好きなパターンを設定します。

※ 確認のため同じパターンを2回入力する必要があります。

パターンが設定されると、ウィザード画面が表示されます。



パターンを設定しないときはスキップを選択してください

5 タイムゾーンと時間を設定して、[次へ] をクリックします。

ウィザード

1 ウィザ... 2 時刻 3 TCP/IP

タイムゾーン (UTC+09:00) Tokyo, Osaka, Se...
日付形式 YYYY-MM-DD
時間形式 24時間
システム時刻 2021-04-28 16:42:10

前へ 次へ 終了



システム時刻は、NTP サーバーによる自動更新（同期）を設定することも可能です。初期設定完了後にメニューから [設定] - [システム] - [時刻] 画面で設定できます。詳しい設定方法は 99 ページをご参照ください。

6 本機のネットワーク設定をして、[終了] をクリックします。

IP アドレスなどを変更したい場合は設定します。変更の必要のない場合は、そのまま [終了] をクリックします。

ウィザード

1 ウィザ... 2 時刻 3 TCP/IP

NIC選択 NIC1
☒ DHCP有効
IPアドレス 172 1 1 118
サブネットマスク 255 255 0 0
デフォルトゲート... 172 1 1 254
PoE NIC IP Addr. 172 16 0 1

前へ 確認 終了

ウィザード終了の確認画面が表示されるので [はい] をクリックすると、最高の画質に調整するメッセージ画面が表示されます。

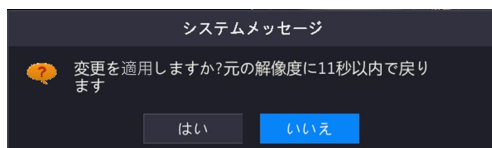
[スイッチ] をクリックすると、画質が自動調整されます。

メッセージ

最高の画質を得るには、1920 * 1080 / 60Hzをお勧めします。

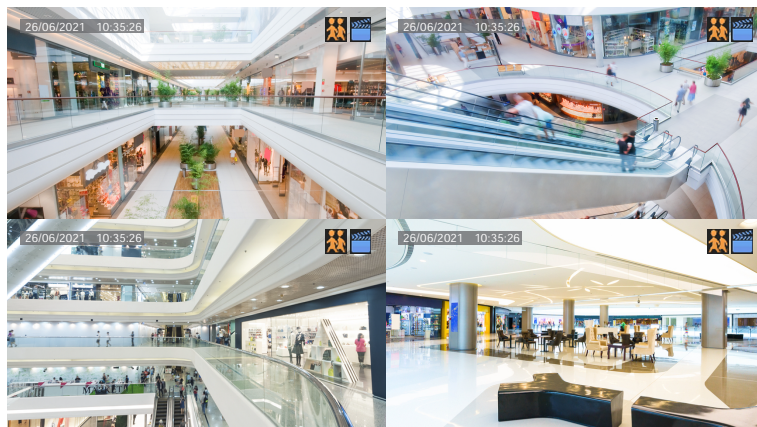
☐ 再度表示しない スイッチ 取消

自動調整後、確認メッセージが表示されます。設定を有効にするには「はい」をクリックします。



初期設定が終了し、ホーム画面が表示されます。

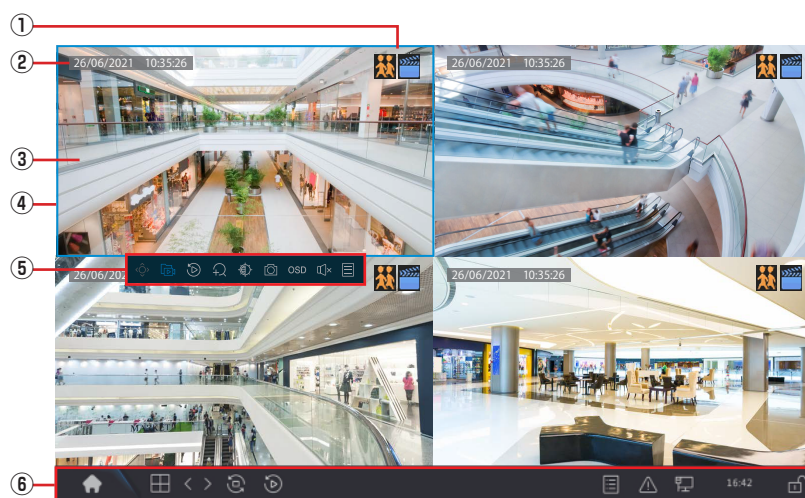
- カメラは接続するだけで、特別な設定を行わなくても映像が表示され、録画も常時行われるようになります。
- カメラ映像が表示されるまで少し時間がかかる場合があります。
➡ カメラ映像が表示されない場合は、174 ページをご参照ください。



設定—カメラ映像を見る

ホーム画面

ホーム画面には接続しているカメラのライブビューやメインメニューなどが表示されます。
(下図は画面表示が4分割表示に設定されている場合です。)



番号	項目	内容
①	状態アイコン	カメラの状態をアイコンで示します。  録画中です。  カメラのスピーカーが有効になりますが、本製品のカメラからは音声は出力できません。  カメラのマイクが有効です。カメラ側に接続されたマイク（または内蔵マイク）に入力された音声、ネットワークレコーダーに接続したスピーカーに出力されています。  動体を検知しています。  タンパリングアラーム（カメラ妨害検知機能）が発生中です。
②	現在日時	現在の日付と時刻を表示します。
③	ライブビュー	カメラの現在の映像が表示されます。
④	アクティブカメラ	映像を左クリックすると、アクティブ状態になり、ポップアップメニューが表示されます。
⑤	ポップアップメニュー	選択しているカメラに対するメニューです。 ➡ 24 ページ「ポップアップメニュー」
⑥	メインメニュー	マウスカーソルを画面下に移動すると、表示されます。 ➡ 23 ページ「メインメニュー」

メインメニュー

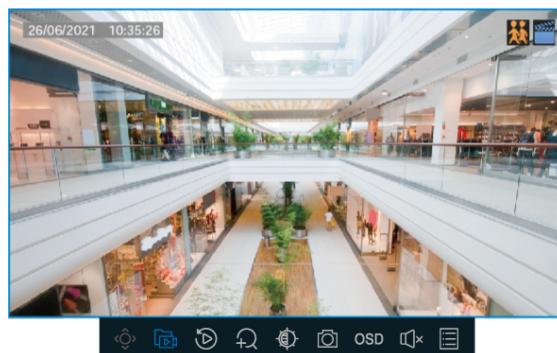
ホーム画面でマウスカーソルを一番下へ移動すると、メインメニューが表示されます。



番号	項目	内容
①	メニュー	管理画面が表示されます。表示にはログインする必要があります。
②	画面分割数	1画面のみ表示します。 4分割表示します。

ポップアップメニュー

ホーム画面でライブビュー表示の映像をクリックすると、クリックしたカメラ映像がアクティブ状態になり、ポップアップメニューが表示されます。



番号	項目	内容
①	PTZ	PTZ コントロール画面が表示され、カメラをコントロールすることができます。 ※本製品ではこの機能はご利用になれません。
②	ローカル録画 * スケジュール録画で録画中はローカル録画できません。	 録画されていません。 クリックすると、ハードディスクに録画を開始します。  録画中です。 クリックすると、録画を停止します。
③	インスタントプレイバック	クリックすると、最新の録画映像を簡易的に再生します。さかのぼる時間は設定することができます（初期設定：5 分）。
④	デジタルズーム	表示中の映像を拡大表示します。
⑤	画像設定	画像設定の画面が表示され、画面の輝度、彩度、コントラストを設定できます。
⑥	スナップショット	クリックするとスナップショットを保存します。
⑦	OSD	クリックすると、画面表示の設定画面が表示されます。
⑧	音量設定	マウスカーソルを合わせると、カメラの音量を調整できます。 クリックすると、ミュートのオン／オフを切り替えます。  ミュート中  ミュート解除中
⑨	カメラ選択	マウスカーソルを合わせると、再生しているカメラ映像のビットレートを表示します。クリックすると、[IP カメラ変更] 画面が表示され、カメラの設定ができます。



ライブビューでは、同時に複数のカメラの音声を有効にはできません。

コンテキストメニュー

ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。



番号	項目	内容
①	メニュー	管理画面を表示します。
②	共通メニュー	カメラ選択・ネット設定・バックアップの各設定画面を表示します。
③	シングルウィンドウ	選択したライブビューのカメラ映像を 1 画面全体表示します。
④	マルチウィンドウ	ライブビューのカメラ映像をマルチウィンドウで表示します。
⑤	コリドーモード	ライブビューのカメラ映像を縦長に表示します。
⑥	再生	録画映像の再生をすることができます。 ➡ 26 ページ「録画映像を再生する」
⑦	照度設定	カメラの設定画面を表示します。 ➡ 78 ページ「画像」
⑧	出力モード	映像の出力モードを設定できます。
⑨	手動	録画・アラーム・ブザーを手動で開始／停止できます。 ※アラームは本製品ではご利用になれません。

録画映像を再生する

再生画面の表示方法

- 1 ホーム画面でライブ表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから「再生」をクリックします。

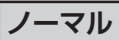
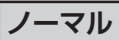
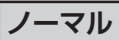


再生画面が表示されます。



再生画面について



番号	項目	内容										
①	カメラ選択	再生するカメラを選択します。										
②	日付	選択再生する日付を選択します。録画データがある日付には、   で表示されます。										
③	再生モード	<table><tr><td></td><td>通常の再生画面です。</td></tr><tr><td></td><td>スマート検索結果をもとに再生します *1。</td></tr><tr><td></td><td>縦長分割画面で映像を再生します。 (最大 3 画面までの表示となります。)</td></tr></table> *1：スマート検知された場合、再生速度が通常速度で再生されます。 検知されない場合は、16 倍の速度で再生され、時間の節約になります		通常の再生画面です。		スマート検索結果をもとに再生します *1。		縦長分割画面で映像を再生します。 (最大 3 画面までの表示となります。)				
	通常の再生画面です。											
	スマート検索結果をもとに再生します *1。											
	縦長分割画面で映像を再生します。 (最大 3 画面までの表示となります。)											
④	ツールボタン	再生画面上で左クリックすると、ツールバーが表示されます。 <table><tr><td></td><td>スナップショット スナップショットを保存します。 コリドーモードのときは、アクティブ状態になっている映像のスナップショットを保存します。</td></tr><tr><td></td><td>タグの追加 画面が表示され、追加するタグに任意の名前を付けることができます。タグは、映像をバックアップするときなど、後で特定シーンを検索するときに使用できます。 ➡ 30 ページ「タグ付けした映像を再生する」</td></tr><tr><td></td><td>デジタルズーム 画面の一部を拡大表示します。マウスでクリック & ドラッグをしながら、拡大したい箇所を選択します。 ➡ 57 ページ「再生画面でズーム表示する」</td></tr><tr><td></td><td>音量調整 音量を調整します。ミュートを解除しているときに、アイコンの上にマウスカーソルを置くと、スライダーを表示します。スライダーで音量を調節します。アイコンをクリックするとミュート／ミュート解除が切り替わります。</td></tr><tr><td></td><td>保護 現在の再生位置の前後 5 分間の映像をロックします。ロックを行うと録画映像の削除を行えなくなり、ディスクが一杯のときでも自動的に削除されることがなくなります。</td></tr></table>		スナップショット スナップショットを保存します。 コリドーモードのときは、アクティブ状態になっている映像のスナップショットを保存します。		タグの追加 画面が表示され、追加するタグに任意の名前を付けることができます。タグは、映像をバックアップするときなど、後で特定シーンを検索するときに使用できます。 ➡ 30 ページ「タグ付けした映像を再生する」		デジタルズーム 画面の一部を拡大表示します。マウスでクリック & ドラッグをしながら、拡大したい箇所を選択します。 ➡ 57 ページ「再生画面でズーム表示する」		音量調整 音量を調整します。ミュートを解除しているときに、アイコンの上にマウスカーソルを置くと、スライダーを表示します。スライダーで音量を調節します。アイコンをクリックするとミュート／ミュート解除が切り替わります。		保護 現在の再生位置の前後 5 分間の映像をロックします。ロックを行うと録画映像の削除を行えなくなり、ディスクが一杯のときでも自動的に削除されることがなくなります。
	スナップショット スナップショットを保存します。 コリドーモードのときは、アクティブ状態になっている映像のスナップショットを保存します。											
	タグの追加 画面が表示され、追加するタグに任意の名前を付けることができます。タグは、映像をバックアップするときなど、後で特定シーンを検索するときに使用できます。 ➡ 30 ページ「タグ付けした映像を再生する」											
	デジタルズーム 画面の一部を拡大表示します。マウスでクリック & ドラッグをしながら、拡大したい箇所を選択します。 ➡ 57 ページ「再生画面でズーム表示する」											
	音量調整 音量を調整します。ミュートを解除しているときに、アイコンの上にマウスカーソルを置くと、スライダーを表示します。スライダーで音量を調節します。アイコンをクリックするとミュート／ミュート解除が切り替わります。											
	保護 現在の再生位置の前後 5 分間の映像をロックします。ロックを行うと録画映像の削除を行えなくなり、ディスクが一杯のときでも自動的に削除されることがなくなります。											
⑤	外部ファイル	USB 端子に接続した USB メモリなどからファイルを読み出すことができます。										

はじめに

準備

設定

その他

番号	項目	内容														
⑥	クリッピング開始・クリッピング終了	ビデオの一部を切り取ることができます。 クリッピングボタンをクリックすると「⑧タイムライン」上に6時開始、18時終了のマークが表示されます。マークをドラックして開始、終了を指定します。切り取られる箇所は水色で表示されます。 切り取った後、[ファイル管理] ボタンをクリックすると、切り取った映像を保存することができます。														
⑦	ファイル管理	[ファイル管理] 画面を表示し、動画や画像をバックアップしたり、タグの編集をします。➡ 31 ページ「ファイル管理画面」														
⑧	スナップショット	スナップショットを保存します。														
⑨	タイムライン	映像の再生位置などが表示されます。➡ 29 ページ「タイムライン表示」														
⑩	コントロールパネル	<table><tr><td></td><td>一時停止</td></tr><tr><td></td><td>停止</td></tr><tr><td></td><td>逆再生</td></tr><tr><td></td><td>巻き戻し／早送り（30 秒）</td></tr><tr><td></td><td>再生速度ダウン／再生速度アップ ✎ 逆再生時は「-1x」より遅い速度（-1/2x、-1/4x など）は設定できません。 </td></tr><tr><td></td><td>コマ送り</td></tr><tr><td></td><td>再生速度表示</td></tr></table>		一時停止		停止		逆再生		巻き戻し／早送り（30 秒）		再生速度ダウン／再生速度アップ ✎ 逆再生時は「-1x」より遅い速度（-1/2x、-1/4x など）は設定できません。		コマ送り		再生速度表示
	一時停止															
	停止															
	逆再生															
	巻き戻し／早送り（30 秒）															
	再生速度ダウン／再生速度アップ ✎ 逆再生時は「-1x」より遅い速度（-1/2x、-1/4x など）は設定できません。															
	コマ送り															
	再生速度表示															
⑪	解像度	再生する映像の解像度を選択します。														
⑫	全画面	表示全画面表示で再生します。右クリックで元の画面に戻ります。														
⑬	終了	再生画面を閉じます。														

タイムライン表示



番号	項目	内容
①	プログレスバー	選択中のカメラ（青色枠）の状態が表示されます。 通常録画された映像データは青色、イベントが検知された箇所はオレンジ色で表示されます。
②	スライダー	現在の再生位置を表示します。 ドラッグすると、再生位置を移動することができます。
③	表示時間単位	プログレスバーのスライダーを動かすと、表示される時間軸の単位を 6 段階（10 分・30 分・1 時間・6 時間・12 時間・24 時間）に切り替えられます。

タグ付けした映像を再生する

タグ付けをした映像を検索して再生することができます。

- 再生画面で画面左下の【ビデオ検索】をクリックします。
- 「タイプ」のプルダウンメニューから【タグ検索】をクリックします。
- タグ付けされた映像を検索します。
 - ① 検索するカメラを選択します。選択するカメラのチェックボックスにチェックを入れます。
 - ② タグのキーワードで絞り込む場合は、「キーワード」欄にキーワードを入力します。
 - ③ 検索する日時の範囲を指定します。
 - ④ 【検索】 ボタンをクリックします。
入力したタグのキーワードに該当するタグが表示されます。
キーワードを入力しない場合は、すべてのタグが表示されます。
- 検索条件に当てはまるタグの一覧が表示されますので、再生するタグ付けされた映像の再生ボタンをクリックします。

イベントとして登録された映像を再生する

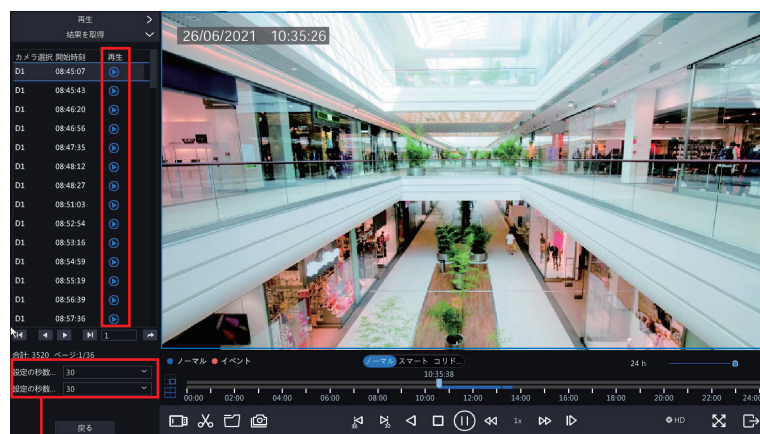
イベントとして登録された映像を検索して再生することができます。

- 1 再生画面で再生画面左下の【ビデオ検索】をクリックします。
- 2 タグ付けされた映像を検索します。



- ① 検索するイベントの種類を選択します。
[アラーム入力／動体検知／ビデオロス]
- ② 検索するカメラを選択します。
- ③ 検索する範囲を指定します。
- ④ [検索] ボタンをクリックします。

- 3 検索条件に当てはまるタグの一覧が表示されますので、再生するタグ付けされた映像の再生ボタンをクリックします。



タグ付けされた映像の開始時間と終了時間を設定します。

ファイル管理画面



「ファイル管理」ボタンを押すと「ファイル管理画面」が表示され、クリップした映像などを USB ストレージにバックアップすることができます。



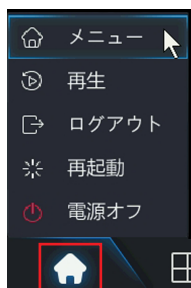
項目	内容
ビデオクリップ	クリッピングで切り取った映像を保存します。 クリッピング機能で切り取った映像が一覧表示されます。 クリッピングの方法は 28 ページの「クリッピング開始・クリッピング終了」をご参照ください。
再生画像	再生中に撮影されたスナップショットを表示します。
保護ファイル	保護した映像を保存します。
タグ	カスタムタグやデフォルトタグの編集をします。

設定—録画設定をする

録画画質を設定する

録画映像の解像度やフレームレート、画質を適切なものに設定します。

- 1 ホーム画面でメニューアイコン  をクリックします。



映像を右クリックして表示されるコンテキストメニューにある「メニュー」からも管理画面へ入ることができます。

- 2 認証画面が表示されますので、パスワードを入力して【ログイン】をクリックします。
管理画面が表示されます。
- 3 【カメラ選択】をクリックします。



- 4 必要に応じて以下のメニューに入り、設定を行います。

【カメラ選択】 — 【エンコード】

映像の解像度や圧縮方法の設定を行います。

→ 詳しい設定内容は 73 ページ「エンコード」



[カメラ選択] — [画像]

映像の画質や露出、ホワイトバランスを設定します。

➡詳しい設定内容は 78 ページ「画像」



画像はライブビュー映像をクリックしたときのポップアップメニュー（24 ページ）からも簡易的に設定することができます。



録画スケジュールを設定する

初期設定では録画は 24 時間 365 日行われます。夜間や休日に録画をしないときなどは、スケジュール設定をします。

1 ホーム画面でメニューアイコン をクリックします。

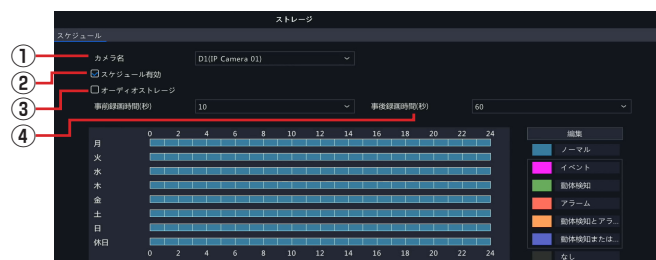


映像を右クリックして表示されるコンテキストメニューにある「メニュー」からも管理画面へ入ることができます。

2 パスワードを入力して管理画面に入り、[ストレージ] — [録画ステータス] をクリックします。スケジュール画面が表示されます。



3 スケジュール設定するカメラを選択し、録画設定をします。



① スケジュール設定するカメラを [カメラ名] から選択します。

注意

別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。
設定中にカメラを変更する場合は、[適用] をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。

② [スケジュール有効] にチェックを入れます。

③ [オーディオストレージ] にチェックを入れます。

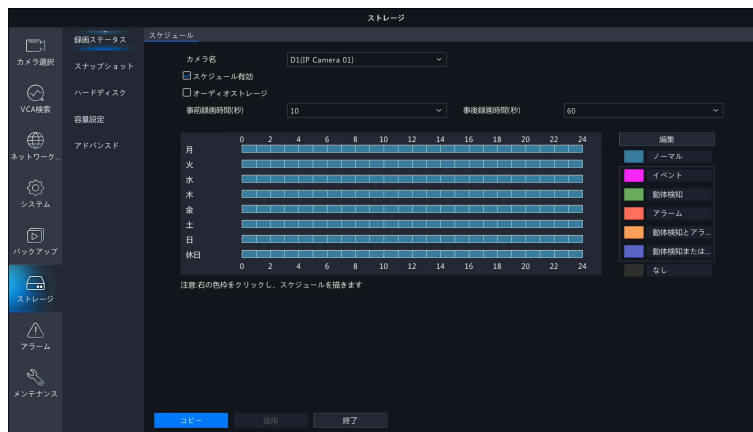
[オーディオストレージ] にチェックを入れると、音声付きで録画ができます。

④ [事前 / 事後録画時間 (秒)] を設定します。

事前録画時間：指定した時間だけスケジュールの録画開始時間より前に録画を開始します。

事後録画時間：指定した時間だけスケジュールの録画終了時間後も録画します。

4 スケジュール設定を行います。



①スケジュールに割り当てたい録画の種類をクリックします。

項目	内容
 ノーマル	通常の録画を行います。
 イベント	指定した時間にイベント（動体検知時、アラーム発生時、ビデオロス検知時）が起こったときに録画を行います。 ➡ 46 ページ「アラームの設定をする」（動体検知・タンパリング・ビデオロス）
 動体検知	指定した時間に動体検知をしたときに録画を行います。動体検知機能が「有効」になっている必要があります。 ➡ 118 ページ「動体検知」
 アラーム	指定した時間にアラーム発生したときに録画を行います。
 動体検知とアラーム	指定した時間に動体検知とアラームが同時発生したときに録画を行います。
 動体検知またはアラーム	動体検知またはアラームのどちらかが発生したときに録画を行います。
 なし	録画を行いません。

②スケジュール表をクリックして色を塗り、スケジュールを設定します。



「編集」をクリックすると、他の曜日に設定をコピーすることができます。

<設定例>

月～日	0:00 ～ 6:00 と 19:00 ～ 24:00 はアラーム発生時のみ録画。 その他の時間は通常録画。
休日	録画なし。 ➡ 休日の設定方法は、101 ページ「休日」をご参照ください。

5 [適用] をクリックして設定を保存します。

注意 [適用] を押す前に他のカメラを選択すると、設定がリセットされますのでご注意ください。

6 他のカメラも同様に設定します。

[コピー] をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

設定—その他の使い方

録画データをバックアップする

モニター管理画面で操作する場合

本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存することができます。

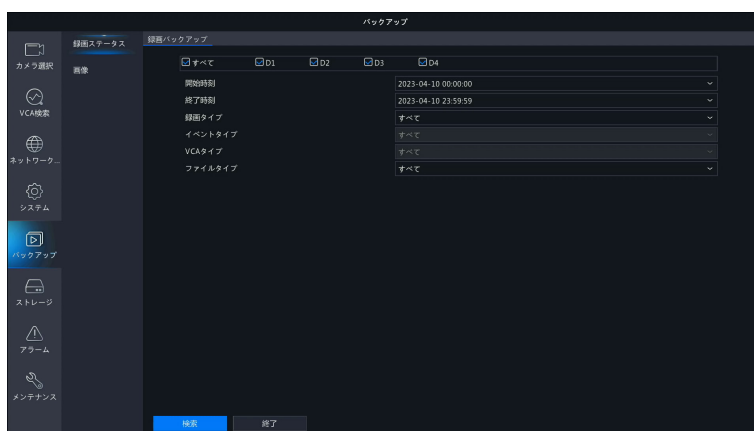
- USB ストレージデバイスは、パーティションを FAT32 または NTFS フォーマットでフォーマットし、本製品背面の USB 端子に接続してください。
- 映像のファイル形式は「.mp4」です。

1 USB ストレージデバイスを本製品に接続したときに表示されるメニューから「録画バックアップ」を選択します。

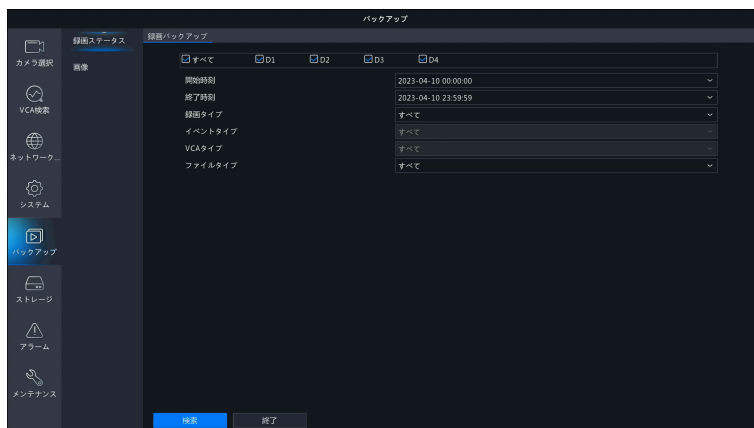
※ UBS ストレージを本製品に接続したときだけ表示されるメニューです。



2 パスワードを入力して管理画面に入り、[バックアップ] — [録画ステータス] をクリックします。バックアップ画面が表示されます。



3 バックアップしたい映像の条件を指定し、[検索] をクリックします。



項目	内容	
録画タイプ	バックアップする映像の種類を指定します。	
	すべて	すべての映像から選択します。
	ノーマル	通常の録画映像（手動録画した映像・動体検知録画・アラーム録画含むイベント録画として録画された映像以外）から選択します。
	手動	手動録画した映像から選択します。
	イベント	イベントとして録画された映像から選択します。
イベントタイプ	[録画タイプ] で [イベント] を選択したときに、イベントの種類を以下の中から指定します。 [すべて／動体検知／アラーム／動体検知とアラーム／動体検知またはアラーム／ビデオクロス検出／VCA／人体検知／ドアベルコール]	
VCA タイプ	検知の種類を以下の中から指定します。 [すべて / 顔検知 / クロスライン検知 / 侵入検知 / 音声検知 / マスク未着用検出 / エリア立ち入り検知 / エリア立ち去り検出] の項目が指定できますが、動作するのは [すべて / クロスライン検知 / 侵入検知] のみです。	
ファイルタイプ	映像の種類を以下の中から指定します。[すべて／解除／保護]	
開始時刻	映像の開始時刻を指定します。	
終了時刻	映像の終了時刻を指定します。	

4 検索結果画面が表示されますので、バックアップする映像を選択するか、[全てバックアップ]をクリックします。



- 本製品では、カメラの映像を約 250MB ごとに 1 つのファイルとして内部で管理しています。バックアップ時にもこの内部ファイル単位でバックアップファイルが作成されます。そのため、開始時間・終了時間によっては、複数のファイルが出力されます。
- 録画データのバックアップの際に、外付けの USB ハードディスクを使用する場合、ファイルやフォルダに、2 バイト文字（全角文字）が含まれていると、正しく表示されない場合があります。
※ 外付けの USB ハードディスクのフォーマット形式は FAT32 または NTFS に対応しています。

5 バックアップ画面が表示されますので、フォルダを選択し、[バックアップ] をクリックします。



ストレージデバイスをフォーマットします。

現在のフォルダにバックアップします。



- 接続されている USB ストレージデバイスの容量が 2TB を超える場合は、[フォーマット] をクリックすると、NTFS ファイルシステムにフォーマットされます。容量が 2TB 以下の場合、FAT32 または NTFS ファイルシステムにフォーマットされます。
- バックアップファイルの名前は、「(カメラ名) (録画開始時間) .mp4」となります。(例：Ch9-20150630183546.mp4)
- 画像のバックアップは、[バックアップ] - [画像] メニューから同じ手順で行います。ファイルの拡張子は「.jpg」となります。

Web ブラウザー管理画面で操作する場合

本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、管理用パソコンにファイルとして保存することができます。

- 映像のファイル形式は、「.mp4」です。



詳しいWEB 管理画面の表示方法は 154 ページ「Web 管理画面について」をご参照ください。

- 1 管理用 PC と本製品のレコーダーを LAN ケーブルで接続し、Microsoft Edge または Google chrome を開き、以下のページを表示します。

http://192.168.1.30

- 管理用 PC の IP アドレスを「192.168.1.100」など同じネットワークセグメント内に設定し、ブラウザから上記アドレスにアクセスしてください。

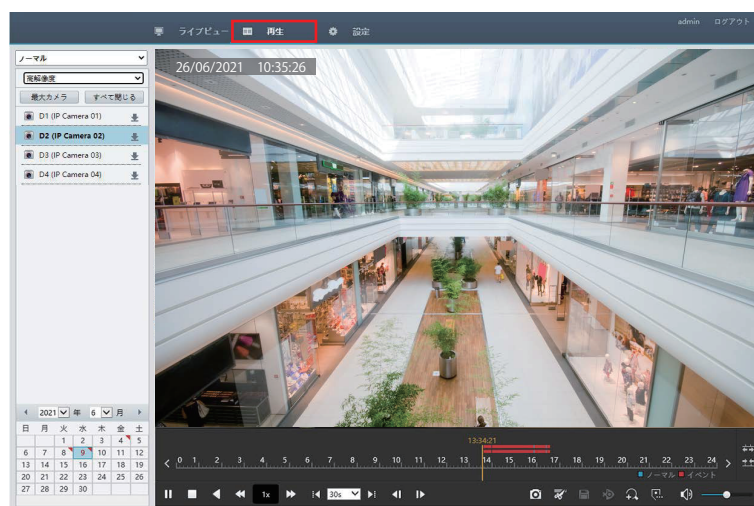
- 2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力してログインします。

ユーザー名：設定したユーザー名（初期値は admin）

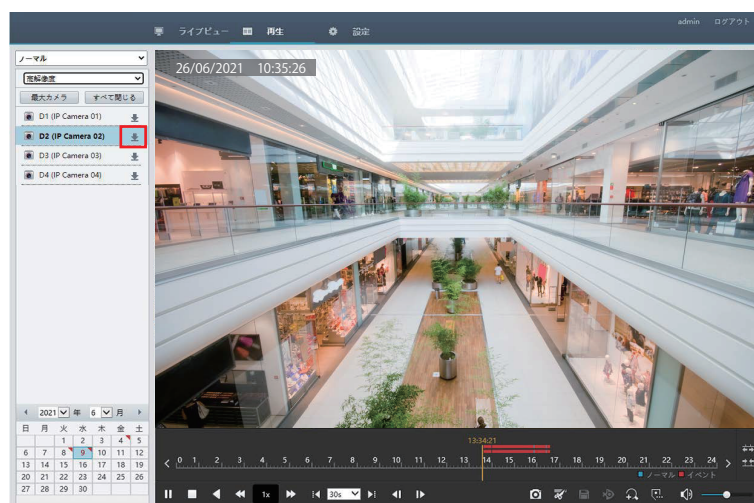
パスワード：設定したパスワード（初期設定は 123456）

- 3 メインメニューから「再生」を選択します。

再生画面が表示されます。



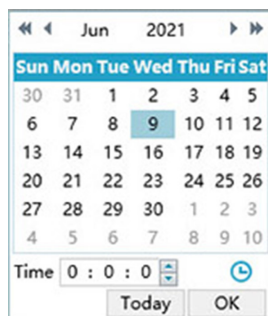
- 4 録画データをバックアップしたいカメラのアイコンをクリックします。



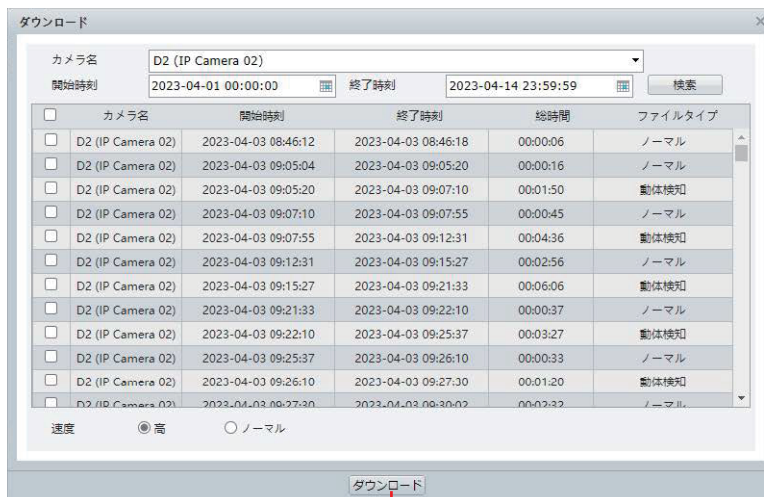
- 5** ダウンロード画面が表示されますので、以下の方法でカメラ、日時を選択し、映像をダウンロードします。



- ① バックアップしたいカメラが選択されているか確認します（複数台選択可）。
- ② 開始時刻をクリックして、バックアップを開始したい日付と時刻を選択します。
 - ◀/▶：先月、次月を表示します。
 - ◀◀/▶▶：前年、次年を表示します。



- ③ 「終了時刻」をクリックして、バックアップを終了したい日付と時刻を同様に選択します。
- ④ 「検索」をクリックします。
- ⑤ 条件に当てはまる映像が表示されますので、チェックを入れ、「ダウンロード」をクリックします。
ダウンロードが開始されます。

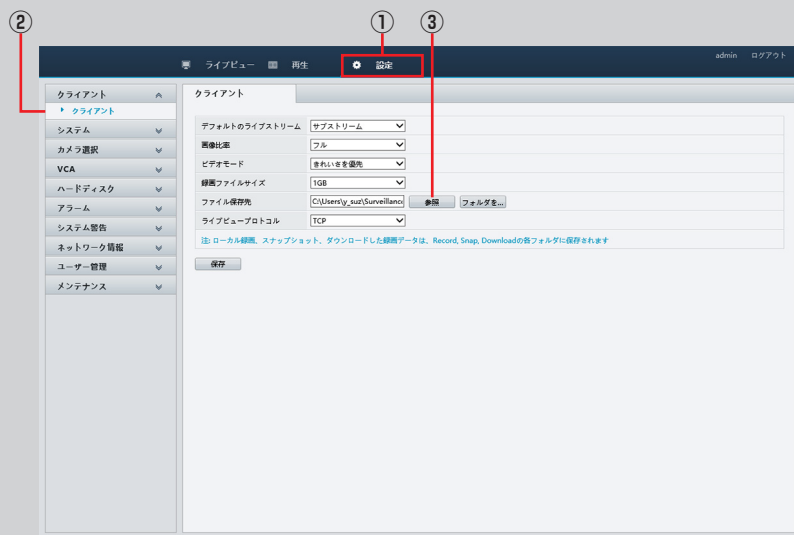


- ダウンロード中は、画面右上に進捗状況が%で表示されます。クリックすると、進捗の詳細が確認できます。
- ダウンロードが完了すると、「ダウンロード成功」と表示されます。



ダウンロード先フォルダを変更する場合は

- ①メインメニューから「設定」を選択します。
- ②サブメニューから「クライアント」を選択します。
- ③「ファイル保存先」の「参照」をクリックしてフォルダを選択します。



データをバックアップする

本製品の設定データや録画データを USB ストレージデバイスにバックアップすることができます。

- 1 USB ストレージデバイスを本製品に接続します。
- 2 USB ストレージデバイス接続後に自動表示されるメニューから、接続している USB デバイスの名前をクリックします。
- 3 [USB デバイス] 画面が表示されますので、バックアップメニューをクリックします。



バックアップ方法は以下の各参照ページをご参照ください。

番号	項目	内容	参照ページ数
①	システムバックアップ	設定情報を USB ストレージデバイスに保存したり、保存した設定情報を読み込むことができます。	143 ページ
②	パケットバックアップ	パケットをキャプチャして保存します。	140 ページ
③	VCA バックアップ	侵入検知やクロスライン検知が作動した情報を保存します。	55 ページ
④	ログバックアップ	ユーザーが実行した操作やデバイスのステータスの履歴を保存します。	142 ページ
⑤	スナップショットバックアップ	スナップショットのデータを保存します。	76 ページ



録画データのバックアップの際に、外付けの USB ハードディスクを使用する場合、ファイルやフォルダに、2 バイト文字（全角文字）が含まれていると、正しく表示されない場合があります。

※ 外付けの USB ハードディスクのフォーマット形式は FAT32 または NTFS に対応しています。

アラームの設定をする

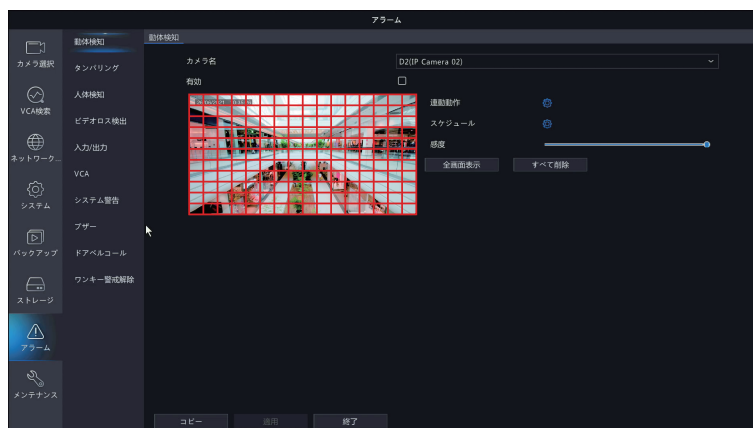
映像に動きや妨害行為を検知したときや、映像が中断したときにブザーやEメールで通知することができます。

項目	内容	ページ数
動体検知	動体検知機能を有効にすると、動きを検知したときにアラームを出力します。初期設定では有効になっています。	46 ページ
タンパリング	タンパリング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力します。初期設定では無効になっています。	49 ページ
ビデオロス	カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力します。初期設定では有効になっています。	52 ページ
VCA	侵入検知、クロスライン検知および音声検知を設定することができます。	55 ページ

動体検知の設定

動体検知機能を有効にすると、動きを検知したときにアラームを発生させることができます。
初期設定では動体検知は有効になっています。

- 1 ホーム画面でメニューアイコン  をクリックするか、ライブビュー画面で右クリックしてメニューをクリックします。
- 2 パスワードを入力して管理画面に入り、[アラーム] — [動体検知] をクリックします。
動体検知画面が表示されます。

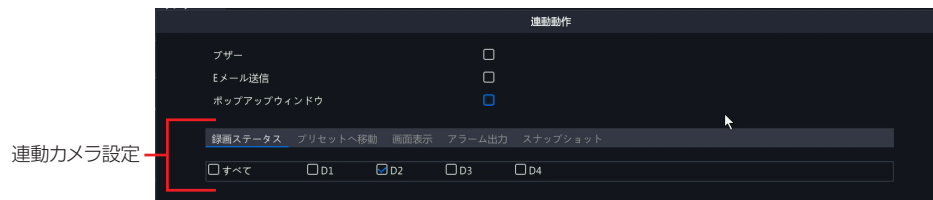


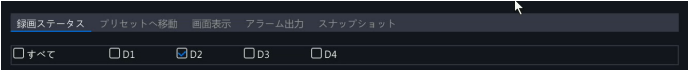
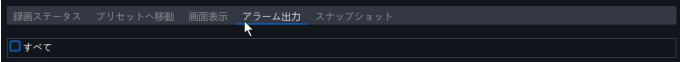
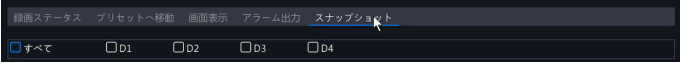
- 3 動体検知を設定するカメラを選択し、設定を行います。



- ① 動体検知の設定をするカメラを [カメラ名] から選択します。
- ② [有効] にチェックを入れます。

③ [連動動作] 欄にあるをクリックして、動体検知をしたときに連動させる動作を設定します。



項目	内容
ブザー	チェックを入れると、動体検知時にブザーが鳴ります。
E メール送信	チェックを入れると、動体検知時に E メールを送信します。 Eメールの設定は 89 ページ「E メール」をご参照ください。  以下のような E メールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: 動体検知, カメラ ID:**)」 本文 「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N 値: (レコーダーのデバイス番号)
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、動体検知時にポップアップウィンドウを表示します。
連動カメラ設定	連動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <録画ステータス> 動体検知時にチェックを入れたカメラの録画を開始します。  <プリセットへ移動> 本項目は将来の機能拡張用の設定項目です。現在にご利用いただくことはできません。  <画面表示> 動体検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を全画面表示します。  <アラーム出力> 動体検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。 ※本製品ではこの機能はご利用になれません。  <スナップショット> 動体検知時にチェックしたカメラに表示されている映像のスナップショットを保存します。 

④ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

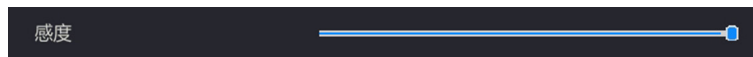
- ⑤ スケジュール欄にあるをクリックして、動体検知を有効にするスケジュールを設定します。



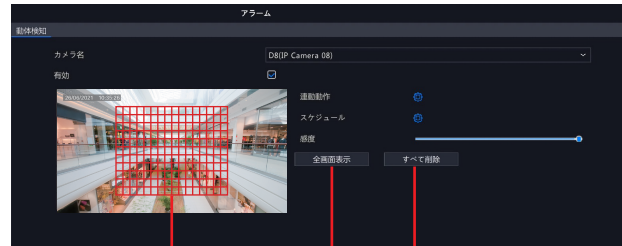
項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。➡ 101 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	動体検知を有効にする時間を設定します。
コピー	他の曜日に設定をコピーします。

- ⑥ スライダーを動かして感度を設定します。

感度の数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、わずかな動きでも検知しやすくなります。



4 動体検知を有効にする範囲を設定します。

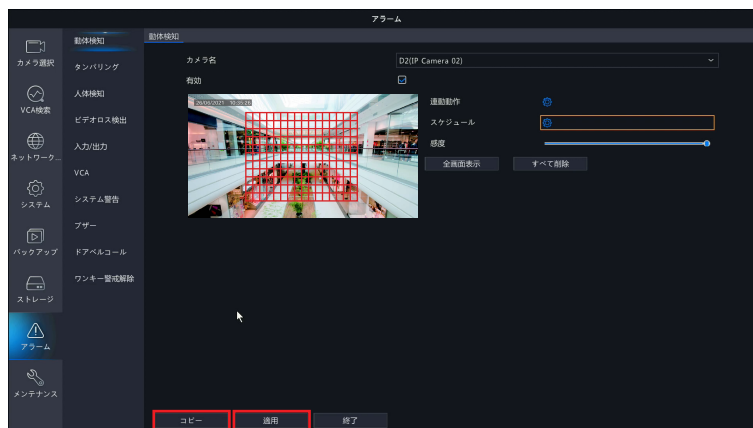


動体検知範囲をすべて削除します。

動体検知範囲を画面全体に設定します。

マウスをドラッグして範囲を指定します。
赤枠が動体検知が有効の範囲です。

5 [適用] をクリックして設定を保存します。



6 他のカメラも同様に設定します。

[コピー] をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

タンパリング検知の設定をする

タンパリング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力します。初期設定では無効になっています。

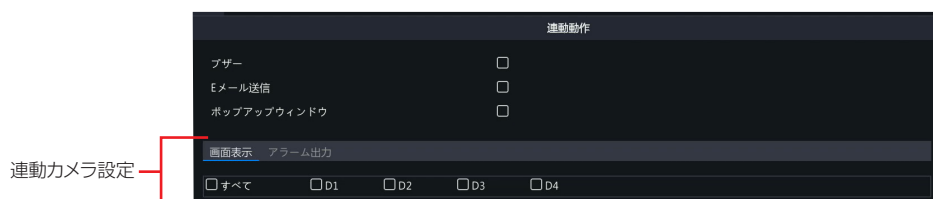
- 1 メニューアイコンをクリックします。
- 2 パスワードを入力して管理画面に入り、[アラーム] — [タンパリング] をクリックします。
タンパリング検知画面が表示されます。



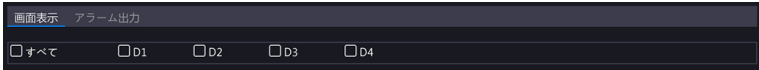
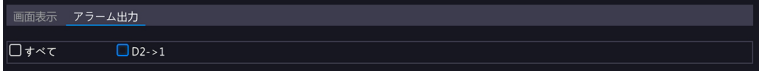
- 3 タンパリング検知を設定するカメラを選択し、設定を行います。



- ① タンパリング検知の設定をするカメラを [カメラ名] から選択します。
- ② [有効] にチェックを入れます。
- ③ [連動動作] 欄にある  をクリックして、タンパリング検知をしたときに連動させる動作を設定します。



項目	内容
ブザー	チェックを入れると、タンパリング検知時にブザーが鳴ります。

項目	内容
E メール送信	チェックを入れると、タンパリング検知時に E メールを送信します。 Eメールの設定は 89 ページ「E メール」をご参照ください。  以下のような E メールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: タンパリング検知, カメラ ID:*)」 本文 「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N 値: (レコーダーのデバイス番号)」
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、タンパリング検知時にポップアップウィンドウを表示します。
連動カメラ	設定連動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <画面表示> タンパリング検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を表示します。  <アラーム出力> タンパリング検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。 ※本製品ではこの機能はご利用になれません。 

④ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

⑤ [スケジュール] 欄の  をクリックして、タンパリング検知を有効にするスケジュールを設定します。

スケジュール

現在のカメラ

曜日選択

時刻

1

2

3

4

5

6

7

8

D8

月

開始時刻

終了時刻

00 00 24 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

コピー先

☐ すべて ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 ☐ 日 ☐ 休日

適用 確認 取消

項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ➔ 101 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	タンパリング検知を有効にする時間を設定します。
コピー	他の曜日に設定をコピーします。

⑥ スライダーを動かして感度を設定します。

感度の数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、検知しやすくなります。

4 [適用] をクリックして設定を保存します。

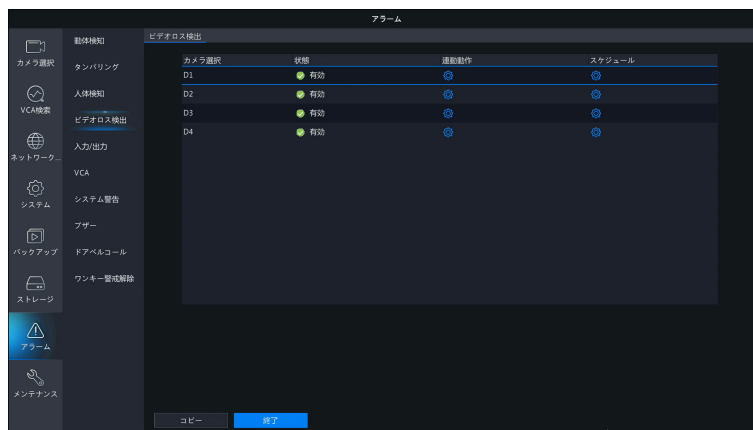
5 他のカメラも同様に設定します。

[コピー] をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

ビデオロスアラームの設定をする

カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力します。
初期設定では有効になっています。

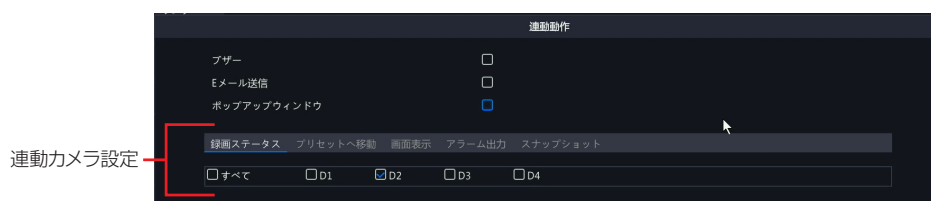
- 1 メニューアイコンをクリックします。
- 2 パスワードを入力して管理画面に入り、[アラーム] — [ビデオロス] をクリックします。
ビデオロス画面が表示されます。

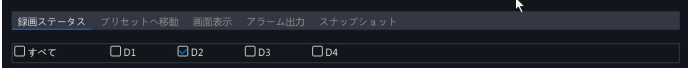
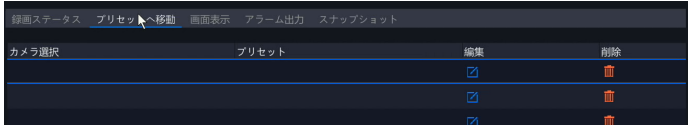
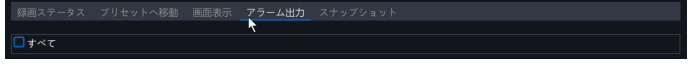


- 3 連動動作とスケジュール設定を行います。



- ① カメラごとにビデオロス機能の有効／無効を切り替えます。
- ② [連動動作] 欄にある  をクリックして、ビデオロス検知をしたときに連動させる動作を設定します。



項目	内容
ブザー	チェックを入れると、ビデオロス検知時にブザーが鳴ります。
Eメール送信	チェックを入れると、ビデオロス検知時にEメールを送信します。 Eメールの設定は89ページ「Eメール」をご参照ください。  以下のようなEメールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: ビデオロス, カメラ ID: **)」 本文 「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N 値: (レコーダーのデバイス番号)
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、ビデオロス検知時にポップアップウィンドウを表示します。
連動カメラ設定	連動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <録画ステータス> ビデオロス検知時にチェックを入れたカメラの録画を開始します。  <プリセットへ移動> 本項目は将来の機能拡張用の設定項目です。現在のご利用いただくことはできません。  <画面表示> ビデオロス検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を全画面表示します。  <アラーム出力> ビデオロス検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。 ※本製品ではこの機能はご利用になれません。  <スナップショット> 動体検知時にチェックしたカメラに表示されている映像のスナップショットを保存します。 

③ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

④ [スケジュール] 欄にあるをクリックして、ビデオロス検知を有効にするスケジュールを設定します。

スケジュール

現在のカメラ

曜日選択

時刻

1

2

3

4

5

6

7

8

D8

月

開始時刻

終了時刻

00 00 24 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

コピー先

☐すべて ☐月 ☐火 ☐水 ☐木 ☐金 ☐土 ☐日 ☐休日

適用 確認 取消

項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ➡ 101 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	ビデオロス検知を有効にする時間を設定します。
コピー	他の曜日に設定をコピーします。

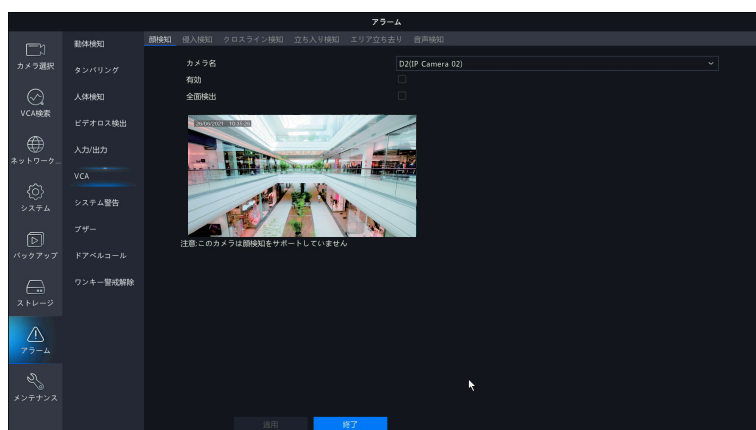
- ⑤ 設定後、【適用】 をクリックして設定を完了します。

VCA の設定をする

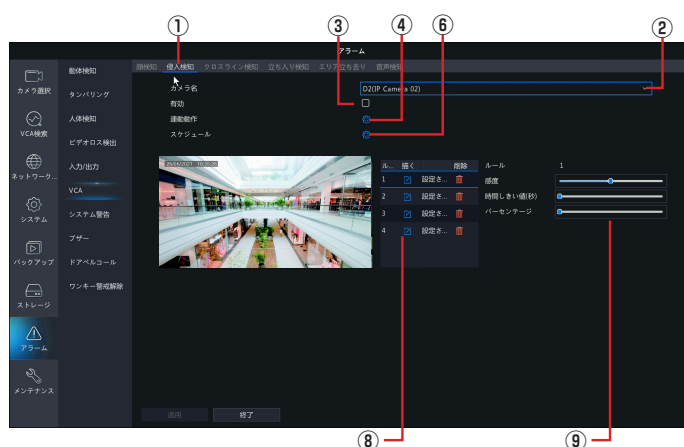
侵入検知およびクロスライン検知、音声検知の設定をすることができます。
顔検知、立ち入り検知、エリア立ち入り検知は動作しません。

■侵入検知

- 1 メニューアイコンをクリックします。
- 2 パスワードを入力して管理画面に入り、[アラーム] — [VCA] をクリックします。

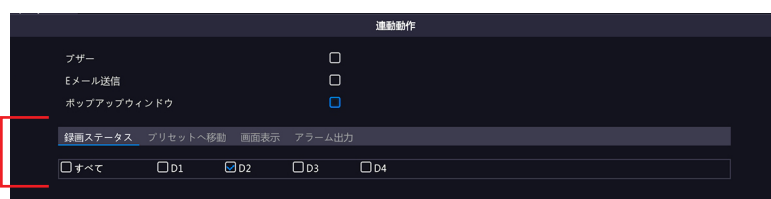


- 3 侵入検知の設定を行います。



- ① [侵入検知] を選択します。
- ② 侵入検知の設定をするカメラを [カメラ名] から選択します。
- ③ [有効] にチェックを入れると、侵入検知機能が有効になります。
- ④ [連動動作] 欄にある  をクリックして、侵入検知をしたときに連動させる動作を設定します。

連動カメラ設定



項目	内容																
ブザー	チェックを入れると、侵入を検知した場合、ブザー音を鳴らします。																
E メール送信	チェックを入れると、侵入を検知した場合、E メールを送信します。 Eメールの設定は 89 ページ「E メール」をご参照ください。  以下のような E メールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: 侵入検知 , カメラ ID:**)」 本文 「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N 値: (レコーダーのデバイス番号)																
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、侵入を検知した場合、ポップアップウィンドウを表示します。																
連動カメラ設定	連動動作の内容を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <録画ステータス> 侵入検知時にチェックを入れたカメラの録画を開始します。 録画ステータス プリセットへ移動 画面表示 アラーム出力 ☐すべて ☐D1 ☒D2 ☐D3 ☐D4 <プリセットへ移動> 本項目は将来の機能拡張用の設定項目です。現在のご利用いただくことはできません。 録画ステータス プリセットへ移動 画面表示 アラーム出力 <table><tr><th>カメラステータス</th><th>プリセット</th><th>編集</th><th>削除</th></tr><tr><td></td><td></td><td>☒</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>☒</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>☒</td><td></td></tr></table> <画面表示> 侵入検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を全画面表示します。 録画ステータス プリセットへ移動 画面表示 アラーム出力 ☐すべて ☐D1 ☐D2 ☒D3 ☐D4 <アラーム出力> 侵入検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。 ※本製品ではこの機能はご利用になれません。 録画ステータス プリセットへ移動 画面表示 アラーム出力 ☒すべて ☐D2->1	カメラステータス	プリセット	編集	削除			☒				☒				☒	
カメラステータス	プリセット	編集	削除														
		☒															
		☒															
		☒															

⑤ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

⑥ [スケジュール] 欄にあるをクリックして、侵入検知を有効にするスケジュールを設定します。

現在のカメラ

曜日選択

時刻

1

2

3

4

5

6

7

8

スケジュール

D8

月

開始時刻

終了時刻

00	00	24	00
00	00	00	00
00	00	00	00
00	00	00	00
00	00	00	00
00	00	00	00
00	00	00	00
00	00	00	00

コピー先 ☐すべて ☐月 ☐火 ☐水 ☐木 ☐金 ☐土 ☐日 ☐休日

適用 確認 取消

項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ➡ 101 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	侵入検知を有効にする時間を設定します。
コピー	他の曜日に設定をコピーします。

- ⑦ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。
- ⑧ ルールの右の[描く]にあるをクリックして、ライブ画面上で4つ以上の頂点をクリックし、検知領域を設定してください。最大で4エリア4ルールまで設定できます。をクリックすると、検知エリアを削除できます。



- ⑨ スライダーを動かして、感度、時間しきい値、パーセンテージの設定を変更します。

[感度]

侵入検知の感度を設定します（1～100（初期値：50）で設定できます）。

数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、わずかな動きでも検知しやすくなります。

[時間しきい値（秒）]

エリアの中に対象物が留まる時間を設定します（1～10秒（初期値：1秒）で設定できます）。

数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、長い時間（秒）を検知します。

[パーセンテージ]

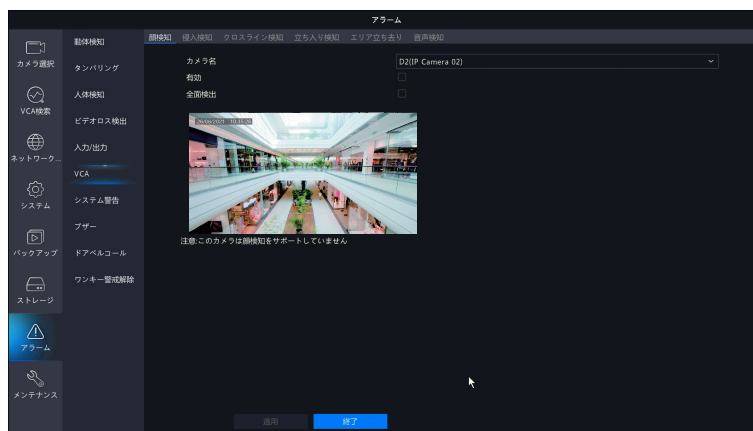
エリア内で検知する面積のパーセンテージを設定できます（初期値：1秒）。

数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、面積の大きなパーセンテージを検知します。

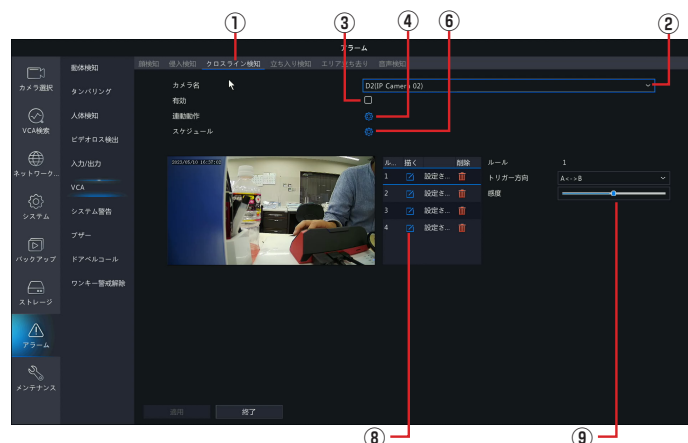
- ⑩ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

■クロスライン検知

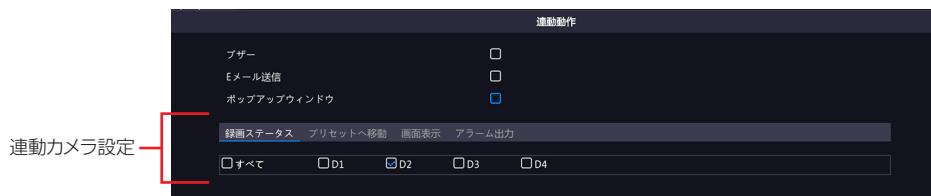
- 1 メニューアイコンをクリックします。
- 2 パスワードを入力して管理画面に入り、[アラーム] — [VCA] をクリックします。



- 3 クロスライン検知を設定するカメラを選択し、設定を行います。



- ① [クロスライン検知] を選択します。
- ② クロスライン検知の設定をするカメラを [カメラ名] から選択します。
- ③ [有効] にチェックを入れると、クロスライン検知が有効になります。
- ④ [連動動作] 欄にある  をクリックして、クロスラインを超えたときに連動させる動作を設定します。



項目	内容																
ブザー	チェックを入れると、クロスラインを超えた場合、ブザー音を鳴らします。																
E メール送信	チェックを入れると、クロスラインを超えた場合、E メールを送信します。 Eメールの設定は 89 ページ「E メール」をご参照ください。  以下のような E メールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: クロスライン検知 , カメラ ID:**)」 本文 「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N 値: (レコーダーのデバイス番号)																
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、クロスラインを超えた場合、ポップアップウィンドウを表示します。																
連動カメラ設定	連動動作の内容を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <録画ステータス> クロスライン検知時にチェックを入れたカメラの録画を開始します。 録画ステータス プリセットへ移動 画面表示 アラーム出力 ☐ すべて ☐ D1 ☒ D2 ☐ D3 ☐ D4 <プリセットへ移動> 本項目は将来の機能拡張用の設定項目です。現在のご利用いただくことはできません。 録画ステータス プリセットへ移動 画面表示 アラーム出力 <table><thead><tr><th>カメラステータス</th><th>プリセット</th><th>編集</th><th>削除</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td>☒</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>☒</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>☒</td><td></td></tr></tbody></table> <画面表示> クロスライン検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を全画面表示します。 録画ステータス プリセットへ移動 画面表示 アラーム出力 ☐ すべて ☐ D1 ☐ D2 ☒ D3 ☐ D4 <アラーム出力> クロスライン検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。 ※本製品ではこの機能はご利用になれません。 録画ステータス プリセットへ移動 画面表示 アラーム出力 ☒ すべて ☐ D2->1	カメラステータス	プリセット	編集	削除			☒				☒				☒	
カメラステータス	プリセット	編集	削除														
		☒															
		☒															
		☒															

⑤ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

⑥ [スケジュール] 欄にある  をクリックして、侵入検知を有効にするスケジュールを設定します。

スケジュール

現在のカメラ

D8

曜日選択

月

時刻

開始時刻

終了時刻

1	00	00	24	00
2	00	00	00	00
3	00	00	00	00
4	00	00	00	00
5	00	00	00	00
6	00	00	00	00
7	00	00	00	00
8	00	00	00	00

コピー先

☐ すべて ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 ☐ 日 ☐ 休日

適用

確認

取消

項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ➡ 101 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	クロスライン検知を有効にする時間を設定します。
コピー	他の曜日に設定をコピーします。

- ⑦ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。
- ⑧ [描く] 欄にある  をクリックして、クロスライン検知を設定します
(クロスライン検知を削除するときは、 をクリックします)。



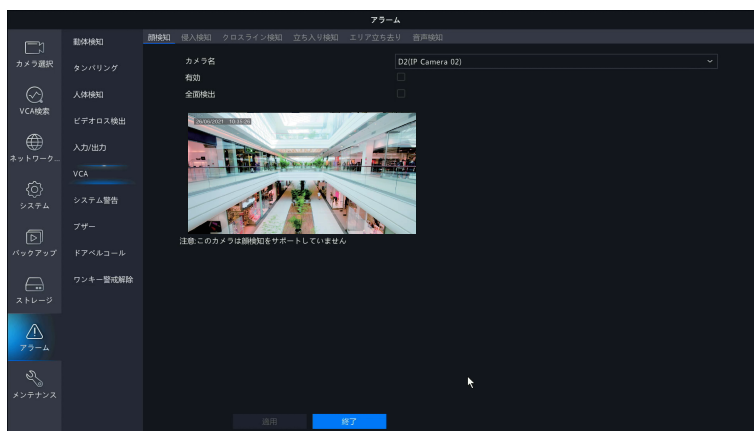
- ⑨ トリガー方向と感度を設定します。

項目	内容	
トリガー方向	検知ラインを通過する方向を設定します。一方または両方向を選択することができます。	
	A <-> B	両方向
	B->A	B から A 方向へ通過
	A->B	A から B 方向へ通過
感度	検知エリアに侵入したターゲットの割合を設定します。	
	数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、検知する割合が低くなります。 例）60: ターゲット全体の40%がエリアに入ったときに検知が作動する	

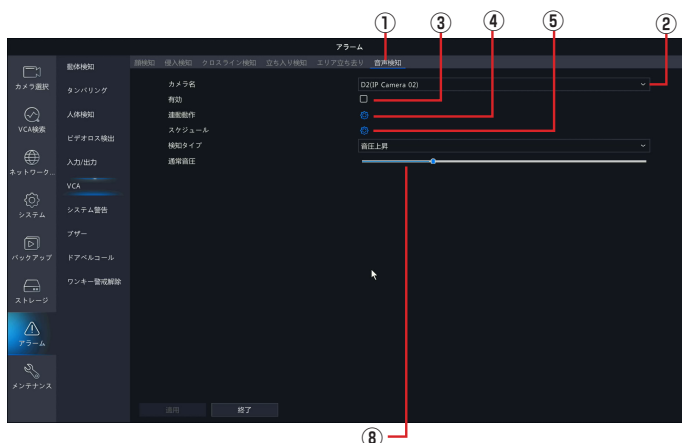
- ⑩ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

■音声検知

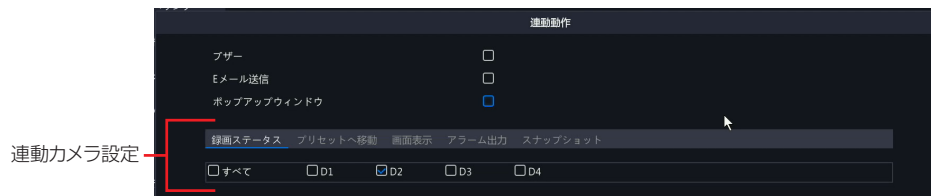
- 1 メニューアイコンをクリックします。
- 2 パスワードを入力して管理画面に入り、[アラーム] — [VCA] をクリックします。

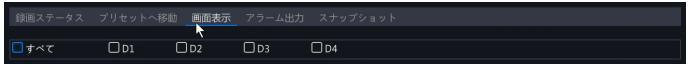
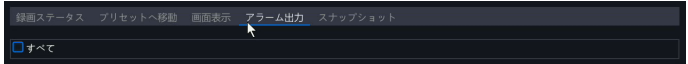


- 3 音声検知を設定するカメラを選択し、設定を行います。



- ① [音声検知] を選択します。
- ② 音声検知の設定をするカメラを [カメラ名] から選択します。
- ③ [有効] にチェックを入れた、音声検知が有効になります。
- ④ [連動動作] 欄にある  をクリックして、音声検知をしたときに連動させる動作を設定します。



項目	内容
ブザー	チェックを入れると、音声を検知した場合、ブザーが鳴ります。
E メール送信	チェックを入れると、音声を検知した場合、E メールを送信します。 Eメールの設定は 89 ページ「E メール」をご参照ください。  以下のような E メールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ : 音声検知 , カメラ ID:**)」 本文 「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻 : (アラーム発生年月日 ・ 時分秒) カメラ名 : (カメラ名) デバイス名 : (レコーダー名) S/N 値 : (レコーダーのデバイス番号)
ポップアップ ウィンドウ	チェックを入れると、音声検知時にポップアップウィンドウを表示します。
連動カメラ設定	連動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <録画ステータス> 音声検知時にチェックを入れたカメラの録画を開始します。  <プリセットへ移動> 本項目は将来の機能拡張用の設定項目です。現在にご利用いただくことはできません。  <画面表示> 音声検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を全画面表示します。  <アラーム出力> 音声検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。 ※本製品ではこの機能はご利用になれません。  <スナップショット> 音声検知時にチェックしたカメラに表示されている映像のスナップショットを保存します。 

⑤ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

⑥ [スケジュール] 欄にある🗓️をクリックして、音声検知を有効にするスケジュールを設定します。

項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ➡ 101 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	音声検知を有効にする時間を設定します。
コピー	他の曜日に設定をコピーします。

⑦ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

⑧ 検知タイプを設定します。

項目	内容	
検知タイプ	音圧を設定することができます。	
	音圧上昇	音圧の上昇が規定値を超えるとアラームを出力します。
	音圧下降	音圧の下降が規定値を超えるとアラームを出力します。
	音圧変化	音圧の上昇または下降が規定値を超えるとアラームを出力します。
	しきい値	検知する音圧のしきい値を設定することができます。
通常音圧 (しきい値)	音圧のレベルを設定することができます。 数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、検知する音圧変化は大きくなります。	

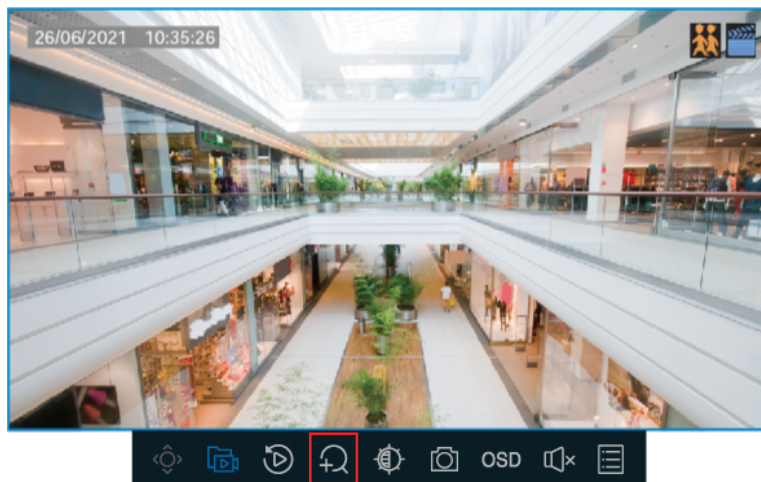
⑨ 設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

映像を拡大して見る（デジタルズーム）

ライブ映像画面や再生画面では映像の一部をデジタルズームで拡大して見るができます。

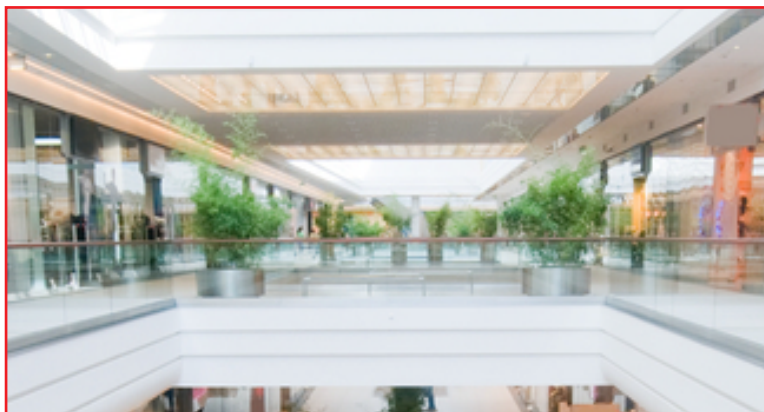
ライブ映像画面でズーム表示する

- 1 ズーム表示したい映像をクリックしてメニューを表示し、デジタルズームボタンをクリックします。



デジタルズームボタン

- 2 1 画面表示に切り替わりますので、ズーム表示するエリアをマウスでクリック&ドラックして指定すると、選択した範囲が拡大表示されます。

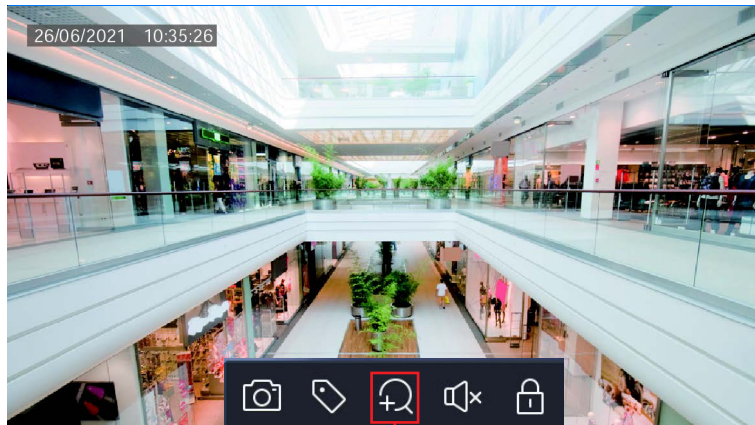


ズーム表示を解除するとき

右クリックで拡大解除、さらに右クリックでデジタルズームが終了します。

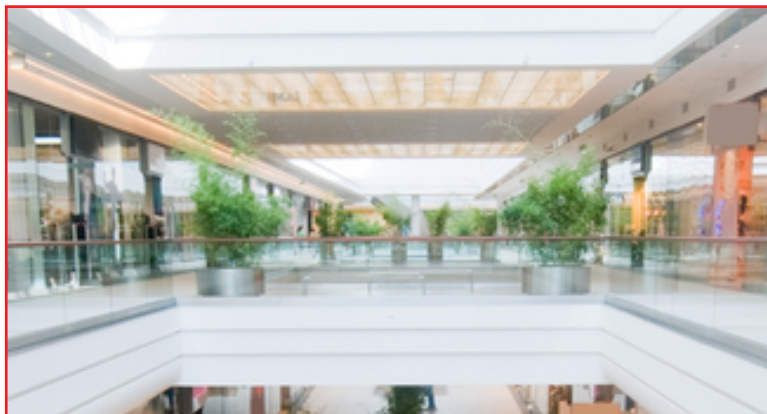
再生画面でズーム表示する

- 1 ズーム表示したい映像を左クリックしてメニューを表示し、デジタルズームボタンをクリックします。



デジタルズームボタン

- 2 1 画面表示に切り替わりますので、ズーム表示するエリアをマウスでクリック&ドラックして指定すると、選択した範囲が拡大表示されます。



デジタルズーム機能は通常の再生時のみ使用できます。インスタントプレイバック時は使用できません。

ズーム表示を解除するとき

右クリックで拡大解除、さらに右クリックでデジタルズームが終了します。

設定—設定リファレンス編

設定メニューについて

メニュー項目	内容	ページ
カメラ選択	映像の設定やカメラの操作を行います。	68 ページ
VCA 検索	VCA 検知の検索を行います。	55 ページ
ネットワーク	IP アドレスなど、ネットワークの設定を行います。	87 ページ
システム	本製品のシステム設定を行います。	95 ページ
バックアップ	録画した映像を USB ストレージデバイスにバックアップします。	108 ページ
ストレージ	録画スケジュールやハードディスクの設定を行います。	110 ページ
アラーム	アラーム入／出力の設定やシステムの警告などを設定します。	118 ページ
メンテナンス	録画状態や本システムの状態、システム設定の復元／初期化、本システムのアップグレードなどを行います。	137 ページ

カメラ選択

カメラ選択

■カメラ選択

新しくカメラを追加したり、接続しているカメラを設定することができます。

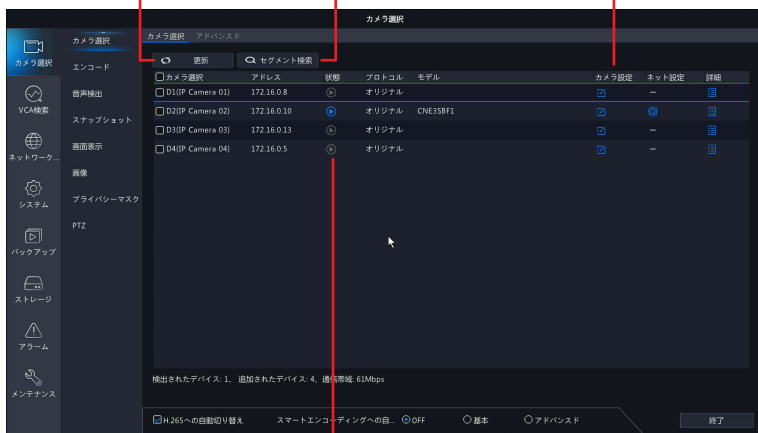


カメラ側の WebUI 上の管理画面で変更した設定はネットワークレコーダーには反映されません。ネットワークレコーダーと組み合わせて使用する場合には、ネットワークレコーダーでのみ設定の変更を行ってください。

各カメラの変更ボタンをクリックすると、IPカメラ変更画面が表示されます。

ネットワーク上のカメラを検索します。

表示を最新の情報に更新します。

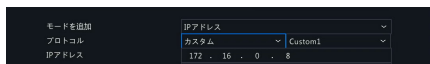


再生ボタンをクリックすると、カメラの映像が表示されます。

項目	内容
H265 への自動切り替え	本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的にビデオ圧縮形式を「H.265」に設定します。(初期値：有効)
スマートエンコーディングへの自動切り替え	本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的に拡張エンコード設定を選択した設定値に設定します。[OFF (初期値) / 基本 / アドバンスド]

ネットワーク上のカメラを検索します。

「プロトコル」に「カスタム」が選択されているときに
プロトコルの管理画面を開きます。

項目	内容	
追加モード	IP アドレス	IP アドレスを指定して接続します。
	プラグ&プレイ (初期値)	接続されたカメラを自動的に設定します。 IP アドレス表示画面の操作はできません。
	MyDDNS	外部クラウドサービスを利用して接続します。 クラウド側でのユーザー登録が必要となります。
	ドメイン名	DDNS サービスを利用して接続します。 ネットワークカメラ側で DDNS の設定が必要となります。
プロトコル	カメラとの通信プロトコルを選択します。 本設定項目は、他社製カメラ等を使用できるようにするための、将来拡張用の機能となります。 通常は変更せずにご利用ください。 [カスタム] を選択すると、以下のように表示され、カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。	
		
	プリセットは [プロトコル] ボタンをクリックすると設定することができます。	
	ONVIF	ONVIF で接続します。
オリジナル (初期値)	通常は [オリジナル] のままで使用します。	
カスタム	カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。 プリセットは [プロトコル] ボタンをクリックすると設定 することができます。	
IP アドレス	[追加モード] で [IP アドレス] を選択しているときに設定します。※	
ドメイン名	[追加モード] で [ドメイン名] を選択しているときに設定します。※	
ポート	カメラの接続情報を入力します。	
ユーザー名		
パスワード		
カメラ総数	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。通常は初期値「1」のままでご利用ください。	
長距離伝送	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。現在にご利用いただくことができません。通常はチェックをはずした状態でご利用ください。	



インターネットを介してカメラを接続する場合は、カメラ側でポートマッピングを有効にする必要があります。

※本製品の IP アドレス（または本製品にアクセスできるドメイン名）を指定しないでください。誤動作の原因となります。

登録してしまった場合は、追加モードを「プラグアンドプレイ」に変更したあと、約 30 秒経過すると登録が解除されます。

カスタムプロトコル画面

本製品のネットワークカメラを利用する場合は、本画面での設定は利用できません。プロトコルはプライベートのままご利用ください。

カスタムプロトコルの使用には、追加するネットワークカメラが標準の RTSP をサポートしている必要があります。

この方法で追加された IP デバイスは、本製品から設定できず、ライブビューと再生だけ行えます。

項目	内容
カスタム	設定するカスタムプリセットを選択します。
プロトコル名	カスタムプリセットの名称を設定します。
ポート	RTSP の設定をします。
伝送プロトコル	
メインストリーム有効	
リソースパス	
サブストリーム有効	
リソースパス	

■アドバンスド

接続しているネットワークカメラのファームウェアをアップデートします。



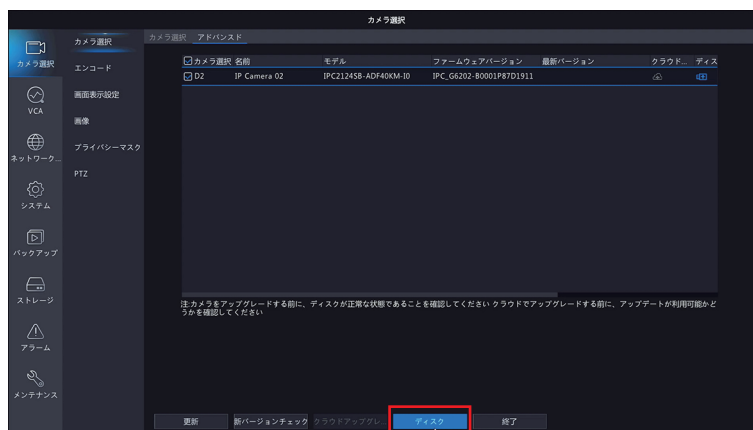
項目	内容
ディスクアイコン	クリックすると「カメラ更新」画面が表示されます。 ※ USB ストレージデバイスからファームウェアをアップグレードする際に使用します。 ※ カメラとの通信プロトコルが「プライベート」以外に設定されていると、選択できない場合があります。
デフォルトアイコン	選択したネットワークカメラを工場出荷時の設定に戻します。



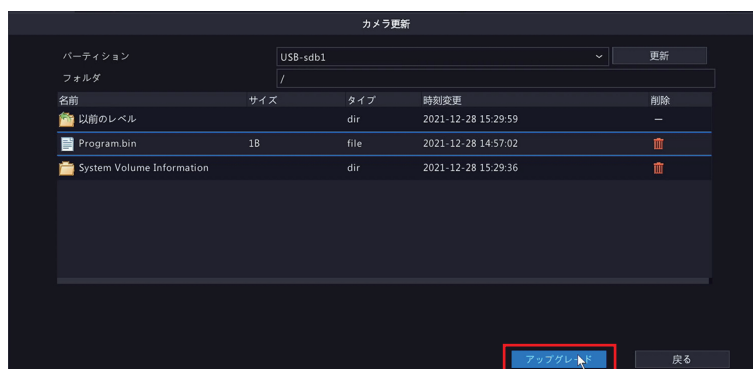
アップグレード権限のないユーザー（ゲストユーザーの初期権限など）では、ファームウェアのアップグレードはできません。管理者などアップグレード権限を持つユーザーでログインした状態で実施してください。

ファームウェアのアップデート

- 1 アップデートするカメラを選択し、「ディスク」ボタンをクリックすると「カメラ更新」画面が開きます。



- 2 DX アンテナ Web サイトからダウンロードしたファームウェアファイルを選択し、「アップグレード」ボタンをクリックするとアップデートを開始します。



エンコード

映像のエンコード設定を行います。



項目	内容								
カメラ名	設定するカメラを選択します。								
ストレージモード	録画に使用するストリームを選択します。 [メインストリーム／サブストリーム／メインおよびサブストリーム（初期値）]								
撮影モード	解像度とフレームレートを設定します。 この設定は、プライベートプロトコルで本製品に接続しているネットワークカメラのみに有効です。 <table border="1"> <tr> <td>1920*1080@30</td><td>解像度 1920 × 1080、フレームレート 30fps</td></tr> <tr> <td>1920*1080@25 (初期値)</td><td>解像度 1920 × 1080、フレームレート 25fps</td></tr> <tr> <td>1280*720@30</td><td>解像度 1280 × 720、フレームレート 30fps</td></tr> <tr> <td>1280*720@25</td><td>解像度 1280 × 720、フレームレート 25fps</td></tr> </table>	1920*1080@30	解像度 1920 × 1080、フレームレート 30fps	1920*1080@25 (初期値)	解像度 1920 × 1080、フレームレート 25fps	1280*720@30	解像度 1280 × 720、フレームレート 30fps	1280*720@25	解像度 1280 × 720、フレームレート 25fps
1920*1080@30	解像度 1920 × 1080、フレームレート 30fps								
1920*1080@25 (初期値)	解像度 1920 × 1080、フレームレート 25fps								
1280*720@30	解像度 1280 × 720、フレームレート 30fps								
1280*720@25	解像度 1280 × 720、フレームレート 25fps								
ストリームタイプ	<table border="1"> <tr> <td>ノーマル（初期値）</td><td>予約録画用のメインストリームです。</td></tr> <tr> <td>イベント</td><td>アラーム入力や動体検知アラームなどのイベントによってトリガーされる録画を目的としたメインストリームです。</td></tr> <tr> <td>ネットワーク伝送</td><td>ローカルまたはリモートのリアルタイム監視を目的とした低解像度の映像です。基本はメインストリームを使用しますが、ネットワーク環境が悪い（細い）場合などに選択できるように、サブストリームとしてデータ容量が少ない「ネットワーク伝送」に設定します。</td></tr> </table> 重要 本製品は、動体検知中と動体非検知中で「ビットレートとフレームレート」を別の設定にすることができます。動体検知中と動体非検知中で同じビットレートとフレームレートに設定にしたいときは、ストリームタイプの「ノーマル」と「イベント」で、それぞれ「ビットレート」および「フレームレート」を同じ値に設定してください。 「ノーマル」のみ設定を変えても動体検知中は「イベント」のビットレートおよびフレームレートの設定値で録画されます。	ノーマル（初期値）	予約録画用のメインストリームです。	イベント	アラーム入力や動体検知アラームなどのイベントによってトリガーされる録画を目的としたメインストリームです。	ネットワーク伝送	ローカルまたはリモートのリアルタイム監視を目的とした低解像度の映像です。基本はメインストリームを使用しますが、ネットワーク環境が悪い（細い）場合などに選択できるように、サブストリームとしてデータ容量が少ない「ネットワーク伝送」に設定します。		
ノーマル（初期値）	予約録画用のメインストリームです。								
イベント	アラーム入力や動体検知アラームなどのイベントによってトリガーされる録画を目的としたメインストリームです。								
ネットワーク伝送	ローカルまたはリモートのリアルタイム監視を目的とした低解像度の映像です。基本はメインストリームを使用しますが、ネットワーク環境が悪い（細い）場合などに選択できるように、サブストリームとしてデータ容量が少ない「ネットワーク伝送」に設定します。								
ビデオ圧縮	ビデオの圧縮規格を選択します。 [H264 / H265（初期値）]								
解像度	ビデオの解像度を選択します。 メインストリーム:1920*1080(1080P)（初期値） / 1280*720(720P) サブストリーム :1280*720(720P) / 720*576(D1)（初期値） / 704*288(2CIF) / 640*360 / 352*288(CIF)								

はじめに

準備

設定

その他

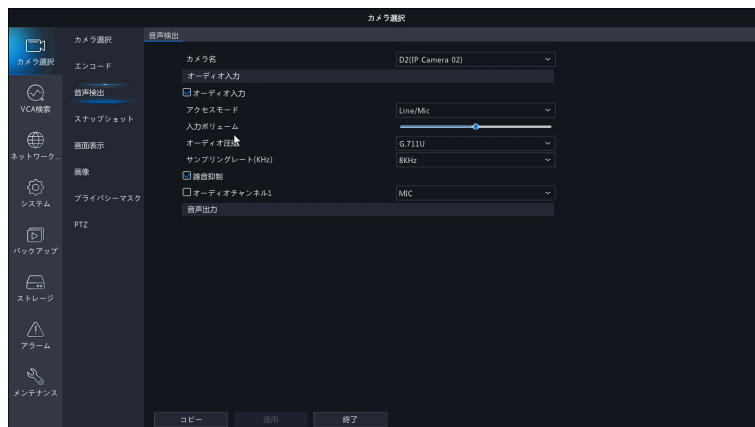
項目	内容	
ビットレート タイプ	CBR (初期値)	ビデオストリームの品質を変えることによって特定のビットレートを維持します。帯域幅が限られている場合は、CBR が優先されます。ビデオの品質が変動し、シーン内の動きが増えるとビデオの品質が低下するデメリットがあります。
	VBR	ビットレートが変わるかわりに、できるだけ映像を一定の品質に保ちます。高画質が要求される場合や、画像に動きがある場合は、VBR を選択することをおすすめします。
ビットレート (Kbps)	1 秒あたりの転送ビット数値を選択します。[カスタム] を選択すると、任意の値に設定することができます。 [128 / 160 / 192 / 224 / 256 / 320 / 384 / 448 / 512 / 640 / 768 / 896 / 1024 / 1280 / 1536 / 1792 / 2048 / 3072 / 4096 / 5120 / 6144 / カスタム]	
フレームレート (fps)	1 秒あたりのフレーム数を設定します。[撮影モード] の選択値によって設定できる最大フレームレートは異なります。 [1 ~ 30 (初期値)]	
画質	画質を 9 段階で設定します。この設定は VBR を選択している場合のみ有効です。 [レベル 1 ~ レベル 9 (初期値: レベル 5)]	
I フレーム間隔	2 つの隣接する I フレーム間のフレーム数です。 [5 ~ 250 (初期値: 50)]	
平滑化	映像の変化が激しい場合に、ネットワークに流れる映像のデータ量が極端に上下しないように補正します。	
スマート エンコーディング	選択すると、より高い圧縮を行います。「OFF」 < 「基本モード」 < 「アドバンスドモード」の順で圧縮率が高くなりますが、動きの激しい場面などでブロックノイズなど乱れが目立つ場合もあります。本機能に対応しないカメラでは設定が行えません。 [OFF (初期値) / 基本モード / アドバンスドモード]	



H.264 または H.265 では一定期間で I フレーム（イントラフレーム）として、完全な画像を送り、それ以外のときには、フレーム間の画像差分データのみを送ることで、圧縮率を上げています。ネットワーク上でパケットロスが発生した場合、映像の乱れが起きますが、I フレームを受信すると復旧されます。そのため I フレーム間隔を空けると（大きくすると）、映像の圧縮率が向上し全体のデータ量が少なくなりますが、映像の乱れが起きた場合に、復旧までの時間が長くなります。

音声検出

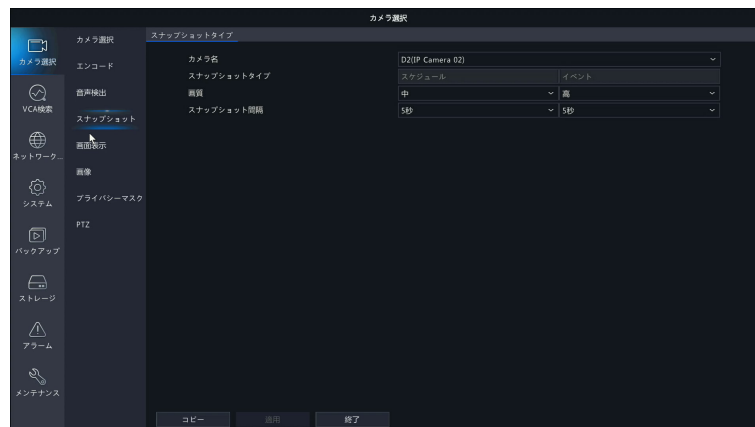
音声入出力の設定を行います。



項目	内容
カメラ名	音声検出の設定対象のカメラを選択します。
オーディオ入力	「OFF」を選択すると、オーディオデータはエンコードされません。 音声が必要な場合は、「OFF」を選択してください。
アクセスマード	「Line/Mic」のみ選択できます。この機能は、2つのオーディオ出力チャンネルを持つデバイスには使用できません。
入力ボリューム	入力ゲインを設定します（初期値：50）。
オーディオ圧縮	音声の圧縮形式を選択します。
サンプリングレート	変更はできません。
雑音抑制	ノイズ制御のオン / オフを選択します。
オーディオチャンネル1	「ON」にチェックを入れると、RCA OUT に接続した機器より音声出力が有効になります。
音声出力	この機能は使用できません。

スナップショット

スナップショットの設定を行います。



項目	内容				
カメラ名	スナップショットを撮影する設定対象のカメラを選択します。				
スナップショットタイプ	スナップショットをスケジュール検知したとき、およびイベント検知したときに撮影する画質や間隔を設定できます。				
スケジュール / イベント	<table><tr><td>画質</td><td>画質を3段階で設定します。 [高～低（初期値：中）]（スケジュール） [高～低（初期値：高）]（イベント）</td></tr><tr><td>スナップショット間隔</td><td>スナップショットを撮影する間隔を7段階で設定します。 [5秒～24時間（初期値：5秒）]</td></tr></table>	画質	画質を3段階で設定します。 [高～低（初期値：中）]（スケジュール） [高～低（初期値：高）]（イベント）	スナップショット間隔	スナップショットを撮影する間隔を7段階で設定します。 [5秒～24時間（初期値：5秒）]
画質	画質を3段階で設定します。 [高～低（初期値：中）]（スケジュール） [高～低（初期値：高）]（イベント）				
スナップショット間隔	スナップショットを撮影する間隔を7段階で設定します。 [5秒～24時間（初期値：5秒）]				

画面表示

映像上に表示される文字の設定を行います。



項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
名前	カメラの名前を設定します。[OSD カメラ名にコピー]にチェックを入れると、[OSD カメラ名]にカメラ名が自動でコピーされます。
OSD カメラ名	OSD カメラ名はカメラ映像に表示されます。
日付形式	日付の表示形式を設定します。 (「yyyy」は年、「MM」は月、「dd」は日の数値表示を示しています。 「MMMM」は月、「dddd」は曜日の英語表示を示しています。) [dd/MM/yyyy / MM/dd/yyyy / dd MMMM, yyyy / MMMM dd, yyyy / dddd, dd MMMM, yyyy / dddd, MMMM dd, yyyy / yyyy/MM/dd / yyyy, MMMM dd / dddd,yy,MM dd]
時間形式	時間の表示形式を設定します。 (「h」「H」は時間、「m」は分、「s」は秒、「tt」はAM・PMの表示を示しています。) [HH:mm:ss (24 時間) (初期値) / hh:mm:ss tt (12 時間)]
時間表示	時間表示の有無を設定します。(初期値：有)
カメラ名	カメラ名表示の有無を設定します。(初期値：なし)
フォントサイズ	フォントのサイズを設定します。内部フォントの仕様上、大と特大で OSD 文字のサイズ差がほぼ変わらない場合があります。[特大／大／中 (初期値) / 小]
フォントの色	フォントの色を設定します。(初期値：白)

画像

映像の画像設定を行います。



設定をデフォルトに戻します

項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
シーン	使用シーンに応じてあらかじめ設定されたプリセットを選択することができます。カメラによって設定できる項目が異なります。 [カスタム／屋内／一般（初期値）／道路向き HLC / WDR]
スマート照度	カメラがナイトモード時のときの、赤外線の照射量を設定します。
画像補正	カメラ映像の画質を設定します。➡次項「画像補正」
露出	カメラ映像の露出を設定します。➡ 80 ページ「露出」
ホワイトバランス	カメラ映像のホワイトバランスを設定します。➡ 82 ページ「ホワイトバランス」
アドバンスド	カメラ映像の詳細設定をします。➡ 82 ページ「詳細設定」



カメラ側に設定が保存される内容に関しては、本製品の設定を初期化（145 ページ）しても工場出荷設定に戻すことができない項目もあります。カメラの工場出荷設定も合わせて実行してください。本ページでの設定も初期化する場合は、「カメラ選択 - 詳細設定」画面（71 ページ）から「デフォルト」を実行してください。

■スマート照度



スマート照度	カメラがナイトモード時に、赤外線の色度有効 / 無効の設定ができます。
イルミネーションモード	赤外線のみです。
コントロールモード	IR 照射モードを 3 モードから選択できます。 [グローバルモード (初期値) / 露出オーバー抑制 / 手動]
照度レベル	手動モードのときのみ変更可能です。 [0 ~ 1000 (初期値 : 0)]

■画像補正

カメラ映像の画質を設定します。



輝度	値を大きくするほど (スライダーが右にあるほど)、映像が明るくなります。	
	輝度小 	輝度大 
彩度	値を大きくするほど (スライダーが右にあるほど)、彩度が高くなります	
	彩度小 	彩度大 

はじめに

準備

設定

その他

コントラスト	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、コントラストが強くなります。
	コントラスト小  ▶ コントラスト大 
シャープネス	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、輪郭がはっきりします。
	シャープネス小  ▶ シャープネス大 
ノイズ削減	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、映像中のノイズを減らします。
	ノイズ削減  ▶ ノイズ削減大 
画像回転	映像を回転表示します。 [ノーマル（初期値）／ 180°／ 90° 時計回り／ 90° 反時計回り]

※画像例は効果を説明するためのサンプルで、実際の画像画質とは異なります。



カメラ側に設定が保存される内容に関しては、この機能で工場出荷設定に戻すことができない項目もあります。カメラの工場出荷設定も合わせて実行してください。

本ページでの設定も初期化する場合、**「カメラ選択 - 詳細設定」**画面（71 ページ）から**「デフォルト」**を実行してください。

■露出

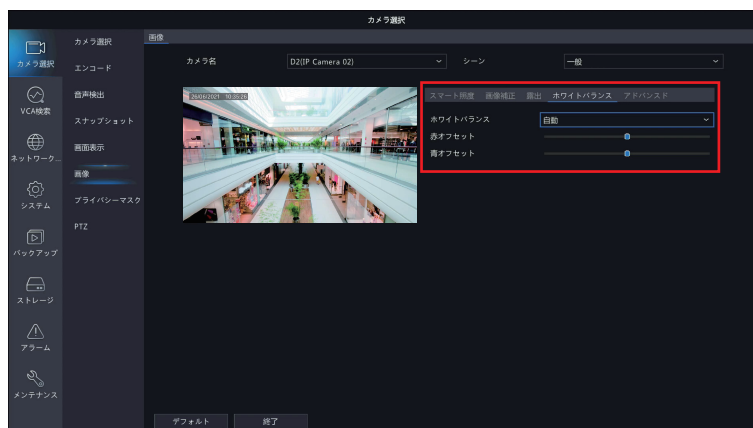
カメラ映像の露出を設定します。



項目	内容	
露出モード	露出モードを選択します。	
	自動（初期値）	自動設定（屋外環境に適した調整を行います）
	カスタム	露出の内容を手動より細かく設定
	屋内 50Hz	50Hz の蛍光灯に対応
	屋内 60Hz	60Hz の蛍光灯に対応
	手動	パラメータを自分で設定
	低モーションブラー	動きの大きな映像に対してブレを少なくする
シャッター（s）	シャッタースピードを設定します。動きの速い被写体には速いシャッタースピード、動きの遅い被写体には遅いシャッタースピードが向いています。「露出モード」を「カスタム」に設定している場合は、2つのシャッタースピードを設定することができます。 [1/30（初期値※）／1/50／1/60／1/100／1/120／1/150／1/180／1/200／1/250／1/500／1/1000／1/2000／1/4000／1/8000／1/50000／1/100000（初期値※）] ※「露出モード」を「カスタム」に設定したときの初期値	
ゲイン（dB）	カメラがさまざまな照明条件で標準のビデオ信号を出力できるように、画像信号を制御します。「露出モード」を「カスタム」に設定している場合は、2つのゲインを設定することができます。[0～100]（初期値：0、カスタムモードのときは0と100）	
スローシャッター	チェックを入れると、暗い場所に設定するときに映像を明るくさせることができます。 [初期値：無効]	
最遅シャッター	スピードの下限を設定します。[スローシャッター]にチェックを入れると、設定することができます。 [1/6／1/8／1/10／1/12（初期値）／1/15／1/20／1/25／1/30]	
補正	露出補正を設定します。逆光のときなどに映像を見て、映像の中で見たい範囲が白飛びしたり、黒つぶれしないように調整できます。[露出モード]が[手動]のときは設定できません。[初期値：0]	
デイ/ナイトモード	自動（初期値）	周囲の照明条件に応じて、夜間モードと昼間モードを自動的に切り替えます。
	デイ	周囲の照明条件に応じて高品質のカラー画像を出力します。
	ナイト	周囲の照明条件に応じて高品質の白黒画像を出力します。
デイ/ナイト感度	[デイ/ナイトモード]が[自動]に設定されている場合に、デイモードとナイトモードを切り替えるときのしきい値を設定します。撮影環境が暗くなると、カメラの「シャッター速度、CMOSのゲイン、レンズの絞り（現在のラインナップでは固定）」を調整して撮影された映像のデイ/ナイト感度ノイズを抑えますが、調整してもノイズを抑えきれなくなり、ノイズがしきい値を超えるとナイトモードに変わります。早くナイトモードに切り替えたいときは[高]に、映像のノイズが多くなってもデイモードを維持したい場合は「低」や「最低」に設定してください。 [最低／低／中（初期値）／高]	
デイ/ナイト切替	デイモードとナイトモードを切り替えるまでの時間を設定します。設定した値が小さすぎると、夕暮れや朝日のときに頻繁に切り替わることがあります。設置する環境・状況に合わせて、調整してください。 [3～120（秒）]（初期値：3）	
WDR	WDR（ワイドダイナミックレンジ）機能を有効にして、被写体のコントラストが高い場合でも映像を鮮明にします。[ON／OFF（初期値）]	
WDR レベル	映像を見て、映像の中で見たい範囲が白飛びしたり、黒つぶれしないよう WDR レベルに調整できます。[初期値：5]	

■ホワイトバランス

カメラ映像のホワイトバランスを設定します。

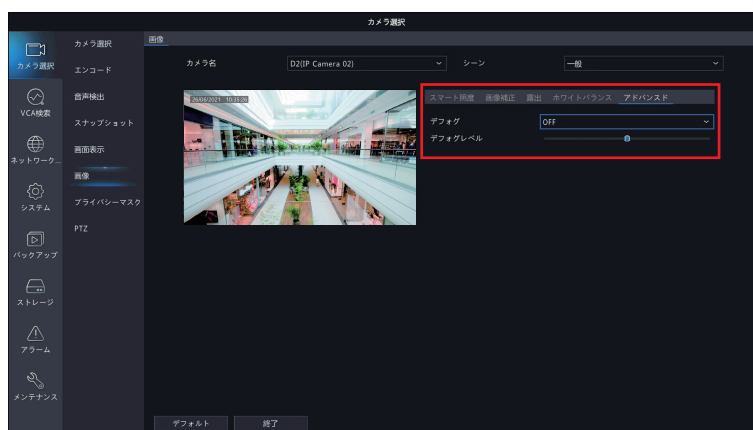


ホワイトバランス	ホワイトバランスの補正モードを選択します。 [自動（初期値）・微調整・屋外・ナトリウムランプ・保護]
赤オフセット	赤色のオフセット値を手動で調整します。[－ 127 ～ 127（初期値：5）]
青オフセット	青色のオフセット値を手動で調整します。[－ 127 ～ 127（初期値：8）]

※赤 / 青オフセットは、[微調整] に設定したときに調整が可能です。

■アドバンスド

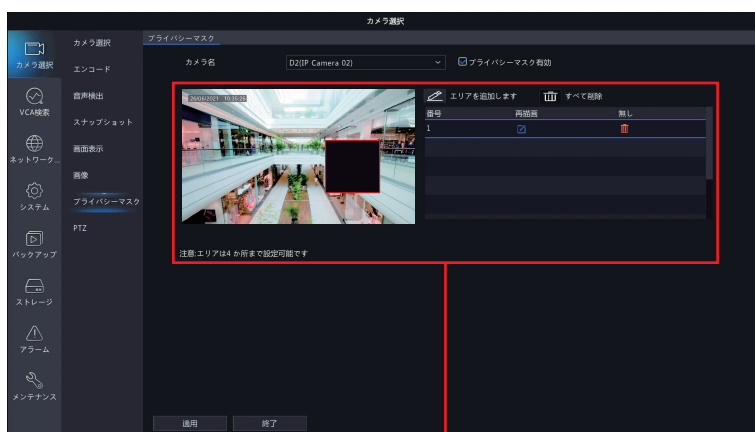
カメラ映像の詳細設定をします。



デフォグ	霧補正機能を使用するときは [ON] に設定します。[OFF（初期値） / ON]
デフォグレベル	[デフォグ] を [ON] に設定したときに霧補正レベルを設定します。[1 ～ 9（初期値：5）]

プライバシーマスク

映像の一部を覆いたいときに設定します。



プライバシーマスク設定ウィンドウ

項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
プライバシーマスク有効	チェックを入れると、プライバシーマスクが有効になります。

プライバシーマスク設定ウィンドウ

プライバシーマスクを作成することができます。プライバシーマスクを設定するとその部分は黒塗りになり、映像に映らなくなります。



「追加」「削除」など変更を行った後は「適用」をクリックして設定を保存してください。Web 管理画面では、「すべて削除」ボタンをクリックした場合のみ自動的に「保存」も行われます。

はじめに

準備

設定

その他

PTZ

PTZ に対応しているカメラは、パン制御（P）、チルト制御（T）、ズーム制御（Z）ができます。
※本製品ではサポートしておりません。

VCA 検索

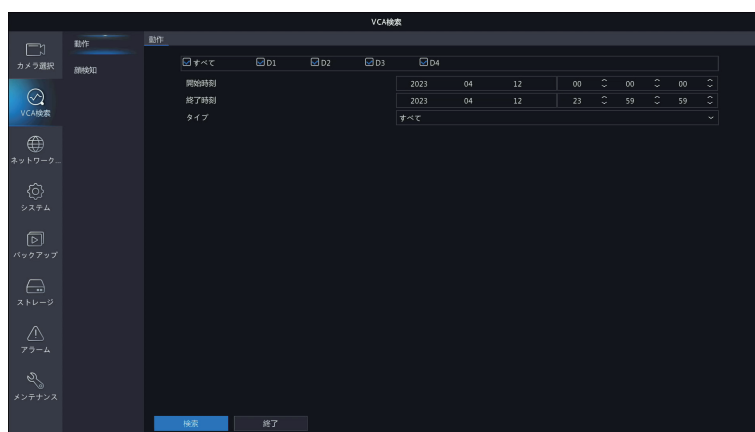
VCA 検索

■動作

〔アラーム〕 — 〔VCA〕 で設定した〔侵入検知〕 および 〔クロスライン検知〕 で動作した結果を検索することが出来ます。



〔音声検知〕 は検索できません。



設定した内容で検索します。

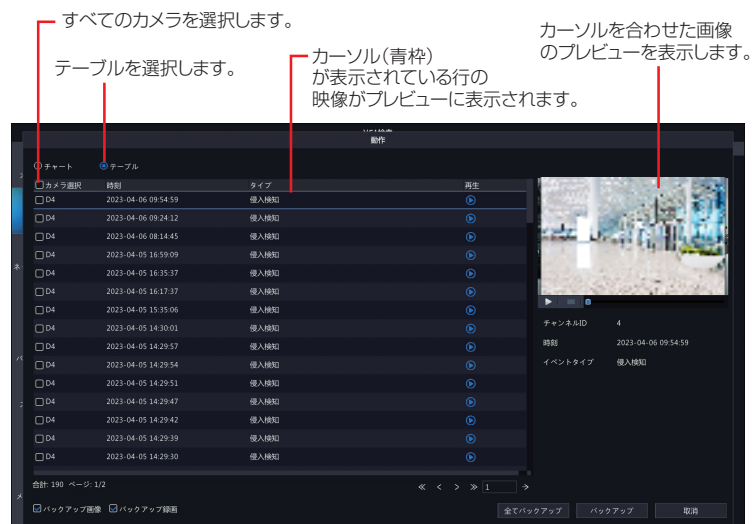
項目	内容
連動カメラ設定	VCA 検索するカメラにチェックを入れます。 ☒ すべて ☒ D1 ☒ D2 ☒ D3 ☒ D4
開始時刻／終了時刻	〔侵入検知〕 および 〔クロスライン検知〕 をした日付／時間を指定して検索します。
タイプ	〔すべて〕、〔侵入検知〕 および 〔クロスライン検知〕 を選択します。

チャート画面



項目	内容
バックアップ 画像	画像データをバックアップするときに、チェックを入れます。
バックアップ 録画	録画データをバックアップするときに、チェックを入れます。
全て バックアップ	バックアップ画像およびバックアップ録画に、チェックを入れている映像の種類をすべてバックアップします。
バックアップ	チェックを入れているデータをバックアップします。
取消	選択を解除し、一つ前の画面に戻ります。
ページ操作	◀ ページを先頭に戻します。 ◀ 1 ページ前に戻します。 ▶ 1 ページ先に進みます。 ▶ 最終ページに進みます。 1 ▶ 入力したページに進みます。
プレビュー画面 の操作	▶ 再生または停止をします。 再生したい時間に合わせることができます

テーブル画面

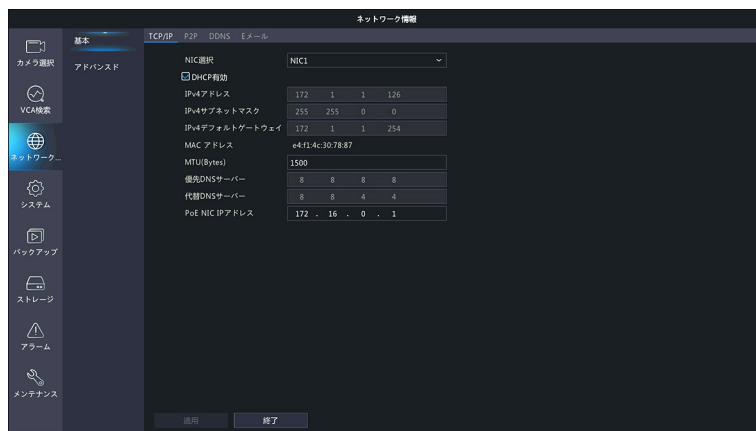


項目	内容
バックアップ 画像	画像データをバックアップするときに、チェックを入れます。
バックアップ 録画	録画データをバックアップするときに、チェックを入れます。
全て バックアップ	バックアップ画像およびバックアップ録画に、チェックを入れている映像の種類をすべてバックアップします。
バックアップ	チェックを入れているデータをバックアップします。
取消	選択を解除し、一つ前の画面に戻ります。
ページ操作	◀ ページを先頭に戻します。 ◀ 1 ページ前に戻します。 ▶ 1 ページ先に進みます。 ▶ 最終ページに進みます。 1 ▶ 入力したページに進みます。
プレビュー画面 の操作	▶ 再生または停止をします。 再生したい時間に合わせることができます。

ネットワーク

基本

■ TCP/IP



項目	内容
NIC 選択	「NIC1」のみ選択できます。
DHCP 有効	チェックすると、自動的に IP アドレスを取得します。(初期値：有効)
IPv4 アドレス	[DHCP 有効] にチェックを入れていないときに、設定します。
IPv4 サブネットマスク	
IPv4 デフォルトゲートウェイ	
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスが表示されます。変更はできません。
MTU (Bytes)	MTU = Maximum Transmission Unit : 576 ~ 1500 (初期値:1500) 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位バイト) を設定します。 通常は変更する必要はありません。
優先 DNS サーバー	[DHCP 有効] にチェックを入れていないときに、設定します。
代替 DNS サーバー	
PoE NIC IP アドレス	PoE チャンネル側のアドレスを設定します。 先頭アドレスは IPv4 アドレスとは異なる数値にしなければなりません。 (初期値：172.16.0.1)

■ P2P



項目	内容
P2P を有効	P2P を有効に設定します。(初期値：有効)
サーバーアドレス	利用できる P2P サーバーのアドレスです。
登録コード	サーバー側でデバイスを登録するのに必要となります。
デバイス状態	デバイスのネットワーク状態を表示します。
アカウントなしで追加できる	アプリ等からデバイスを追加する際に、QR コードをスキャンすることで、追加することができます。

■ DDNS

DDNS (ダイナミック DNS) を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、SkylinkDDNS サービスに登録する必要があります。



項目	内容
DDNS を有効	DDNS を有効に設定します。(初期値：無効)
DDNS タイプ	ダイナミック DNS、No-IP、MyDDNS、SkylinkDDNS から選択できますが、本製品では SkylinkDDNS サービスをご利用ください。
サーバーアドレス	DDNS サービスタイプに基づいた、サーバーアドレスが自動で入力されます。
ポート	プロトコルの標準番号です。
ドメイン名	登録したドメイン名を入力します。
ユーザー名	登録したアカウントを入力します。
パスワード	設定したパスワードを入力します。

- SkylinkDDNS については、右記のページをご参照ください (<https://www.clear-net.jp/>)。

SkylinkDDNS へ登録するときは、本製品のラベルに記載されたシリアルナンバーをシリアル変換ページで変換して登録してください。

(シリアル変換ページ https://www.dxantenna.co.jp/product/skylink/skylink_ddns_for_dx_.html)

本製品のシリアルナンバー：

■ E メール

アラーム発生時に送信する E メールを設定をします。

(アラーム発生時に E メールを送付するようにする設定は、[アラーム] - [システム警告] 設定で行います。

➡ 127 ページ「システム警告」)

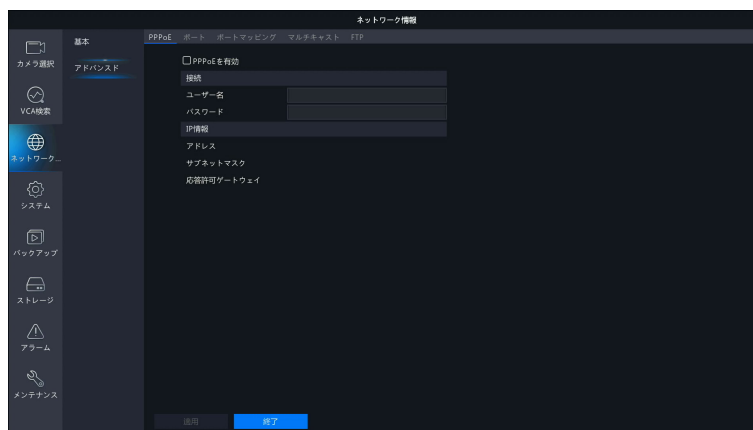
項目	内容
サーバー認証を有効	サーバー認証が必要な場合にチェックを入れます。(初期値：無効)
ユーザー名	認証用のユーザー名とパスワードを入力します。
パスワード	
SMTP サーバー	SMTP サーバー情報を入力します。
SMTP ポート	
TLS/SSL を有効	TLS/SSL を有効にした場合には、25 を使用してください。それ以外では 587/465 を使用してください。
送信者名	メールの送信者となる名前とアドレスを設定します。
送信者アドレス	
受信者選択	受信者の情報を入力します。宛先は最大 6 件まで登録できます。
受信者名	
受信者アドレス	
スケジュール	アラームが発生したときに E メールを送信する時間帯を設定します。設定すると、設定した時間帯以外の時間にアラームが発生しても E メールを送信しなくなります。
スナップショット間隔	添付画像に✓を入れると、スナップショットの撮影間隔が設定できます。2 秒～ 5 秒の間で設定ができます。



- 「テスト」ボタンをクリックすると、メールの送信テストを行えます。受信者アドレステストで、すべての受信者の状態が有効となっていることをご確認ください。複数の受信者を設定したときに 1 つでも受信者の設定に失敗がある場合は、正常な受信者を含めすべての受信者宛メールが送信されません。
- 一部の Web メールサービスではご利用いただけない場合があります。

アドバンスド

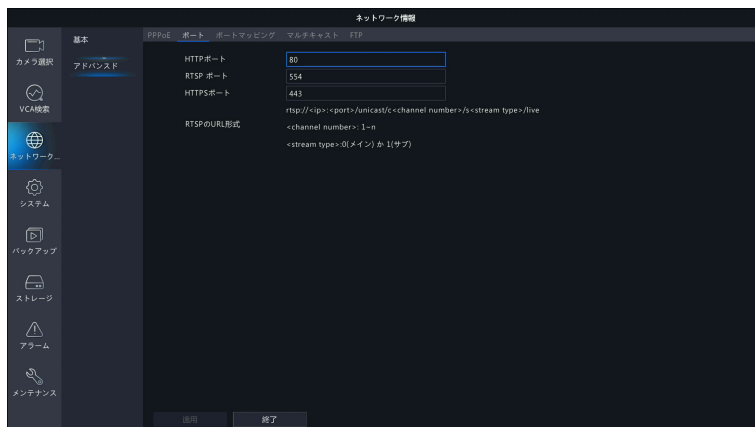
■PPPoE



項目	内容
PPPoE を有効	PPPoE を有効に設定します。(初期値：無効)
ユーザー名	登録したアカウントを入力します。
パスワード	設定したパスワードを入力します。
アドレス	PPPoE を有効に設定して、接続先のユーザー名、パスワードを入力し、「適用」をクリックすると、接続先の IP 情報が表示されます。
サブネットマスク	
応答許可ゲートウェイ	

■ポート

通常、ポート番号は初期設定から変更する必要はありません。
この設定はおもにポートマッピング設定と合わせて設定します。



項目	内容
HTTP ポート	ポート番号を設定します。
RTSP ポート	ポート番号は 1 から 65535 の範囲で設定できますが、以下の番号は予約されているので、設定できません。
HTTPS ポート	21、23、2000、3702、60000

※ RTSP のライブ映像視聴は非対応

■ポートマッピング

ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。



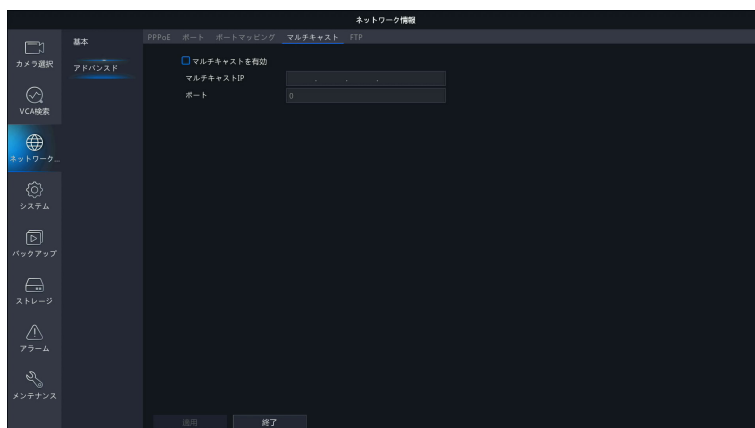
項目	内容	
ポートマッピングを有効	チェックすると、ポートマッピング機能が有効になります。 (初期値：有効)	
マッピングモード	UPnP (初期値)	ネットワーク上の他のデバイスを検出し、データ共有や通信などのネットワークサービスを確立できます。本製品でUPnPを使用するには、接続先のルーターでUPnPを有効にする必要があります。UPnPがネットワークアドレス変換（NAT）に対応していると、本製品のポートは自動的にルーターにマッピングされ、コンピュータはLANの外部から本製品にアクセスできます。
	手動	ルーターがUPnPをサポートしていない場合は「手動」を選択します。
UPnP マッピング	ポートを手動でマッピングする場合は、「手動」を選択します。 ●「自動」を選択することをおすすめします。正しく設定されていないと、ポートが競合します。 「自動（初期値）／手動」	
HTTP ポート	「マッピングモード」または「UPnP マッピング」を「手動」に設定しているときに、ポート番号を設定します。	
RTSP ポート		
HTTPS ポート	● 本製品の内部ポートと外部ポートがルーターのポートと一致している必要があります。 ● 一部のルーターは、本製品とルーターに同じ内部ポートと外部ポートを設定する必要があります。	



- ポートマッピングが完了したら、Web ブラウザのアドレスバーに以下を入力すると、本製品の Web 管理画面にアクセスできます。
http:// (ルーターの WAN ポート IP アドレス) : (外部 HTTP ポート)
例) IP アドレス：10.2.2.10
外部 HTTP ポート番号：82 の場合は、
http://10.2.2.10:82
- この機能を使うためには、本製品が接続されているネットワーク上にあるルーターの設定も必要となります。インターネット側からのアクセスを受け入れる設定のため、セキュリティに充分配慮の上で設定を実施してください。

■マルチキャスト

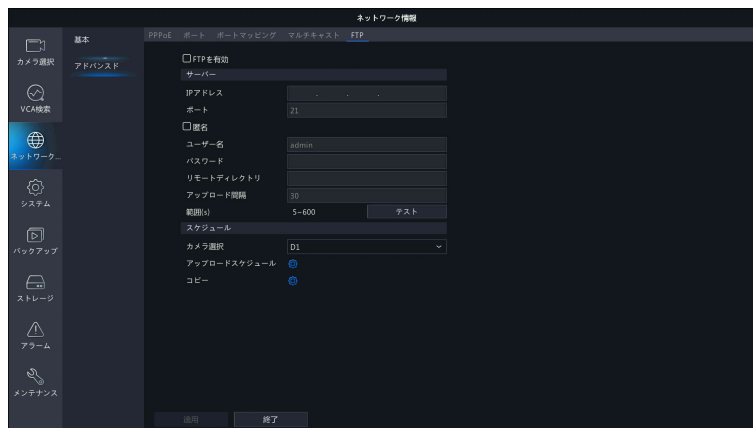
本製品に接続する Web クライアントの数が多いときは、マルチキャストを使用することができます。

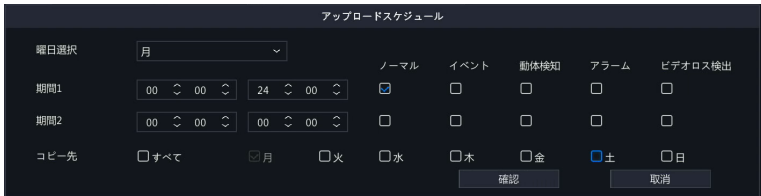


項目	内容	
マルチキャストを有効	チェックを入れると、マルチキャスト機能が有効になります。 (初期値：有効)	
マルチキャスト IP	IP アドレスとポート番号を設定します。	
ポート	● マルチキャストアドレスは 224.0.0.0 から 239.255.255.255 までの範囲のクラス D アドレスです。	
	● 以下の IP アドレスは特別な用途のために用いられます。LAN 上のみで使用されます。	
	224.0.0.0 ~ 224.0.0.255	LAN 上のみで使用されます。
	224.0.0.1	全ホストグループのアドレス用。
	224.0.0.2	サブネット上のすべてのルーター用。
	224.0.0.5	すべての OSPF ルーター用。
	224.0.0.13	すべての PIMv2 ルーター用。



映像ストリームの再生ソフトなどでの映像視聴はサポートしていません。マルチキャストで送信している映像を確認する場合は、Web 管理画面で「ライブビュープロトコル」を「マルチキャスト」に設定して、ご確認ください。



項目	内容
FTP を有効	FTP を有効に設定します。(初期値：無効)
IP アドレス	FTP を有効に設定して、接続するサーバーの IP 情報を入力します。
ポート	
匿名	匿名にチェックを入れると、ユーザー名とパスワードを入れずに、匿名でサーバーにアップロードできます。
ユーザー名	匿名のチェックを外して、ユーザー名とパスワードを入力します。
パスワード	
リモートディレクトリ	保存先のパスを入力します。
アップロード間隔	アップロード間隔を設定します。
範囲	映像の保存秒数を設定します。
カメラ選択	アップロードするカメラを選択します。
アップロードスケジュール	・ ノーマル／イベント／動体検知／アラーム／ビデオロス検出を選択します ・ アップロードする曜日を選択し、期間を設定します。(期間 1 と期間 2 が設定できます) 
コピー	設定した内容をコピーするカメラを選択します。。



●「テスト」ボタンをクリックすると、FTP の通信テストを行えます。

基本

システムの基本的な設定をします。

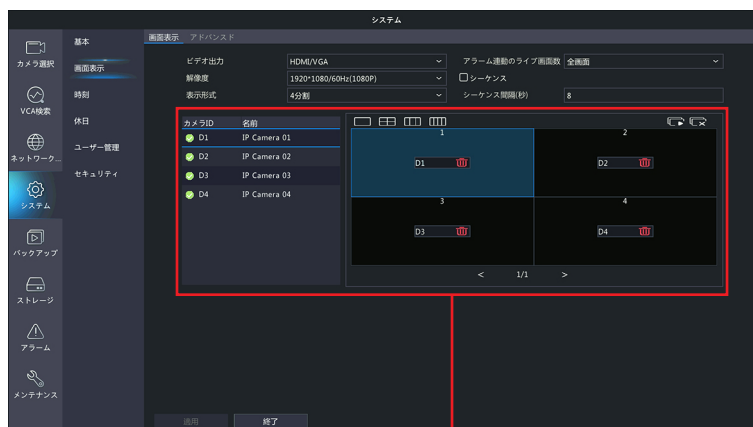


項目	内容
デバイス名	本製品のデバイス名が表示されます。
デバイス ID	本製品のデバイス ID が表示されます。
表示言語	管理画面の表示言語を以下の中から選択します。[English / 日本語（初期値）]
オートログアウト時間（分）	一定時間操作しなかったときに、自動的にログアウトするまでの時間を設定します。 [無効] に設定すると、自動的にログアウトしません。 [1 / 5（初期値） / 10 / 15 / 20 / 25 / 30 / 無効]
即時再生（分）	ライブビュー上で簡易再生するときに、逆上る時間を設定します。[1 ～ 60 分（初期値：5）]
マウスポインタの速度	マウスポインタの速度を 4 段階で設定できます。スライダーを右に移動させるほど速くなります。[1 ～ 4（初期値：2）]
パスワード保護を有効にします	チェックを外すと、パスワードを入力せずに管理画面に入ることができるようになります。この項目は、管理者のみ変更できます。（初期値：有効）
スタートアップ時ウィザード有効	チェックすると、電源オン時に毎回初期設定ウィザードを表示します。[ウィザード] をクリックすると、すぐに初期設定ウィザードが表示されます。

画面表示

■画面表示

管理画面の画面表示を設定します。

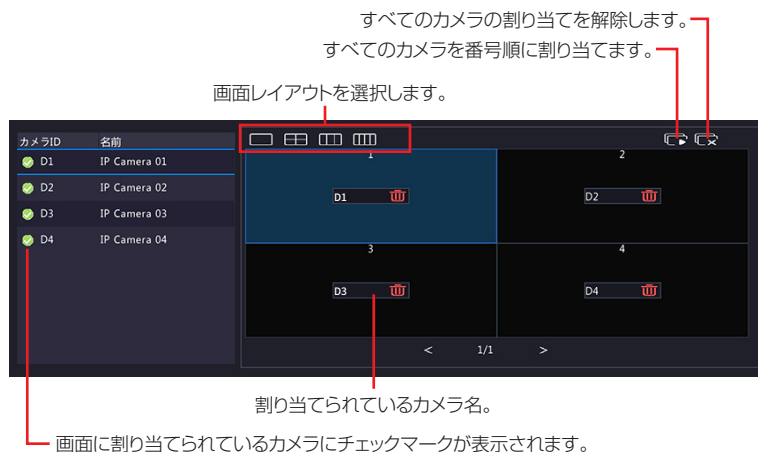


レイアウト設定ウインドウ

項目	内容
ビデオ出力	管理画面の出力方法を選択します。 [HDMI / VGA] のみ選択できます。 [HDMI / VGA (初期値)]
解像度	管理画面の解像度を選択します。 [1024*768/60Hz (初期値) / 1280*720/60Hz / 1280*1024/60Hz / 1600*1200/60Hz / 1920*1080/50Hz(1080P) / 1920*1080/60Hz(1080P) / 3840*2160/30Hz(4K)]  スクロールホイールを 3 秒以上押すと、デフォルトの解像度に戻すことができます。
表示形式	ライブビューの表示方法を設定します。 [全画面 / 4 分割 (初期値) / コリドーモード 3 分割画面 / コリドーモード 4 分割]
アラーム連動のライブ画面数	アラームが発生したときにライブを表示する画面モードを設定します。 [全画面 (初期値) / 4 分割]
シーケンス	チェックすると、設定した間隔で自動的にライブビューの画面表示が切り替えられます。全カメラが 1 画面に表示されているときは、チェックしても画面が切り替わりません。(初期値：無効)
シーケンス間隔(秒)	シーケンス表示時の表示時間を設定します。[8 ~ 3600 (初期値：8)]

レイアウト設定ウィンドウ

ライブビューのレイアウトを設定することができます。



<各場所に割り当てられているカメラを変更したいとき>

例) 上図の状態を、以下の状態に変更したい場合

ウィンドウ「1」: 「D1」⇒「D2」のカメラに変更

ウィンドウ「2」: 「D2」⇒「D1」のカメラに変更

①「1」をクリックして選択状態にします。



②左のリストから「D2」のチェックマークをクリックします。

ウィンドウ「1」に「D2」が設定され、ウィンドウ「2」の選択が「なし」になります。

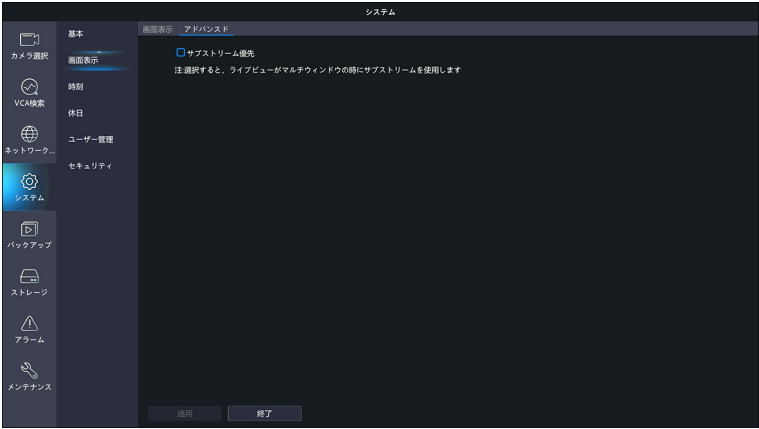


③ウィンドウ「2」をクリックしたあと、左のリストから「D1」をクリックします。

ウィンドウ「2」に「D1」のカメラが設定されます。



■アドバンスド

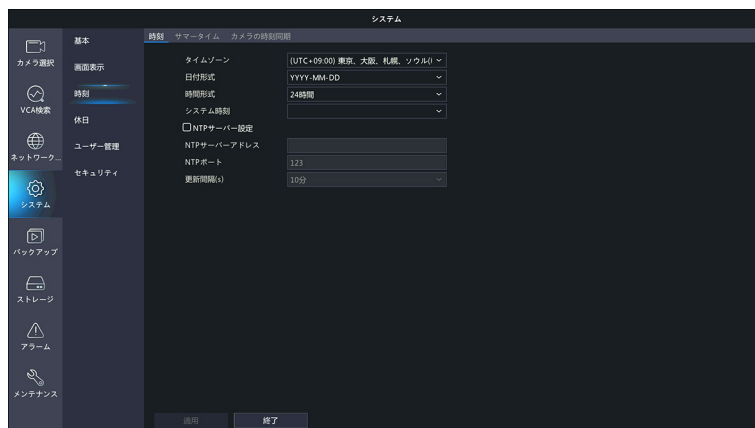


項目	内容
サブストリーム優先	有効にするとライブ映像にサブストリームの映像を表示します。(初期設定：無効)

時刻

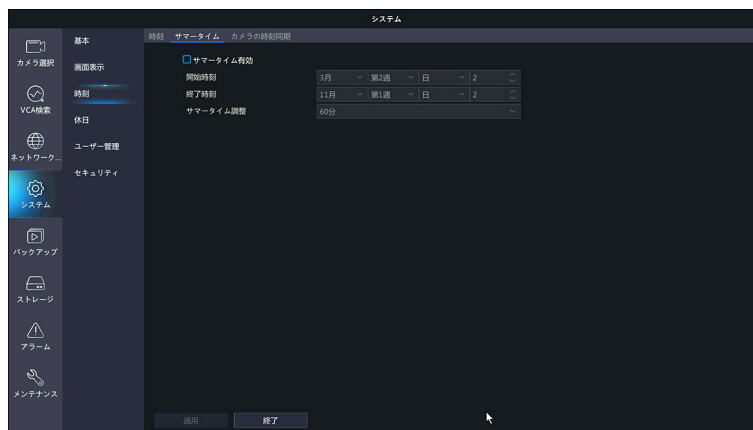
■時刻

本システムの時刻を設定します。



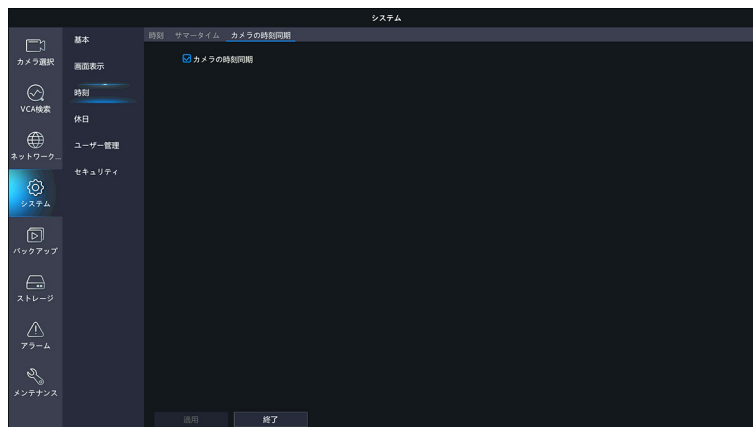
項目	内容
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
日付形式	カメラ映像の左上に表示する日付の形式を選択します。 例)「YYYY-MM-DD」の場合「2021-02-12」と表示
時間形式	時間表示形式を選択します。[12 時間 / 24 時間 (初期値)]
システム時刻	システム時刻を設定します。
NTP サーバー設定	NTP (ネットワークタイムプロトコル) を使用する場合はチェックします。(初期値: 無効)
NTP サーバーアドレス	NTP を使用する場合は、NTP サーバーのアドレスを入力します。
NTP ポート	NTP を使用する場合は、NTP サーバーのポート番号を入力します。
更新間隔 (s)	NTP を使用する場合は、時刻を更新する間隔を設定します。 [5 分 / 10 分 (初期値) / 15 分 / 30 分 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 6 時間 / 12 時間 / 1 日 / 1 週間]

■サマータイム



項目	内容
サマータイム有効	チェックすると、指定した期間、指定した時差でサマータイムを適用できます。

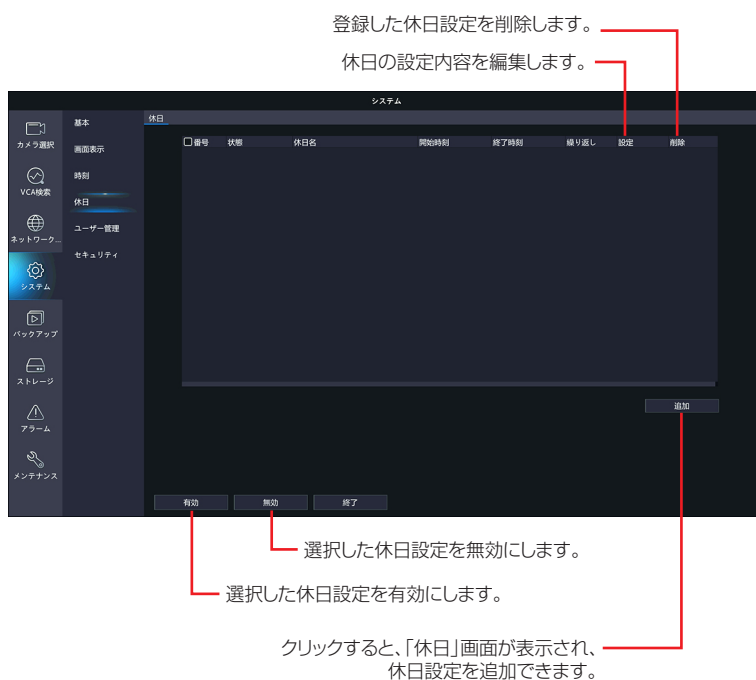
■カメラの時刻同期



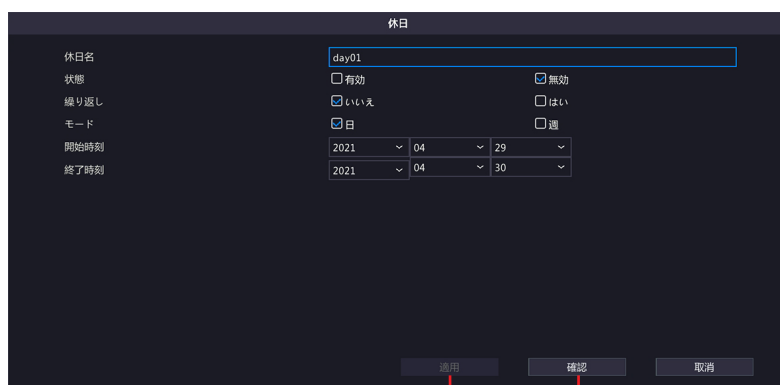
項目	内容
カメラの時刻同期	チェックすると、本製品と接続しているカメラの時刻を本製品の時刻に合わせます。通常はチェックを外さずにご利用ください。（初期値：有効）

休日

休日を定義します。定義した休日は、録画スケジュールを設定するときに利用します。



「休日」画面



選択した内容で休日設定を更新します。

選択した内容で設定内容を確定します。

選択した内容で休日設定を更新します。選択した内容で設定内容を確定します。

項目	内容
休日名	名休日の名称を設定します。
状態	追加する休日を有効にするか無効にするか設定します。 (初期値：有効)
繰り返し	「はい」を選択すると、日ごとまたは週ごとに休日を繰り返します。 (初期値：いいえ)
モード	「繰り返し」で「はい」を選択している場合に、日ごとに繰り返すか、週ごとに繰り返すか設定します。 [日 (初期値) / 週]
開始時刻 (開始日時) / 終了時刻 (終了日時)	休日に設定する日付を設定します。 (「繰り返し」または「モード」で選択している項目によって設定内容が異なります)

ユーザー管理

ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。



クリックすると、「変更／追加ユーザー」画面が表示され、ユーザーを追加できます。

項目	内容	
ユーザータイプ	管理者	すべてのアクセス権を持ちます。 初期パスワードは「123456」です。
	予備ユーザー	ログインなしでライブビューと双方向オーディオを利用可能にするために、あらかじめ登録されているシステム用ユーザーです。新たに作成したり、削除することはできません。 また、このユーザーでログインすることもできません。
	オペレーター	基本的な権限とカメラへのアクセス権があります。 基本権限・カメラ権限を設定することができます。
	ゲスト	初期設定ではカメラにのみアクセスできます。 初期設定ではカメラ権限を設定することができます。 権限の設定変更を行い、基本的な権限へのアクセス権と、基本権限の設定も可能にできます。

重要

- 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
- 変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。
- パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。パスワードを紛失した場合は、お客様環境でパスワードを初期化する方法はありません。サポートセンターへお問い合わせください。

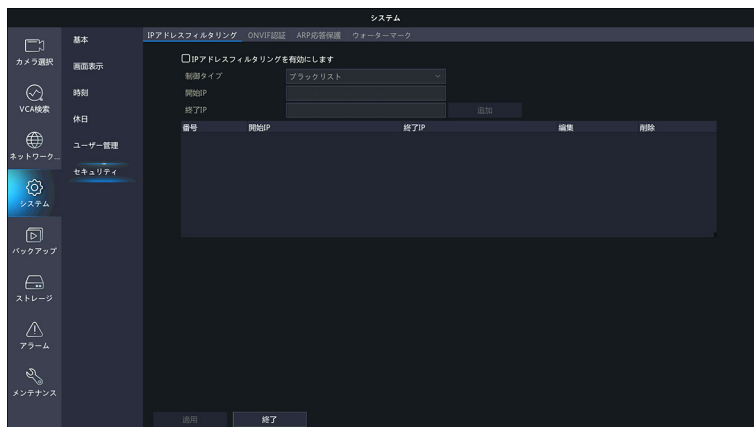
項目	内容					
ユーザー名	1 ～ 18 文字でユーザー名を設定します。英字 (A-Z,a-z)、数字 (0-9)、アンダーバー (_)、ハイフン (-) が利用できます。英字の大文字と小文字は区別されます。					
ユーザータイプ	<table><tr><td>オペレーター</td><td>初期設定では、基本権限とカメラへのアクセス権があります。</td></tr><tr><td>ゲスト</td><td>初期設定ではカメラにのみアクセスできます。</td></tr></table>	オペレーター	初期設定では、基本権限とカメラへのアクセス権があります。	ゲスト	初期設定ではカメラにのみアクセスできます。	
オペレーター	初期設定では、基本権限とカメラへのアクセス権があります。					
ゲスト	初期設定ではカメラにのみアクセスできます。					
パスワード	9 ～ 20 文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。 ※ 使用できない記号… / \ : * ? ‘ “ < > % &					
パスワード (確認)	確認のため、設定したパスワードを再度入力します。					
パターン	パスワード入力の代わりに、登録したアンロックパターンでロック解除ができるようになります。チェックを入れるとアンロックパターンの登録画面が表示されます。					
基本権限	付与する権限を設定します。					
	設定	管理画面にアクセスすることができます。				
	アップグレード	システムのアップグレードができます。				
	ログの表示とエクスポート	システムのログを表示したり、書き出すことができます。				
	再起動	システムを再起動することができます。				
カメラ権限	カメラごとに付与する権限を設定することができます。選択している項目に対して、チェックが入っているカメラは以下のように権限が与えられます。					
	ライブビュー	ライブビューを表示したり、双方向通話ができます。				
	PTZ 制御	PTZ 制御パネルでカメラを制御できます。				
	再生	録画された映像を再生できます。				
	NVR マニュアル録画	マニュアル録画をすることができます。				
	ローカルバックアップ	ローカル録画をすることができます。				



- モニター管理画面で入力したユーザー名・パスワードは、すべて半角文字となります。
- ユーザーは最大 33 ユーザー※まで登録できます。
(あらかじめ登録されている「admin」「default」ユーザーを含む)

セキュリティ

指定した IP アドレスからネットワークレコーダーへのアクセスを許可または禁止することができます。



■ IP アドレスフィルタリング

項目	内容	
IP アドレスフィルタリングを有効にします	チェックすると、IP 制御機能が有効になります。(初期値：無効)	
制御タイプ	ブラックリスト	指定した IP アドレスからのアクセスを拒否します。
	ホワイトリスト	指定した IP アドレスのみアクセスを許可します。 IP アドレスを指定せずに、「ホワイトリスト」を選択すると、リモートアクセスをすべて拒否します。
 制御タイプを変更したときには、「適用」ボタンを押して変更を先に確定してください。		
開始 IP	ブラックリストまたはホワイトリストに追加する IP アドレスの範囲を入力します。	
終了 IP	[追加] をクリックすると、入力した範囲の IP アドレスがリストに追加されます。 「追加」の場合は「適用」をクリックしなくても設定が反映されます。 変更する場合は、設定値変更後に「適用」をクリックしてください。	

はじめに

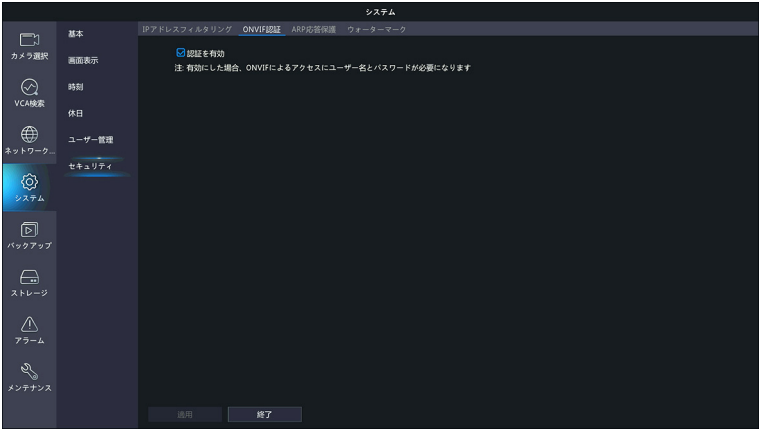
準備

設定

その他

■ ONVIF 認証

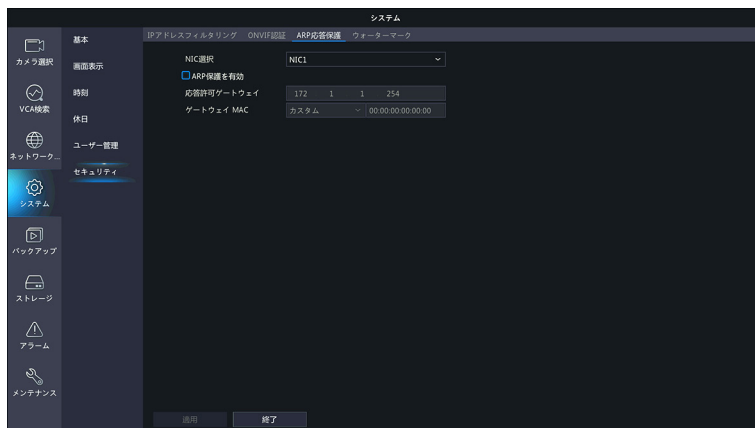
通常は本設定を変更せずご利用ください。本製品のカメラでは利用できません。
本設定は将来の機能拡張のためにのみ用意しております。



項目	内容
認証を有効	チェックすると、ONVIF ベースのデバイスアクセスにユーザー名とパスワードが必要になります。(初期値：有効)

■ ARP 応答保護

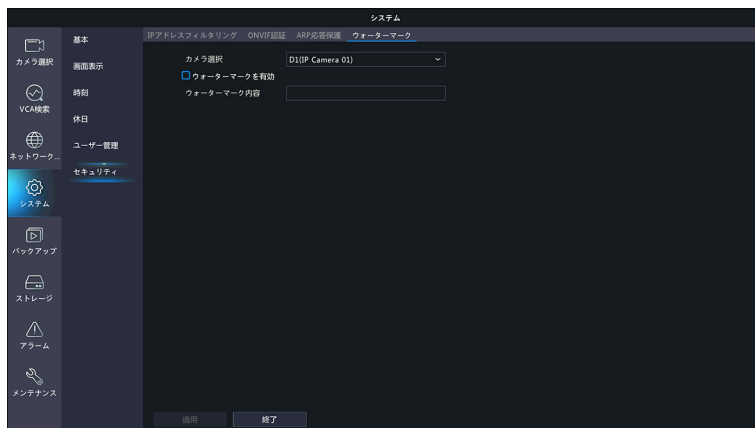
ARP 保護機能を有効にすると、ARP 攻撃を防ぐことができます。



項目	内容
NIC 選択	[NIC1] のみ選択します。
ARP 保護を有効	チェックを入れると、ARP 保護機能が有効になります。(初期値：無効)
応答許可 ゲートウェイ	ゲートウェイの IP アドレスが表示されます (変更不可)。
ゲートウェイ MAC	ゲートウェイの MAC アドレスを自動的に取得するか、手動で設定します。

■ ウォーターマーク

不正な変更を防ぐためにビデオデータの中に、ウォーターマークで設定した文字列を書き込んで、どのカメラで撮影した映像か、あとで確認することができます。



項目	内容
カメラ選択	対象となるカメラを選択します。
ウォーターマーク を有効	チェックすると、ウォーターマーク機能が有効になります。(初期値：無効)
ウォーターマーク 内容	ウォーターマークとして使用する文字列を入力します。

バックアップ

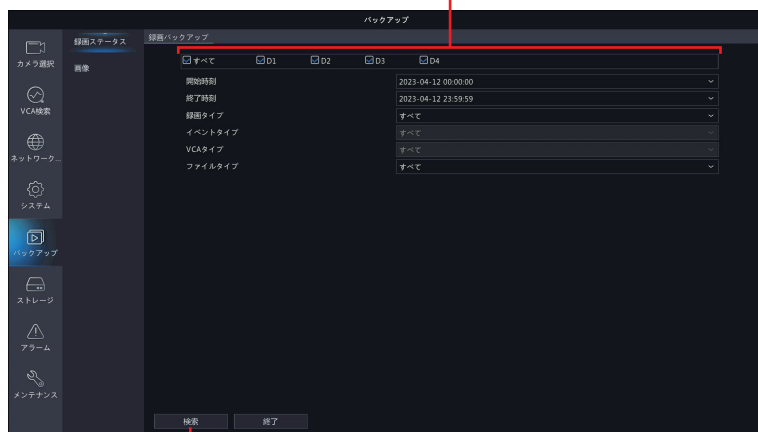
録画ステータス

■録画バックアップ

本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存することができます。

- USB ストレージデバイスは、パーティションを FAT32 または NTFS フォーマットでフォーマットし、本製品背面の USB 端子に接続してください。
- 映像のファイル形式は、「.mp4」です。

バックアップ対象のカメラを選択します。



設定した条件で映像を検索します。

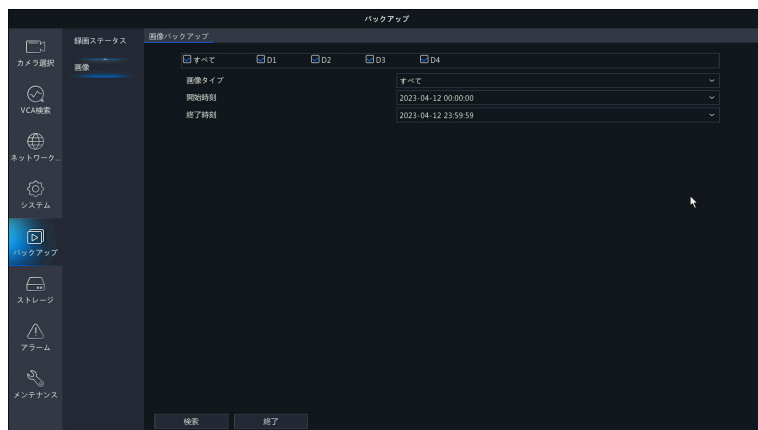
項目	内容								
開始時刻	映像の開始時刻を指定します。								
終了時刻	映像の終了時刻を指定します。								
録画タイプ	バックアップする映像の種類を指定します。 <table border="1"> <tr> <td>すべて（初期値）</td><td>すべての映像から選択します。</td></tr> <tr> <td>ノーマル</td><td>通常の録画映像から選択します。</td></tr> <tr> <td>手動</td><td>手動録画した映像から選択します。</td></tr> <tr> <td>イベント</td><td>イベントとして録画された映像から選択します。</td></tr> </table>	すべて（初期値）	すべての映像から選択します。	ノーマル	通常の録画映像から選択します。	手動	手動録画した映像から選択します。	イベント	イベントとして録画された映像から選択します。
すべて（初期値）	すべての映像から選択します。								
ノーマル	通常の録画映像から選択します。								
手動	手動録画した映像から選択します。								
イベント	イベントとして録画された映像から選択します。								
イベントタイプ	「録画タイプ」で「イベント」を選択したときに、イベントの種類を以下の中から指定します。 「すべて（初期値）」／動体検知／アラーム／動体検知とアラーム／動体検知またはアラーム／ビデオロス検出／VCA／人体検知／ドアベルコール 「人体検知」と「ドアベルコール」は動作しません。								
VCA タイプ	「イベントタイプ」で「VCA」を選択したときに、VCA の種類を以下の中から指定します。 「すべて（初期値）」／クロスライン検知／侵入検知／音声検知 上記以外の機能は動作しません。								
ファイルタイプ	映像の種類を以下の中から指定します。「すべて（初期値）」／解除／保護								

画像

■画像バックアップ

本製品のハードディスクに保存されている画像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存することができます（39 ページの「録画データをバックアップする」）。

- USB ストレージデバイスは、パーティションを FAT32 または NTFS フォーマットでフォーマットし、本製品背面の USB 端子に接続してください。
- 画像のファイル形式は、「.jpg」です。



検索結果画面



項目	内容
全てバックアップ	すべて画像をバックアップします。
バックアップ	チェックを入れている画像をバックアップします。
ページ操作	<< < > >> 1 → ページを先頭に戻します。 1 ページ前に戻します。 1 ページ先に進みます。 最終ページに進みます。 入力したページに進みます。

はじめに

準備

設定

その他

ストレージ

録画ステータス

録画スケジュールを表示することができます。



音声付きで録画するときは [オーディオストレージ] にチェックを入れます。



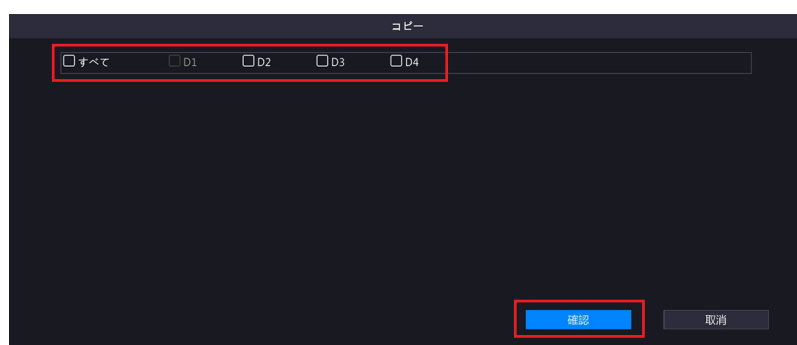
項目	内容
カメラ名	スケジュール設定するカメラを選択します。 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。設定中の場合は、カメラを変更する前に、[適用] をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。
スケジュール有効	チェックを入れると、スケジュール設定が有効になります。(初期値：有効)
オーディオストレージ	チェックを入れると、音声付きで録画ができます。
事前録画時間 (秒)	指定した時間だけスケジュールの録画開始時間より前に録画を開始します。 [0 / 5 / 10 (初期値) / 20 / 30 / 60]
事後録画時間 (秒)	指定した時間だけスケジュールの録画終了時間後も録画します。 [5 / 10 / 30 / 60 (初期値) / 120 / 300 / 600]

スケジュールをコピーする方法

①コピー元となるカメラのスケジュールを表示し、[コピー] をクリックします。



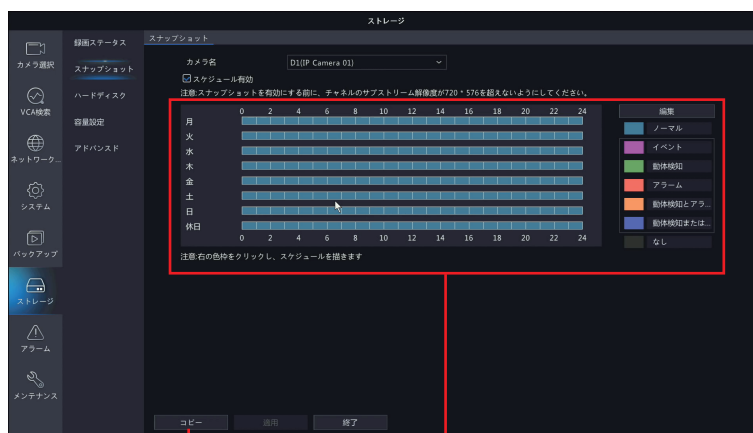
②[コピー] ダイアログボックスが表示されますので、設定をコピーするカメラにチェックを入れます。



③[確認] をクリックします。

スナップショット

スナップショット撮影スケジュールを表示することができます。



スケジュール設定ウィンドウ

スケジュール設定を他のカメラにコピーします。

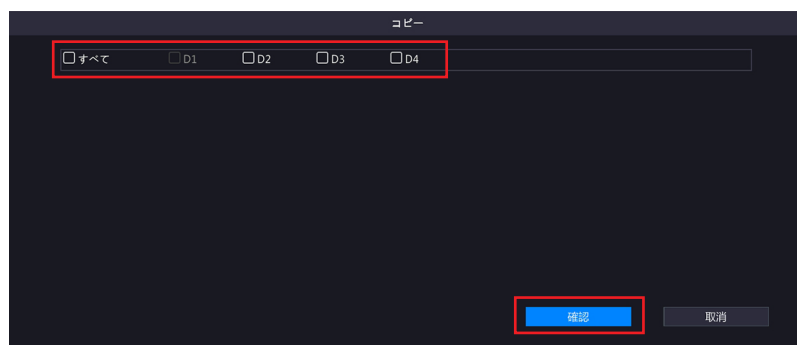
項目	内容
カメラ名	スケジュール設定するカメラを選択します。 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。設定中の場合は、カメラを変更する前に、[適用] をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。
スケジュール有効	チェックを入れると、スケジュール設定が有効になります。(初期値：有効)

スケジュールをコピーする方法

① コピー元となるカメラのスケジュールを表示し、[コピー] をクリックします。



② [コピー] ダイアログボックスが表示されますので、設定をコピーするカメラにチェックを入れます。



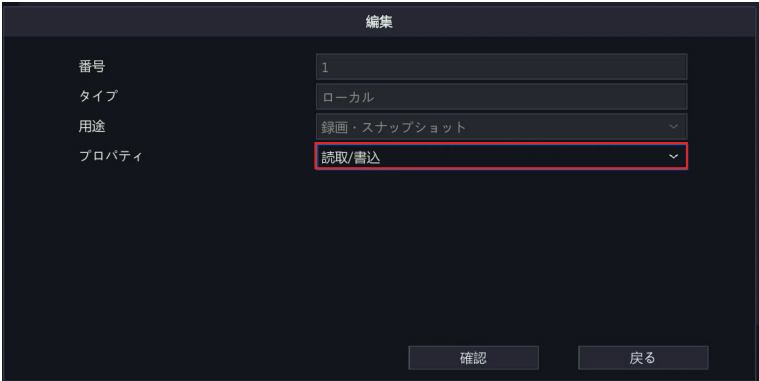
③ [確認] をクリックします。

ハードディスク

内蔵ハードディスクの設定をします。



ハードディスク編集画面



項目	内容	
プロパティ	読取 / 書込 (初期値)	読み取りと書き込みができます。
	読取専用	書き込みができなくなります。

はじめに

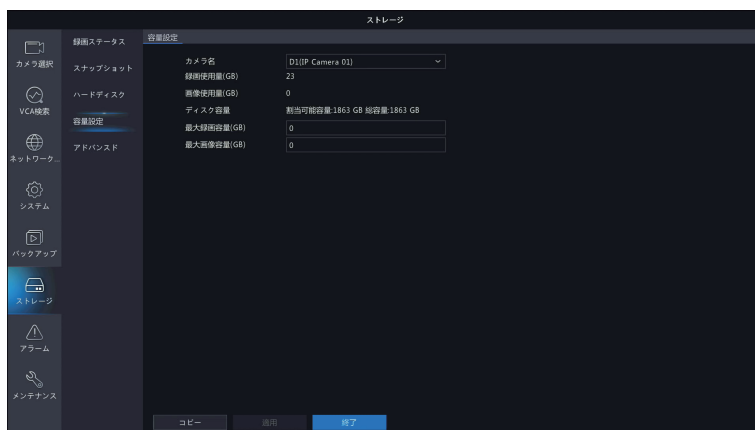
準備

設定

その他

容量設定

カメラごとに映像と画像を保存する場所を設定します。



設定を他のカメラにコピーします。

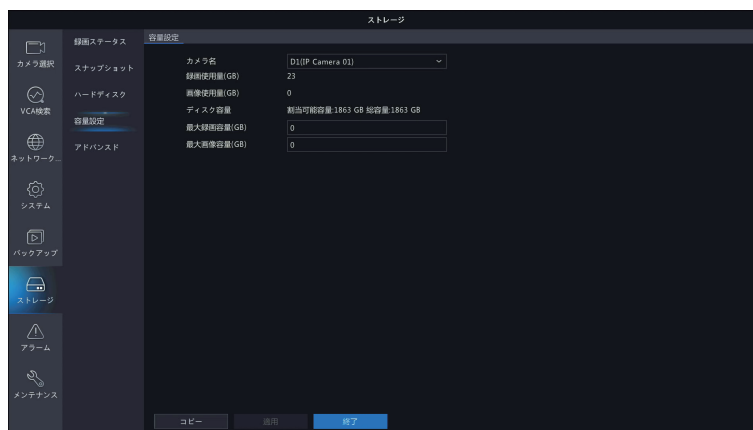
項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。設定中の場合は、カメラを変更する前に、[適用] をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。
録画使用量 (GB)	現在使用している録画データのサイズが表示されます。
ディスク容量	ディスク容量が表示されます。
最大録画容量 (GB)	保管する録画データサイズの上限を設定します。すでに録画データがある状態でこの設定値を変更すると、以前の録画データはそのまま残され、この設定をしたときから、最大録画容量分の空きが確保されます。
画像使用量と最大画像容量	保管するスナップショットのデータサイズの上限を設定します。すでにスナップショットのデータがある状態でこの設定値を変更すると、以前のスナップショットのデータはそのまま残され、この設定をしたときから、最大録画容量分の空きが確保されます。

注意

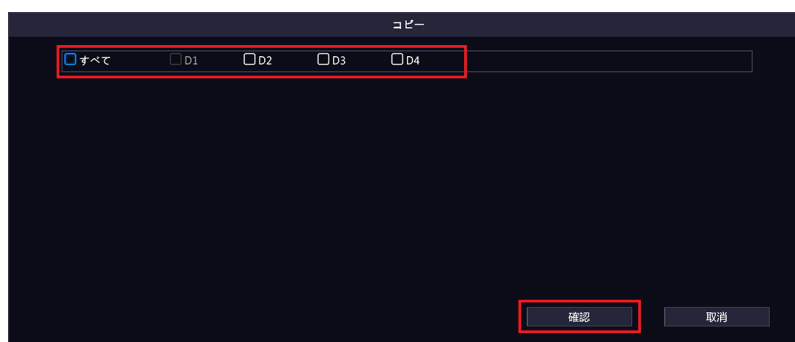
- 映像ファイルは、約 0.25GB 単位で内部管理されています。そのため、最大容量を設定した場合でも、指定した値より 0.25GB 程度多くデータが作成される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合、利用可能なスペースを最大限利用します。また、HDD がいっぱいになっても録画 / スナップショットの保存を停止せず、もっとも古いデータを上書きして（ファイル単位でデータを削除）、録画 / スナップショットの保存を継続します。

容量設定をコピーする方法

① コピー元になるカメラの内容を設定し、[コピー] をクリックします。



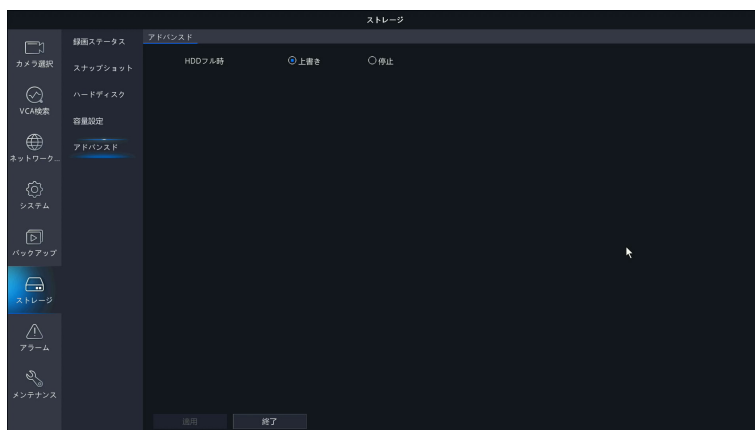
② [コピー] ダイアログボックスが表示されますので、設定をコピーするカメラにチェックを入れます。



③ [確認] をクリックします。

アドバンスド

ディスク容量が満杯になったときの動作を設定します。



項目	内容	
HDD フル時	上書き (初期値)	容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合： まず割り当てられていないスペースを使用します。 そのスペースがなくなると、もっとも古いデータが上書きされます。 容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）以外の場合： 割り当てられたスペースを使い切ると、もっとも古いデータが上書きされます。
	停止	容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合： まず割り当てられていないスペースを使用します。 そのスペースがなくなると、もっとも古いデータが上書きされます（ファイル単位でデータを削除）。 容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）以外の場合： 割り当てられたスペースを使い切ると、それ以上録画 / 画像データは保存されません。

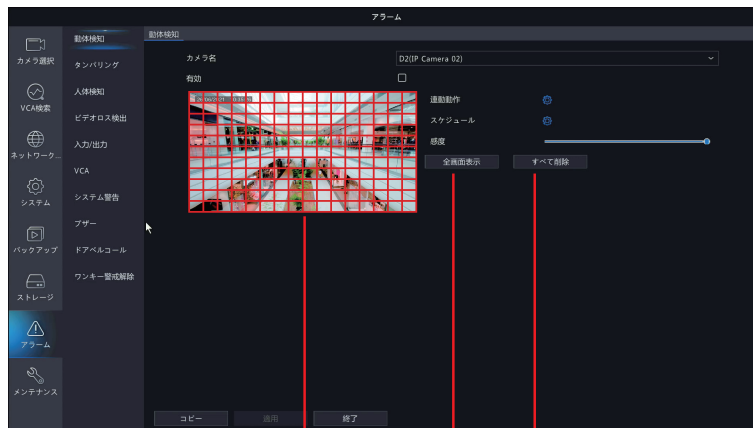
注意

容量設定画面で設定した、「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合は、「停止」を選択しても、古いデータを上書きして録画を継続します。

アラーム

動体検知

動体検知機能を有効にすると、動体を検知したときにライブビューの右上にアラームアイコンが表示されます。初期設定では動体検知は有効になっています。



動体検知範囲

動体検知範囲を画面全体に設定します。

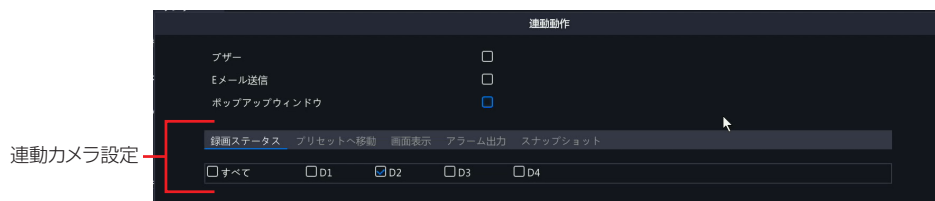
動体検知範囲設定をすべて削除します。

項目	内容
カメラ名	動体検知を設定するカメラを選択します。
有効	チェックを入れると、選択しているカメラの動体検知機能が有効になります。 (初期値：有効)
連動動作	動体検知したときに連動させる動作を設定します。 ➡ 119 ページ「動体検知連動動作画面」
スケジュール	動体検知を有効にするスケジュールを設定します。 ➡ 120 ページ「動体検知スケジュール画面」
感度	動体検知の感度を設定します。感度の数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、わずかな動きでも検知しやすくなります。[1 ～ 100（初期値：98）]

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

動体検知連動動作画面

動体検知をしたときに連動させる動作を設定します。



項目	内容
ブザー	チェックを入れると、動体検知時にブザーが鳴ります。 (初期値：無効)
Eメール送信	チェックを入れると、動体検知時に E メールを送信します。 Eメールの設定は 89 ページの「E メール」をご参照ください。 以下のような E メールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: 動体検知, カメラ ID:**)」 本文 「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N 値: ((レコーダーのデバイス番号))」 (初期値：無効)
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、動体検知時にポップアップウィンドウが表示されます。 (初期値：無効)
連動カメラ設定	連動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <録画ステータス> ⇒ 53 ページ<録画ステータス> <プリセットへ移動> ⇒ 53 ページ<プリセットへ移動> <画面表示> ⇒ 53 ページ<画面表示> <アラーム出力> ⇒ 53 ページ<アラーム出力> <スナップショット> ⇒ 112 ページ<スナップショット>

動体検知スケジュール画面

動体検知を有効にするスケジュールを設定します。

スケジュール

現在のカメラ

曜日選択

時刻

1

2

3

4

5

6

7

8

D8

月

開始時刻

終了時刻

00 00 24 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

00 00 00 00

コピー先

☐すべて ☐月 ☐火 ☐水 ☐木 ☐金 ☐土 ☐日 ☐休日

適用 確認 取消

項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ➡ 101 ページ「休日」
開始時刻／ 終了時刻	動体検知を有効にする時間を設定します。
コピー先	他の曜日に設定をコピーします。

タンパリング

タンパリング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力し、カメラを覆い隠すようなイタズラがあったときに検知できるようになります。初期設定では無効になっています。



項目	内容
カメラ名	タンパリング機能を設定するカメラを選択します。
有効	チェックを入れると、選択しているカメラのタンパリング機能が有効になります。 (初期値：無効)
連動動作	タンパリングを検知したときに連動させる動作を設定します。 ➡ 122 ページ「タンパリング連動動作画面」
スケジュール	タンパリング機能を有効にするスケジュールを設定します。 ➡ 123 ページ「タンパリングスケジュール画面」
感度	タンパリングの感度を設定します。感度の数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、検知しやすくなります。[1 ～ 100（初期値：1）]

タンパリング連動動作画面

タンパリング検知をしたときに連動させる動作を設定します。

連動カメラ設定

項目	内容
ブザー	チェックを入れると、タンパリング検知時にブザーが鳴ります。 (初期値：無効)
Eメール送信	チェックを入れると、タンパリング検知時に E メールを送信します。 Eメールの設定は 89 ページの「E メール」をご参照ください。 以下のような E メールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: タンパリング検知, カメラ ID:**)」 本文 「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N 値: ((レコーダーのデバイス番号))」 (初期値：無効)
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、タンパリング検知時にポップアップウィンドウが表示されます。 (初期値：無効)
連動カメラ設定	連動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。

はじめに

準備

設定

その他

タンパリングスケジュール画面

タンパリング検知を有効にするスケジュールを設定します。

項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ➡ 101 ページ「休日」
開始時刻／ 終了時刻	タンパリング検知を有効にする時間を設定します。
コピー先	他の曜日に設定をコピーします。

人体検知

本製品のカメラではこの機能はサポートしておりません。

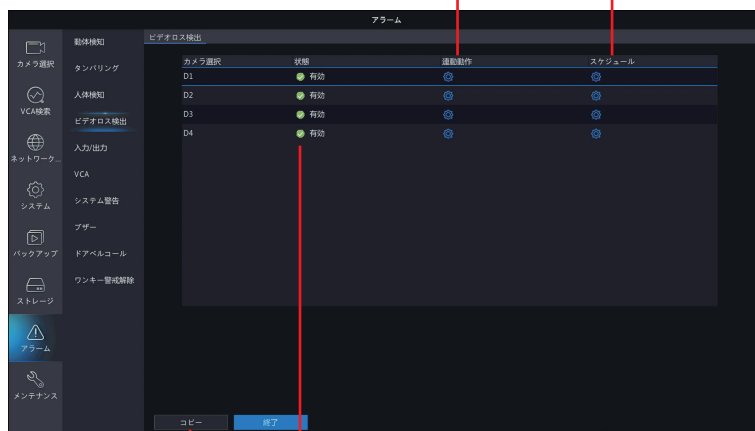
項目	内容
カメラ名	人体検知機能を設定するカメラを選択します。
有効	チェックを入れると、選択しているカメラの人体検知機能が有効になります。 (初期値：無効)

ビデオロス検出

カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力し、カメラの LAN ケーブル切断などのトラブルを検知できるようになります。初期設定では有効になっています。

ビデオロス機能を有効にするスケジュールを設定します。

ビデオロスを検知したときに連動する動作を設定します。

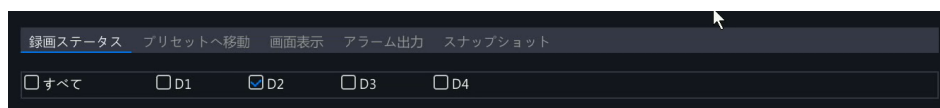


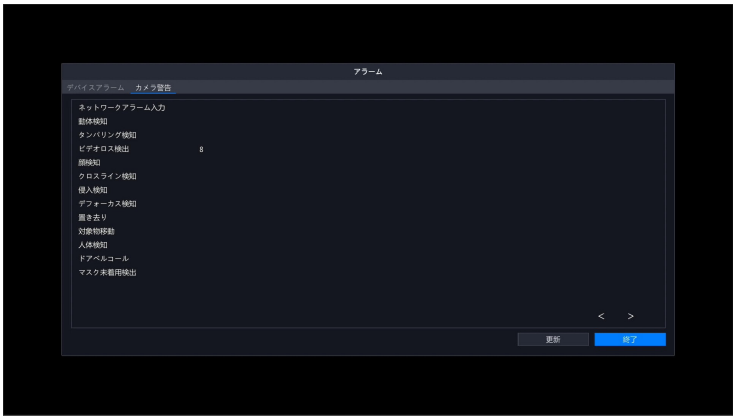
カメラごとにビデオロス機能の有効／無効を設定できます。

選択中のカメラの設定を他のカメラにコピーします。

ビデオロス連動動作画面

ビデオロスを検知したときに連動させる動作を設定します。



項目	内容
ブザー	チェックを入れると、ビデオロス検知時にブザーが鳴ります。(初期値：無効)
E メール送信	チェックを入れると、ビデオロス検知時に E メールを送信します。 Eメールの設定は 89 ページの「E メール」をご参照ください。  以下のような E メールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ: ビデオロス, カメラ ID: **)」 本文「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) デバイス名: (レコーダー名) S/N 値 (レコーダーのデバイス番号)」 (初期値：無効)
ポップアップ ウィンドウ	チェックを入れると、ビデオロス検知時にポップアップウィンドウが表示されます。  (初期値：無効)
連動カメラ設定	連動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。 <録画ステータス> ➡ 53 ページ<録画ステータス> <プリセットへ移動> ➡ 53 ページ<プリセットへ移動> <画面表示> ➡ 53 ページ<画面表示> <アラーム出力> ➡ 53 ページ<アラーム出力> <スナップショット> ➡ 112 ページ<スナップショット>



ビデオロス検知に録画の開始、プリセット、ライブビュー動作を連動させることはできません。

ビデオロススケジュール画面

ビデオロス検知を有効にするスケジュールを設定します。

スケジュール

現在のカメラ: D8

曜日選択: 月

時刻

	開始時刻			終了時刻		
1	00	00	24	00	00	
2	00	00	00	00	00	
3	00	00	00	00	00	
4	00	00	00	00	00	
5	00	00	00	00	00	
6	00	00	00	00	00	
7	00	00	00	00	00	
8	00	00	00	00	00	

コピー先: ☐すべて ☐月 ☐火 ☐水 ☐木 ☐金 ☐土 ☐日 ☐休日

適用 確認 取消

項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ➡ 101 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	ビデオロス検知を有効にする時間を設定します。
コピー先	他の曜日に設定をコピーします。

ビデオロス設定をコピーする方法

① コピー元になるカメラを選択した状態で、[コピー] をクリックします。

アラーム

ビデオロス検出

カメラ選択	状態	運動動作	スケジュール
D1	有効	有効	有効
D2	有効	有効	有効
D3	有効	有効	有効
D4	有効	有効	有効

コピー 完了

② [コピー] ダイアログボックスが表示されますので、コピーする内容とコピーするカメラにチェックを入れ、[確認] をクリックします。

コピー

コピーする内容: ☒すべて ☐アラームのON/OFF状態 ☐スケジュール

コピーするカメラ: ☒すべて ☐D1 ☐D2 ☐D3 ☐D4

確認 取消

入力／出力

※本製品ではサポートしておりません。

はじめに

準備

設定

その他

■顔検知

※本製品ではこの機能はご利用になれません。

■侵入検知

画面上にエリアを設定し、そのエリア内に設定時間以上滞在した場合に検知します。



項目	内容	
カメラ名	侵入検知を設定するカメラを選択します。	
有効	チェックを入れると、選択しているカメラの侵入検知機能が有効になります。	
連動動作	ブザー	チェックを入れると、侵入を検知した場合ブザー音を鳴らします。
	Eメール送信	チェックを入れると、侵入を検知した場合Eメールを送信します。 Eメールの設定は➡ 89 ページ「Eメール」をご参照ください。
	ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、侵入を検知した場合ポップアップウィンドウが表示されます。
	連動カメラ設定	連動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。
スケジュール	侵入検知を有効にする期間を設定します。初期設定では24時間検知に設定されています。	
ルール	検知エリア	各ルールの右の「描く」をクリックし、ライブ画面上で6つの頂点をクリックし、検知領域を設定してください。 最大で4エリア4ルールまで設定できます。 ゴミ箱をクリックすると、検知エリアを削除できます。
	感度	各エリア毎に、感度の設定をします。 1～100（初期値：50）
	時間しきい値（秒）	エリアの中に対象物が留まる時間を設定します。 1～10秒で設定できます。（初期値：1）
	パーセンテージ	エリア内で検知する面積のパーセンテージを設定できます。 （初期値：1）

■クロスライン検知

画面上の仮想ラインを対象物が横切ると検知します。



項目	内容							
カメラ名	侵入検知を設定するカメラを選択します。							
有効	チェックを入れると、選択しているカメラの侵入検知機能が有効になります。							
連動動作	ブザー	チェックを入れると、侵入を検知した場合ブザー音を鳴らします。						
	E メール送信	チェックを入れると、侵入を検知した場合 E メールを送信します。 Eメールの設定は➡ 89 ページ「E メール」をご参照ください。						
	ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、侵入を検知した場合ポップアップウィンドウが表示されます。						
	連動カメラ設定	連動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。						
スケジュール	侵入検知を有効にする期間を設定します。初期設定では 24 時間検知に設定されています。							
ルール	検知エリア	各ルールの右の「描く」をクリックし、ライブ画面上で、直線を描き、検知ラインを設定してください。 最大で 4 つの検知ラインを 4 ルールまで設定できます。 ゴミ箱をクリックすると、検知ラインを削除できます。						
	トリガー方向	検知ラインを通過する方向を設定します。1 方向または両方向を選択することができます。 <table><tr><td>A<->B</td><td>両方向</td></tr><tr><td>B->A</td><td>B から A へ 1 方向</td></tr><tr><td>A->B</td><td>A から B へ 1 方向</td></tr></table>	A<->B	両方向	B->A	B から A へ 1 方向	A->B	A から B へ 1 方向
	A<->B	両方向						
	B->A	B から A へ 1 方向						
A->B	A から B へ 1 方向							
感度	検知エリアに侵入したターゲットの割合を設定します。 数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、検知する割合が低くなります。 例）60：ターゲット全体の 40%がエリアに入ったときに検知が作動します。							

■立ち入り検知

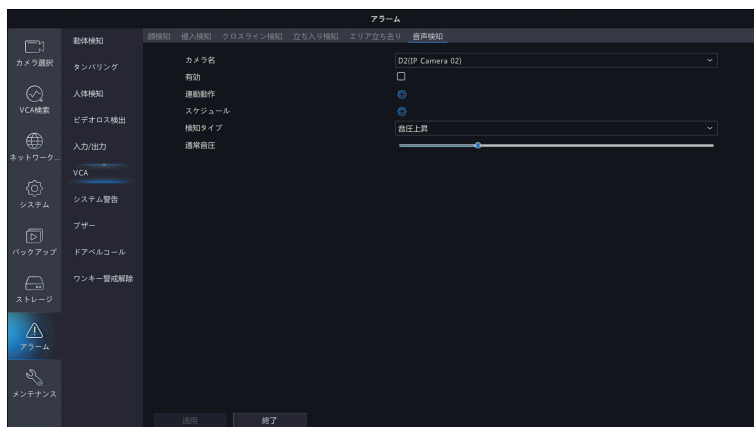
※本製品ではこの機能はご利用になれません。

■エリア立ち去り

※本製品ではこの機能はご利用になれません。

■音声検知

カメラ側の周囲の音の大きさ（音圧）の変化を検知します。



項目	内容	
カメラ名	侵入検知を設定するカメラを選択します。	
有効	チェックを入れると、選択しているカメラの侵入検知機能が有効になります。	
連動動作	ブザー	チェックを入れると、侵入を検知した場合ブザー音を鳴らします。
	E メール送信	チェックを入れると、侵入を検知した場合 E メールを送信します。 Eメールの設定は➡ 89 ページ「E メール」をご参照ください。
	ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、侵入を検知した場合ポップアップウィンドウが表示されます。
	連動カメラ設定	連動させる動作を選択した後、連動させるカメラにチェックを入れます。
スケジュール	侵入検知を有効にする期間を設定します。初期設定では 24 時間検知に設定されています。	
検知タイプ	音圧を設定することができます。	
	音圧上昇	音圧の上昇が規定値を超えるとアラームを出力します。
	音圧下降	音圧の下降が規定値を超えるとアラームを出力します。
	音圧変化	音圧の上昇または下降が規定値を超えるとアラームを出力します。
通常音圧 (しきい値)	しきい値	検知する音圧のしきい値を設定することができます。
	音圧のレベルを設定することができます。 数値が高いほど、(スライダーが右にあるほど)、検知する音圧変化は大きくなります。	

システム警告

システムに関する警告について設定します。



項目	内容																
警告タイプ	設定する警告のタイプを選択します。 <table border="1"> <tr> <td>IP 競合 (初期値)</td><td>本製品と同じネットワークにある別の機器が同じ IP アドレスを持っているとき</td></tr> <tr> <td>ネットワーク未接続</td><td>ネットワークが切断されたとき</td></tr> <tr> <td>ディスクオフライン</td><td>ディスクが正しく接続されていないか、損傷しているとき</td></tr> <tr> <td>ディスク異常</td><td>ディスクは検出しているがアクセスができないとき</td></tr> <tr> <td>不正アクセス</td><td>ログイン時に存在しないユーザー名または正しくないパスワードが入力されたとき</td></tr> <tr> <td>ハードディスクの空き容量が少ない</td><td>残りのディスク容量が 10%未満になったとき</td></tr> <tr> <td>ハードディスクフル</td><td>ディスク容量がなくなったとき</td></tr> <tr> <td>録画 / スナップショット異常</td><td>録画映像やスナップショット画像の保存場所がみつからないとき</td></tr> </table>	IP 競合 (初期値)	本製品と同じネットワークにある別の機器が同じ IP アドレスを持っているとき	ネットワーク未接続	ネットワークが切断されたとき	ディスクオフライン	ディスクが正しく接続されていないか、損傷しているとき	ディスク異常	ディスクは検出しているがアクセスができないとき	不正アクセス	ログイン時に存在しないユーザー名または正しくないパスワードが入力されたとき	ハードディスクの空き容量が少ない	残りのディスク容量が 10%未満になったとき	ハードディスクフル	ディスク容量がなくなったとき	録画 / スナップショット異常	録画映像やスナップショット画像の保存場所がみつからないとき
IP 競合 (初期値)	本製品と同じネットワークにある別の機器が同じ IP アドレスを持っているとき																
ネットワーク未接続	ネットワークが切断されたとき																
ディスクオフライン	ディスクが正しく接続されていないか、損傷しているとき																
ディスク異常	ディスクは検出しているがアクセスができないとき																
不正アクセス	ログイン時に存在しないユーザー名または正しくないパスワードが入力されたとき																
ハードディスクの空き容量が少ない	残りのディスク容量が 10%未満になったとき																
ハードディスクフル	ディスク容量がなくなったとき																
録画 / スナップショット異常	録画映像やスナップショット画像の保存場所がみつからないとき																
ブザー	チェックを入れると、選択中の警告が発生したときにブザーが鳴ります。(初期値：無効)																
E メール送信	チェックを入れると、選択中の警告が発生したときにメールを送信します。 Eメールの設定は 89 ページの「E メール」をご参照ください。 発生した警告タイプにより、以下のような E メールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:IP 競合)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:ディスクオフライン)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:ディスクエラー)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:ネットワーク未接続)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:容量不足,カメラ ID:*)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:不正アクセス)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:録画 / スナップショット異常,カメラ ID:*)」 本文「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻：(アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名：(カメラ名) ※ デバイス名：(レコーダー名) S/N 値：(レコーダーのデバイス番号)」 ※「IP 競合」「ディスクオフライン」「ディスク異常」「ネットワーク未接続」「不正アクセス」では、カメラ名は記載されません。 (初期値：無効)																

はじめに

準備

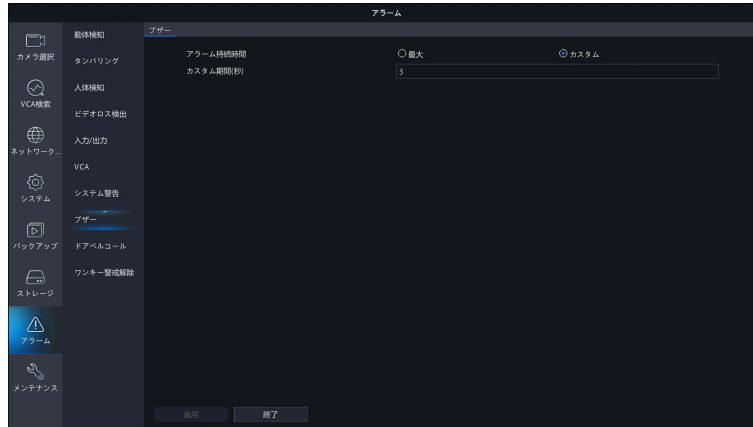
設定

その他

項目	内容
ポップアップ ウィンドウ	チェックを入れると、選択中の警告が発生したときにポップアップウィンドウが表示されます。検知されたアラームの数が表示されます。 (初期値：無効)

ブザー

ブザーを鳴らす時間を設定します。



項目	内容	
アラーム持続時間	最大	最大の時間ブザーを鳴らします。
	カスタム（初期値）	指定した秒数ブザーを鳴らします。
カスタム期間（秒）	ブザーを鳴らす秒数を設定します。 [1 ～ 600（初期値：30）]	

ドアベルコール

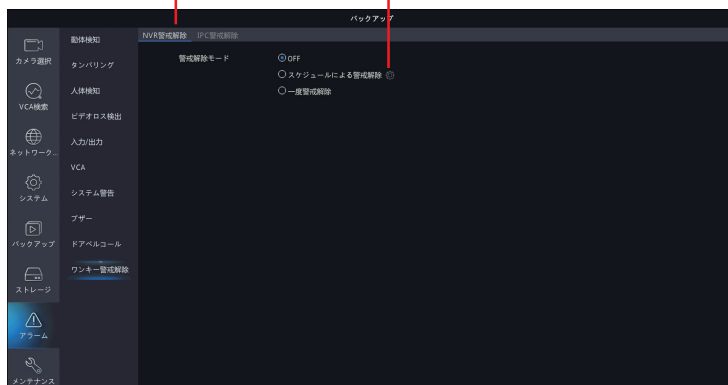
本製品のカメラではこの機能はサポートしていません。

ワンキー警戒解除

すべてのアラーム設定をまとめて、解除することができます。

警戒解除スケジュールを設定します。

NVR警戒解除を選択します。
(IPC警戒解除は機能しません)



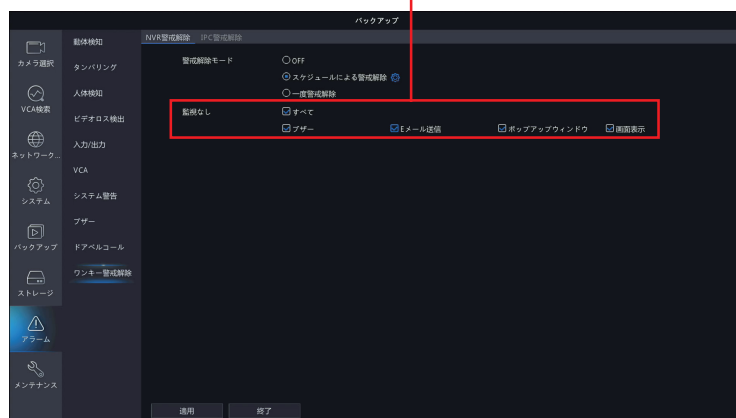
項目	内容
OFF	警戒解除の設定をしていません。
スケジュールによる警戒解除	アラーム解除するスケジュールを設定します。
一度警戒解除	警戒解除する期間を設定します。

スケジュールによる警戒解除

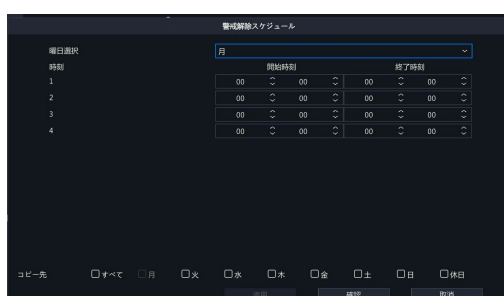
警戒解除するスケジュールを設定します。

①解除する警戒を選択します。

警戒解除する項目を選択します。



②スケジュールによる警戒解除の  をクリックします



項目	内容
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は以下をご参照ください。 ➡ 101 ページ「休日」
開始時刻／終了時刻	警戒解除する時間を設定します。
コピー先	他の曜日に設定をコピーします。

③設定後、[適用] をクリックして設定を完了します。

一度警戒解除

警戒解除する期間を設定します。

①解除する警戒を選択します。

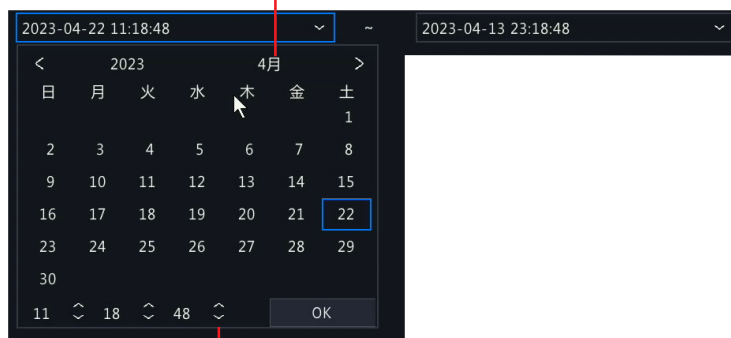
警戒解除する項目を選択します。



項目	内容
警戒解除時間	警戒解除する期間を設定します。

②開始側と終了側の日付と時間を設定します。

日付を設定します



時間を設定します

メンテナンス

システム情報

■基本情報

システムの基本情報を表示します。



■カメラ選択

カメラの状態を表示します。



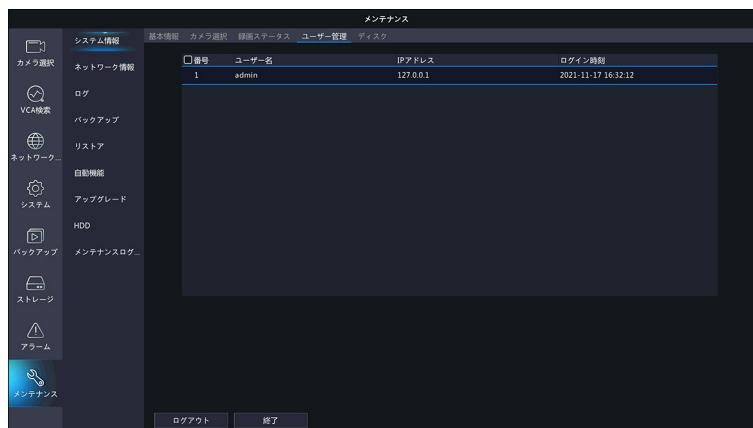
■録画ステータス

録画の状態を表示します。



■ユーザー管理

現在管理画面にログインしているユーザーを表示します。



■ディスク

ハードディスクの状態を表示します。

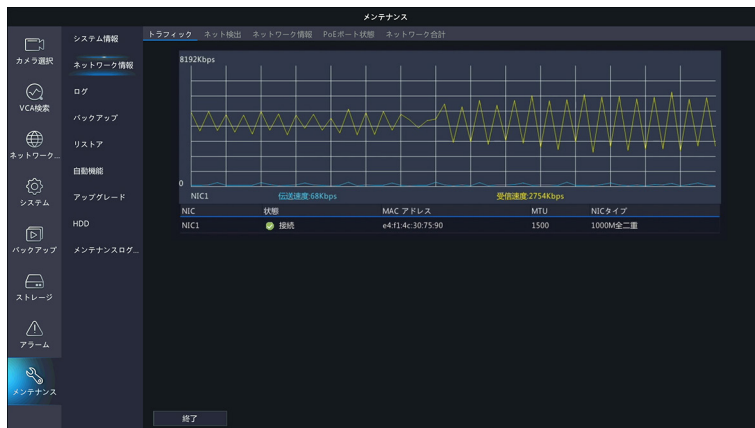


ネットワーク情報

■トラフィック（ネットワークフロー）

※ Web 管理画面上では「ネットワークフロー」と表示されます。

ネットワークに流れているデータ量をリアルタイムに折れ線グラフで表示します。青い線は、本製品から送出しているデータ量、黄色い線は本製品が受信しているデータ量を表します。



はじめに

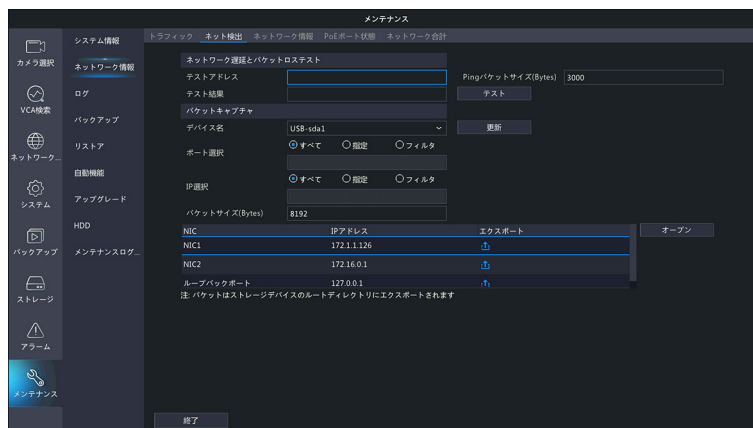
準備

設定

その他

■ネット検出

ネットワーク遅延とパケット損失率をテストすることができます。また、パケットを USB ストレージに保存できます。



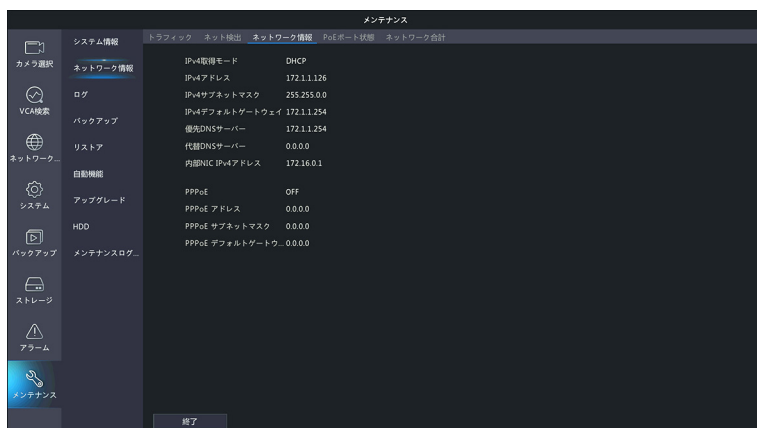
ネットワーク遅延とパケットロステスト	ネットワーク遅延とパケット損失率をテストすることができます。 <table border="1"> <tr> <td>テストアドレス</td><td>テスト送信するアドレスを設定します。</td></tr> <tr> <td>Ping パケットサイズ (Bytes)</td><td>テスト送信するパケットのサイズを設定します。 [64 ~ 4000 (初期値: 3000)]</td></tr> <tr> <td>テスト結果</td><td>[テスト] ボタンをクリックすると、テスト結果が表示されます。</td></tr> </table>	テストアドレス	テスト送信するアドレスを設定します。	Ping パケットサイズ (Bytes)	テスト送信するパケットのサイズを設定します。 [64 ~ 4000 (初期値: 3000)]	テスト結果	[テスト] ボタンをクリックすると、テスト結果が表示されます。		
テストアドレス	テスト送信するアドレスを設定します。								
Ping パケットサイズ (Bytes)	テスト送信するパケットのサイズを設定します。 [64 ~ 4000 (初期値: 3000)]								
テスト結果	[テスト] ボタンをクリックすると、テスト結果が表示されます。								
パケットキャプチャ (ネットワークパケットの書き出し)	本製品に接続している USB ストレージにパケットをキャプチャして保存することができます。 [書き出し (📁)] をクリックすると、キャプチャが保存されます。 ファイル名は、「(NIC 名) (日付) (時間).pcap」の形式で保存されます。 [オープン] をクリックすると、USB ストレージの内容が表示されます。 キャプチャしたデータは「取消」をクリックするか、USB ストレージが一杯になるまで保存されます。 <table border="1"> <tr> <td>デバイス名</td><td>キャプチャを保存するデバイスを選択します。</td></tr> <tr> <td>ポート選択</td><td>キャプチャのポート番号と IP アドレスを指定します。</td></tr> <tr> <td>IP 選択</td><td></td></tr> <tr> <td>パケットサイズ (Bytes)</td><td>保存するパケットのサイズを設定します。</td></tr> </table>	デバイス名	キャプチャを保存するデバイスを選択します。	ポート選択	キャプチャのポート番号と IP アドレスを指定します。	IP 選択		パケットサイズ (Bytes)	保存するパケットのサイズを設定します。
デバイス名	キャプチャを保存するデバイスを選択します。								
ポート選択	キャプチャのポート番号と IP アドレスを指定します。								
IP 選択									
パケットサイズ (Bytes)	保存するパケットのサイズを設定します。								



- パケットキャプチャは本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。
- 詳細な進行状況は表示されませんが終了するまでお待ちください。
- パケットが Web 管理上ですでに開始されている場合は、パケットをキャプチャすることはできません。

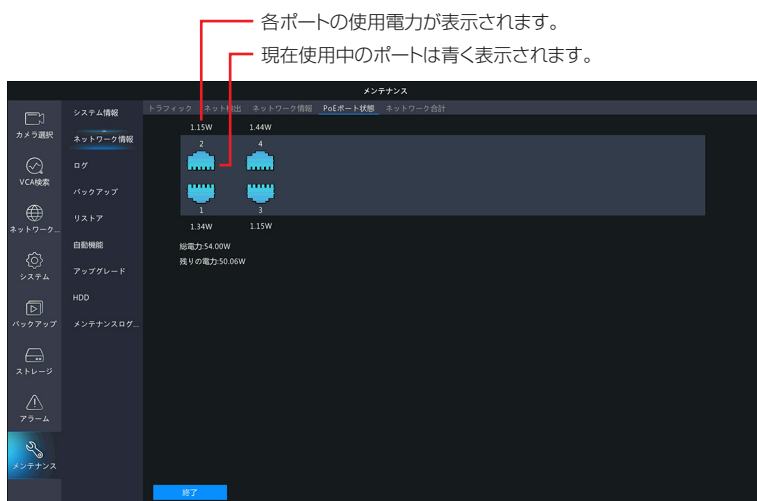
■ネットワーク情報

ネットワーク情報を表示します。



■PoE ポート状態

PoE ポートの状態を表示します。



■ネットワーク合計

ネットワーク帯域の使用状況を表示します。

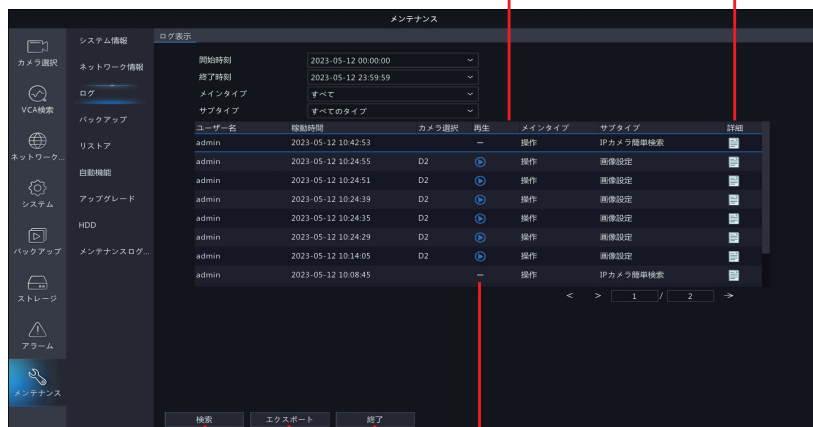


ログ

ユーザーが実行した操作とデバイスのステータスの履歴を表示します。

指定した条件でログリストが時系列に表示されます。

ログの詳細を表示します。



クリックすると、イベント開始1分前から
イベント終了10分後の映像を見ることができます。

ログ表示を終了します。

ログをUSBストレージデバイスに書き出します。

検索した条件でログを検索します。

項目	内容
開始時刻	ログを取得する時間を設定します。
終了時刻	
メインタイプ	ログの種類（大項目）を選択します。[すべて]を選択することもできます。 [アラーム・システム警告・操作・通知・すべて（初期値）]
サブタイプ	ログの種類（小項目）を選択します。[すべてのタイプ]を選択することもできます。選 択したメインタイプの項目により、選択できる項目が異なります。



ライブビューの表示に切り替えると、ログに「IP カメラ簡単検索」のログが残ることがあります。

バックアップ

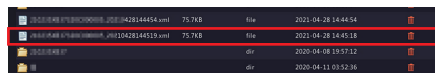
■インポート / エクスポート

設定情報を USB ストレージデバイスに保存したり、保存した設定情報を読み込むことができます。

USBストレージデバイスのパーティションを選択します。



設定情報をxml形式のファイルに書き出します。



数字と日付情報が組み合わさったファイル名で保存されます。

書き出した設定情報で設定内容を復元します。

診断情報をファイルに書き出します。

ストレージデバイス上に新規フォルダを作成します。



システム設定の読み込みを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更を行っていた場合は、読み込み後に再設定してください。ストレージデバイス上に新規フォルダを作成します。

設定内容を復元する方法

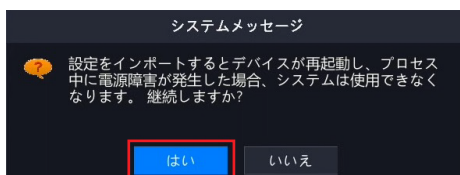
- ① 設定情報を書き出した xml ファイルを選択します。
- ② [インポート] をクリックします。



①

②

- ③ 確認のダイアログボックスが表示されますので、[はい] をクリックしてシステムを再起動します。



はじめに

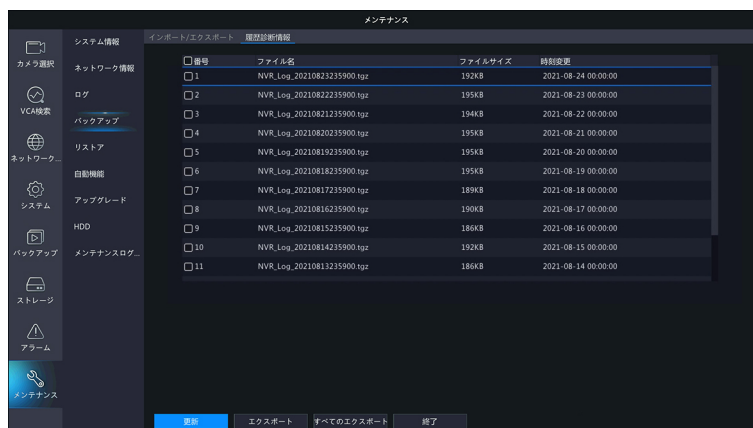
準備

設定

その他

履歴診断情報

診断情報を 14 日間保管します。空き容量が満杯になると、一番古い情報が上書きされます。



診断情報のファイルをUSB に書き出します。

現在表示されている診断情報のファイルをUSBに書き出す場合は、「すべてのエクスポート」をクリックするか、書き出したい履歴診断情報の番号にチェックを入れ、画面左下の「エクスポート」をクリックします。



本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。

リストア

設定をデフォルトあるいは工場出荷時の設定に戻すことができます。実行すると、システムが再起動します。



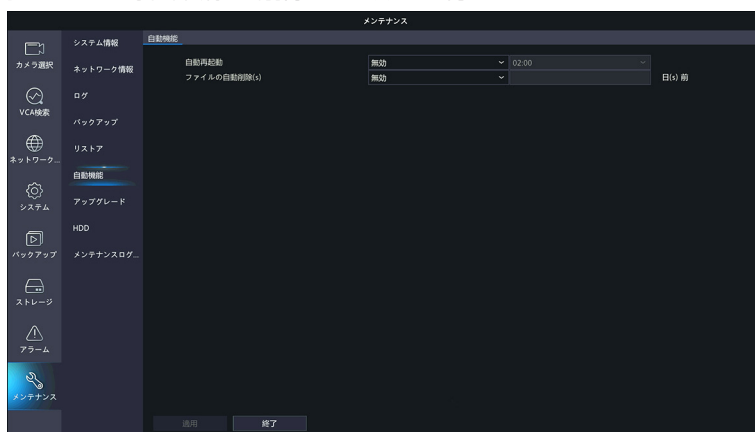
項目	内容
デフォルト	ネットワーク設定とユーザー設定をのぞいて設定をデフォルトの状態に戻します。
工場出荷設定	設定をすべて工場出荷時に戻します。ネットワーク設定およびユーザー設定も初期化されます。



カメラ側に設定が保存される内容に関しては、この機能で工場出荷設定に戻すことができない項目もあります。カメラの工場出荷設定も合わせて実行してください。

自動機能

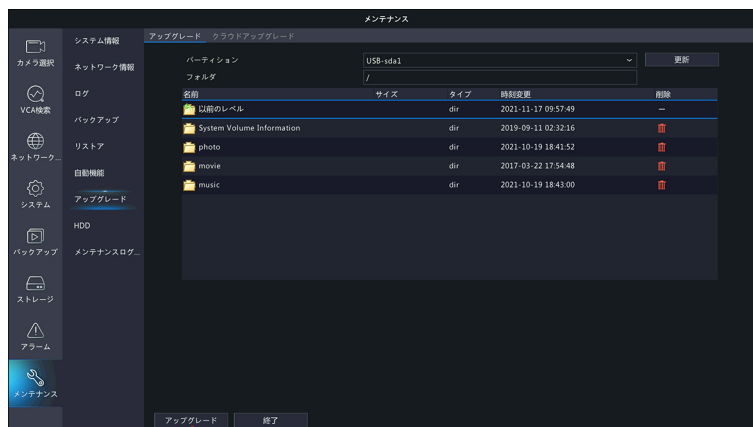
指定した時間に、再起動したり、録画映像を削除する設定を行います。



項目	内容
自動再起動	自動的に再起動する曜日と時間を設定します。
ファイルの自動削除 (S)	自動的にファイルを削除する曜日と時間を設定します。削除されるファイルは録画された映像です。

アップグレード

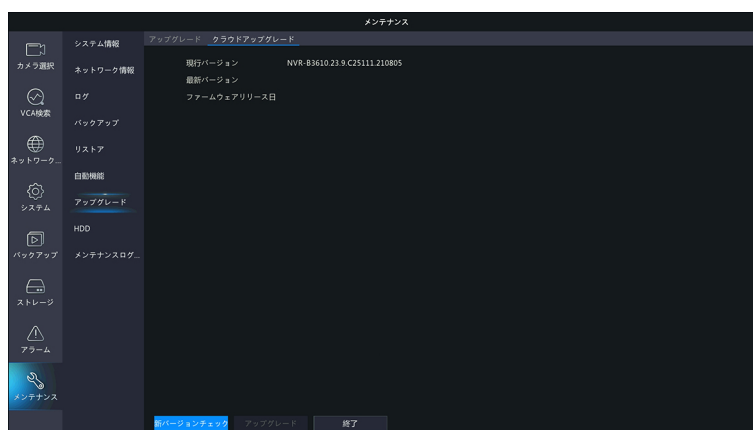
DX アンテナ Web サイトからあらかじめダウンロードしておいたファームウェアファイルを指定して本製品のシステムをアップデートします。



ファームウェアファイルを選択したあとにクリックすると、アップグレードが開始されます。

クラウドアップグレード

クラウドに接続している場合、新しいバージョンを確認できます。



HDD

■ S.M.A.R.T テスト

ハードディスクのヘッド、プラッタ、モーター、および回路をチェックして、それらの正常性状態を評価します。

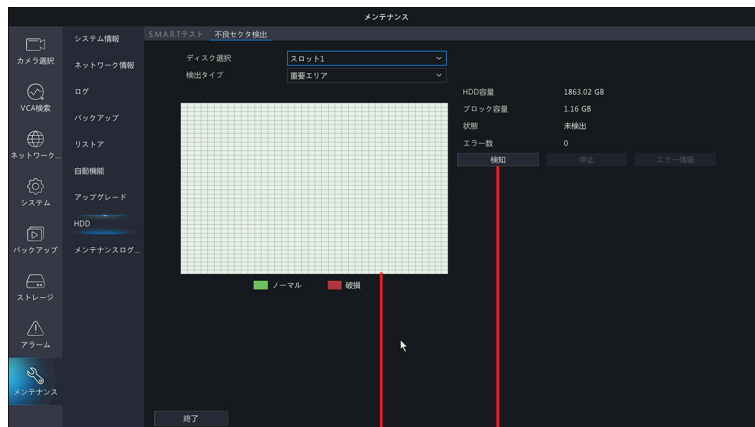
重要 このテストの実行中は、ほかの操作は行わないでください。



項目	内容						
ディスク選択	評価するディスクを選択します。						
評価の種類	<table><tr><td>不足</td><td>比較的簡易な評価を行います。</td></tr><tr><td>拡張</td><td>より徹底した評価を行います。</td></tr><tr><td>運搬</td><td>おもにデータ伝送の問題を検出します。</td></tr></table>	不足	比較的簡易な評価を行います。	拡張	より徹底した評価を行います。	運搬	おもにデータ伝送の問題を検出します。
不足	比較的簡易な評価を行います。						
拡張	より徹底した評価を行います。						
運搬	おもにデータ伝送の問題を検出します。						
評価の状態	評価の状態が表示されます。						
メーカー	ハードディスクの情報が表示されます。						
モデル							
ファームウェアバージョン							
ディスク温度 (°C)							
稼働時間 (日)							
自己評価							
総合評価	評価結果が表示されます。[失敗] と表示された場合は、故障する可能性が高いので、すぐにディスクを交換することをおすすめします。						

■ 不良セクタ検出

ハードディスクに不良セクタがないかチェックします。



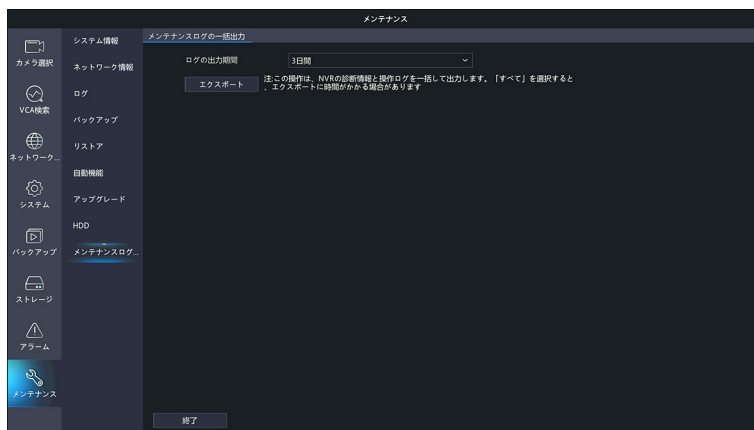
チェック結果が表示されます。 チェックを開始します。

項目	内容	
ディスク選択	チェックするディスクを選択します。	
検出タイプ	チェックする範囲を選択します。	
	重要エリア	ディレクトリなどのデータ管理エリアをチェックします。
	全検出	すべての範囲をチェックします。

メンテナンスログ

■メンテナンスログの一括出力

NVR の診断情報と操作ログを一括して出力します。



項目	内容
ログの出力期間	[1 日 / 3 日 (初期値) / 7 日 / すべて]

はじめに

準備

設定

その他

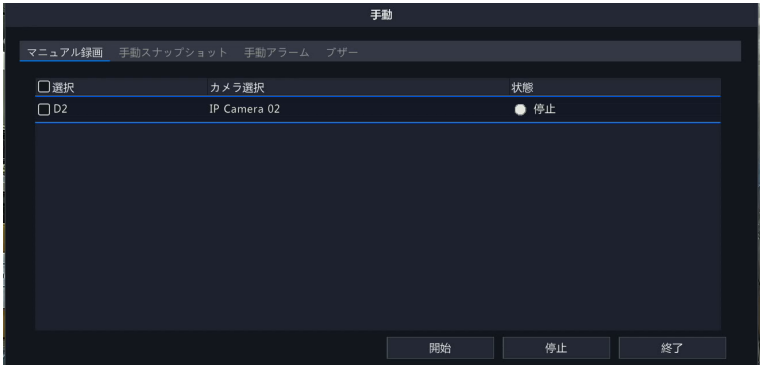
手動

ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから「手動」をクリックすると、手動の画面が表示され、「録画」「スナップショット」「アラーム」「ブザー」を手動で設定／解除できます。



マニュアル録画

手動で選択したカメラの録画を開始・停止します。



項目	内容
カメラ選択	カメラ名が表示されます。
状態	録画状態が表示されます。

手動スナップショット

手動で選択したカメラのスナップショットを開始・停止します。



項目	内容
カメラ選択	カメラ名が表示されます。
状態	録画状態が表示されます。

手動アラーム

手動でアラームにトリガーを設定します。

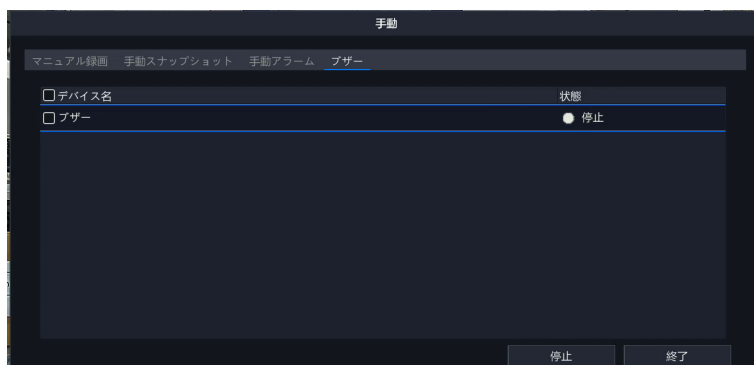
※本製品ではサポートしておりません。



項目	内容
トリガー	トリガーの状態が表示されます。

ブザー

ブザーを手動で停止します。

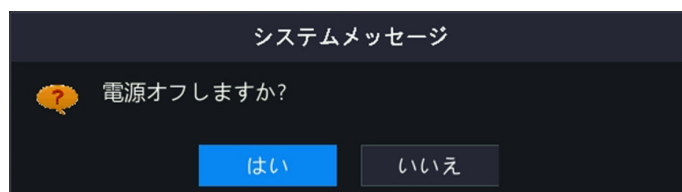


項目	内容
状態	ブザーの状態が表示されます。

電源オフ

電源オフ

システムのログアウト、再起動、電源オフを行います。



- 電源オフを行っても、本製品の電源は完全には切れません。
電源を遮断する場合は、AC アダプターのプラグを本体から抜きます。
- 電源オフ後に電源を再投入するときは、AC アダプターを抜き差しします。

設定—ブラウザーから Web 管理画面にアクセスする

Web 管理画面について

本製品の管理画面は、LAN 経由でパソコン上のウェブブラウザからアクセスすることもできます。

1 管理用 PC と本製品のレコーダーを LAN ケーブルで接続し、Microsoft Edge または Google chrome を開き、以下のページを表示します。

http://192.168.1.30

- 管理用 PC の IP アドレスを「192.168.1.100」など同じネットワークセグメント内に設定し、ブラウザから上記アドレスにアクセスしてください。



ルーターなど DHCP サーバー機能がある機器を接続すると、「192.168.1.30」ではアクセスできなくなります。その場合は、本製品に割り振られている IP アドレスを入力してアクセスしてください。

本製品とモニターを HDMI ケーブルで接続し、ログインします。

ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。「メニュー」→「ネットワーク」で「基本」「TCP/IP」を表示し、DHCP 有効のチェックを外し、「適用」を押してください。このとき、IPv4 アドレスに記載されている値が、本製品の IP アドレスとなります。

2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力してログインします。

ユーザー名：設定したユーザー名（初期設定は admin）

パスワード：設定したパスワード（初期設定は 123456）



- admin ユーザーで複数の PC からでもログインすることができます。
この場合、設定変更などを保存する場合には、最後に保存した人の設定が有効になります
- Web 管理画面にログインするためのパスワードは、モニター管理画面と共通です。すでに変更済みの場合は、変更されたパスワードを入力してください。
- [最新のプラグインをダウンロードしてインストールするには、...] という黄色い帯が表示されたら、クリックし、以下の手順でプラグインをインストールしてください。
 - ① [最新のプラグインを...] の文字をクリックします。
 - ② 画面上部に [WebPlayer.exe はデバイスに...] の確認メッセージが表示されますので、[保存] をクリックして、ダウンロード完了後に [ファイルを開く] をクリックします。
 - ③ [このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?] というダイアログボックスが表示されますので、[はい] を選択します。
インストールが始まります。
 - ④ インストールが完了すると、WebPlugin のセットアップウィザード完了のダイアログボックスが表示されますので、[完了] をクリックします。

すでにプラグインをインストール済みの状態で再インストールを行うと、以下のエラーメッセージが表示されます。

すでに古いバージョンの SurveillanceViewer がインストールされているため、このバージョンをインストールできません。「コントロールパネル」の「アプリと機能」を使用してインストール済みの SurveillanceViewer を削除してください。

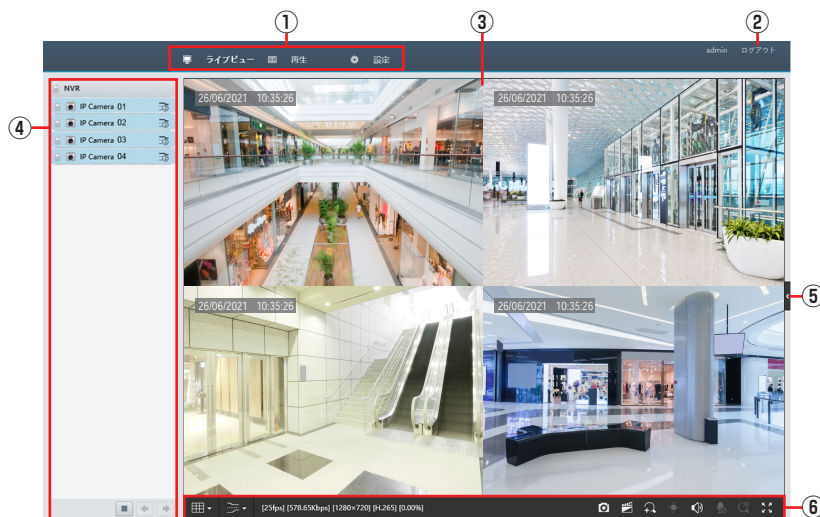
重要

初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。

ログイン後、パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。

➡ 172 ページ「ログインパスワードを変更する」

ホーム画面



※ご使用の環境により、ライブビュー画面に切り替わった直後に、4ch モデルにもかかわらず 9 分割の画面が表示される場合があります。

その場合は、数秒後に正常な 4 分割の画面に切り替わりますので、そのままお待ちください。

番号	項目	内容	
①	メインメニュー	ライブビュー	ライブビュー画面を表示します。
		再生	再生画面を表示します。 ➡ 26 ページ「録画映像を再生する」
		設定	管理画面を表示します。 ➡ 66 ページ「設定リファレンス編」
②	ログアウト	管理画面からログアウトします。	
③	ライブビュー	本製品に接続しているネットワークカメラのライブビューが表示されます。	
④	カメラ選択リスト	ライブビューに表示するカメラをクリックして選択することができます。	
			クリックすると、双方向通話機能がオンになります。 ※本製品ではサポートしておりません。
			接続中のネットワークカメラです。
			未接続のネットワークカメラです。
			ストリームを切り替えます。
			映像の再生／停止を切り替えます。
⑤	コントロールパネル	PTZ 制御パネルと画像調整パネルを表示します。 ※ PTZ 制御は本製品ではサポートしておりません。	
		➡ 157 ページ「ツールメニュー」	
⑥	ツールメニュー	➡ 157 ページ「ツールメニュー」	

はじめに

準備

設定

その他



パスワードをデフォルトのものから変更していない場合は、以下のパスワード変更ダイアログが表示されます。

パスワードを変更してください

古いパスワード

新しいパスワード

パスワード(確認)

Note: If NVR is added to managing platform, you also need to edit the passw...

確認

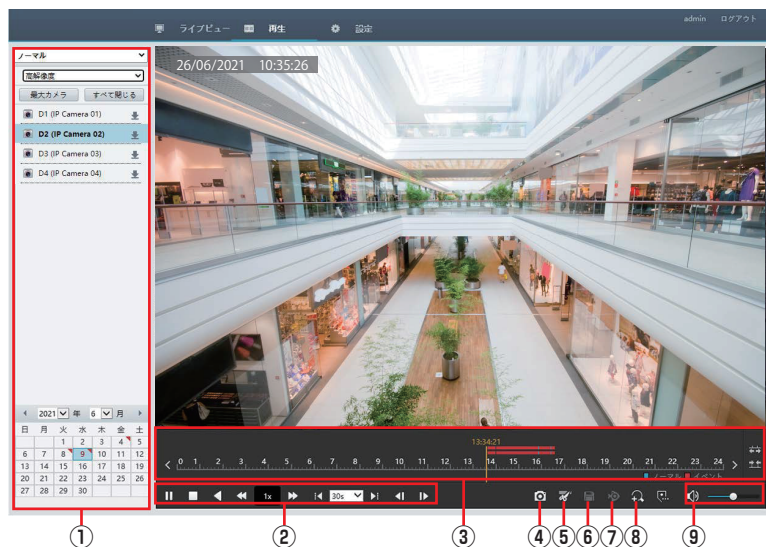
- 入力フィールドの外側をクリックすると、入力フィールドにカーソルが一瞬表示され入力可能になったように見える場合がありますが、実際には入力できない状態ですので、フィールドを正しくクリックしてからパスワードを入力してください。

ツールメニュー



番号	項目	内容
①	画面分割数	画面の表示レイアウトを選択します。
②	ストリームタイプ	表示する映像のストリーム形式を選択します。
③	映像情報	フレームレートや解像度など映像の情報を表示します。
④	スナップショット	スナップショットを保存します。
⑤	録画	映像を録画し、ダウンロードします。  この機能は Web 管理画面を使用しているパソコンに直接記録するものです。設置のときなどに、どのような映像が撮れるのかのサンプル作成などの目的に使用するものですので、Web 管理画面にログインできるすべてのユーザーが使用できます。
⑥	デジタルズーム	映像を拡大表示します。クリック後、拡大したい範囲をドラッグして指定します。
⑦	コントロールパネル	コントロールパネルを開き、カメラのズーム操作（対応カメラのみ）や、映像の画質を調整することができます。 ※本製品ではサポートしていません。
⑧	スピーカー音量	カメラから入る音声の音量を調整します。
⑨	マイク音量	カメラから出る音声の音量を調整します。 ※本製品ではサポートしていません。
⑩	3D ポジショニング	3D ポジショニング機能のオン／オフを切り替えます。 ※本製品ではサポートしていません。
⑪	全画面表示	ライブビュー画面を全画面表示します。ESC キーを押すと、元の画面に戻ります。

再生画面



番号	項目	内容
①	動画選択	パネル再生したい動画を選択します。➡ 160 ページ「動画選択パネル」
②	コントロール パネル	▶ / ⏸ 再生／一時停止 ■ 停止 ◀ 逆再生 ◀ / ▶ 再生速度ダウン／再生速度アップ 一時停止中にこのボタンを操作すると再生が再開されます逆再生のときには速度ダウンボタンで「-1x」より遅い速度（-1/2x、-1/4x など）は設定できません 1x 再生速度表示 ◀ 30 / ▶ 30 30 秒巻き戻し／ 30 秒早送り ◀ / ▶ コマ戻し／コマ送り
③	タイムライン	前日のタイムラインに移動します。 タイムラインの拡大表示 翌日のタイムラインに移動します。 タイムラインの縮小表示
④	スナップショット	スナップショットを保存します。

はじめに

準備

設定

その他

番号	項目	内容
⑤	クリッピング	ビデオの一部を切り取って保存することができます。 タイムライン上の切り取りを開始したい位置でクリック後、クリッピングボタンをクリックし、タイムライン上の終了したい位置でもう一度クリックして指定します。 切り取られる箇所は水色で表示されます。
⑥	保存	クリッピングした箇所の映像をダウンロードします。
⑦	デジタルズーム	画面の一部を拡大表示します。ボタンをクリックした後、拡大したい箇所をドラッグして拡大します。
⑧	カスタムタグ	追加選択中の再生位置に任意の名前のタグを付けます。
⑨	音量	スライダーで音量を調整します。 スピーカーアイコンをクリックするとミュート（消音）になります。

動画選択パネル

再生する動画を選択します。

■ノーマル

すべての録画映像を日付から検索して再生します。

動画の解像度を選択します。

映像の表示／非表示を切り替えます。

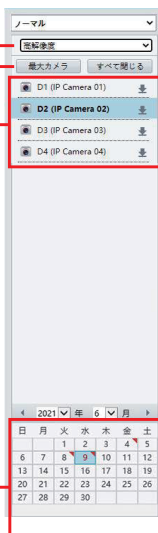
最大 カメラ	すべてのカメラ映像を 表示します。
すべて 閉じる	すべてのカメラ映像を 非表示にします。

表示するカメラを選択します。

をクリックすると、録画映像を
ダウンロードできます。

映像を再生する日付を選択します。

映像データがある日は、
右上に印があります。
赤い印：イベントがある映像です。
青い印：イベントがない映像です。



■イベント

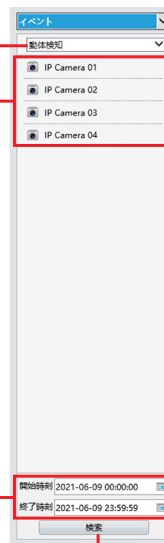
イベントで映像を検索します。

検索するイベントを選択します。

検索するカメラを選択します。

映像の時刻を指定します。

設定した条件で検索します。



■タグ

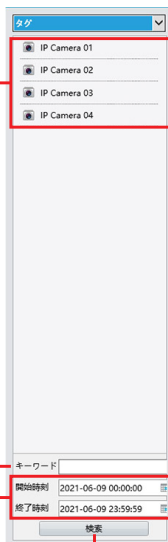
タグのある映像を検索して再生します。

検索するカメラを選択します。

タグをキーワードで検索します。

映像の時刻を指定します。

設定した条件で検索します。



■スマート

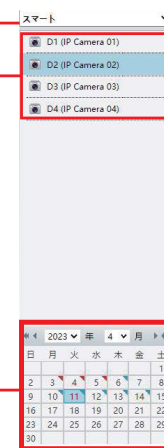
スマート検知した録画映像を日付から検索して再生
します。

検索するイベントを選択します。

検索するカメラを選択します。

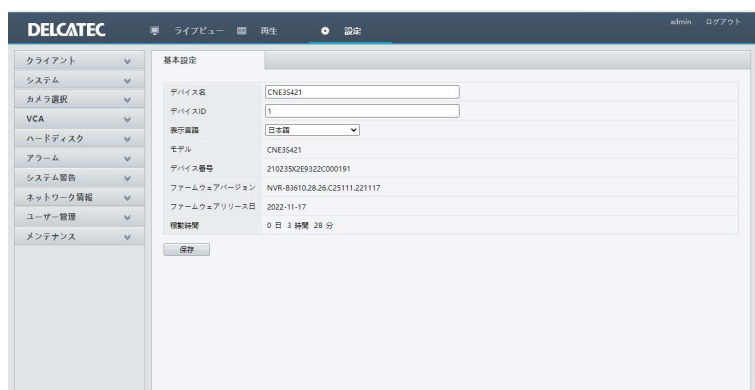
映像を再生する日付を選択します。

映像データがある日は、
右上に印があります。
赤い印：イベントがある映像です。
青い印：イベントがない映像です。



設定画面

Web ブラウザー上で本製品の設定を行います。設定内容はモニター管理画面とほぼ同じです。
※実際の画面と本書の記載内容が異なる場合がありますが、ご了承ください。



●クライアント

メニュー項目	内容	ページ
クライアント	管理用 PC 側の設定を行います。	164 ページ

●システム

メニュー項目		内容	ページ
基本設定		本製品の basic 情報を設定します。	—
画面表示		モニター管理画面の表示に関する設定を行います。「シーケンス間隔」の設定が可能です。この機能も Web 管理画面でのライブビュー切り替えではなく、モニター管理画面で切り替え機能です。	96 ページ
時刻	時刻	本システムの時刻を設定します。	99 ページ
	カメラの時刻同期	カメラの時刻をレコーダーに合わせる設定を行います。	100 ページ
サマータイム		サマータイムを設定します。	100 ページ
休日		休日を定義します。定義した休日は、録画スケジュールを設定するときに利用します。	101 ページ
セキュリティ	IP アドレスフィルタリング	指定した IP アドレスから本製品へのアクセスを許可または禁止することができます。	105 ページ
	HTTPS	HTTPS の設定を行います。	165 ページ
	ONVIF 認証	ONVIF 認証の設定を行います。	106 ページ
	SSH	SSH 接続のオン・オフ設定を行います。	165 ページ
	ARP 応答保護	ARP 保護の設定を行います。	107 ページ
	ウォーターマーク	不正な変更を防ぐためにビデオのカスタム情報を暗号化します。	107 ページ

●カメラ選択

メニュー項目		内容	ページ
カメラ 選択	カメラ選択	新しくカメラを追加したり、接続しているカメラの設定をすることができます。	166 ページ
	アドバンス ド	接続しているネットワークカメラのファームウェアをアップデートします。	168 ページ
エンコード		映像のエンコード設定を行います。	73 ページ
画面表示 設定	基本	映像上に表示される文字の設定を行います。	77 ページ
	画面 表示内容	映像上に任意の文字列を表示します。	168 ページ
画像		映像の画像設定を行います。	78 ページ
スケ ジュール	録画スケ ジュール	録画スケジュールを設定することができます。	110 ページ
動体検知		動体検知機能を設定します。	118 ページ
ビデオロス検出		検出スケジュールとカメラからの映像信号が失われたときの動作を設定します。	125 ページ
タンパリング		タンパリングスケジュールの設定とカメラが覆われたときの動作を設定します。	121 ページ
プライバシーマスク		映像の一部を覆いたいときに設定します。	83 ページ
スナップショット		スケジュールまたはイベント起動によって撮影されるスナップショットの画質と間隔の設定を行います。	76 ページ
人体検知		(本製品のカメラではこの機能はご利用になれません。)	124 ページ

●VCA

メニュー項目	内容	ページ
顔検知	(本製品のカメラではこの機能はご利用になれません。)	55 ページ
侵入検知	設定したエリアに侵入する対象物を検知します。	
クロスライン検知	画面上の仮想ラインを対象物が横切ると検知します。	
立ち入り検知	(本製品のカメラではこの機能はご利用になれません。)	
エリア立ち去り		
音声検知	カメラ側が周囲の音の大きさ（音圧）の変化を検知します。	

●ハードディスク

メニュー項目	内容	ページ
ハードディスク	内蔵ハードディスクの設定をすることができます。	114 ページ
容量設定	カメラごとに映像と画像を保存する容量を設定します。	115 ページ
アドバンスド	ディスク容量が満杯になったときの動作を設定します。	117 ページ

●アラーム

メニュー項目	内容	ページ
アラーム入力	(本製品のカメラではこの機能はご利用になれません。)	—
アラーム出力	(本製品のカメラではこの機能はご利用になれません。)	—
手動アラーム	(本製品のカメラではこの機能はご利用になれません。)	—
ブザー	ブザーが鳴りやむまでの時間を設定します。	127 ページ
ドアベルコール	(本製品のカメラではこの機能はご利用になれません。)	127 ページ
ワンキー警戒解除	すべてのアラーム設定をまとめて、一時的に解除する設定をします。	135 ページ

●システム警告

メニュー項目	内容	ページ
システム警告	システムに関する警告について設定します。	127 ページ

●ネットワーク

メニュー項目	内容	ページ
TCP/IP	TCP/IP の設定をします。	87 ページ
PPPoE	PPPoE の設定をします。	90 ページ
P2P	P2P の設定をします。	88 ページ
DDNS	DDNS の設定をします。	88 ページ
ポート	ポートの設定をします。	91 ページ
ポートマッピング	ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。	92 ページ
E メール	アラーム発生時に送信する Eメールの設定をします。	89 ページ
マルチキャスト	本製品に接続する Web クライアントの数が多いときは、マルチキャストを使用することができます。	93 ページ
FTP	あらかじめ設定している FTP サーバーに自動で映像をアップロードする設定をします。	94 ページ

●ユーザー管理

メニュー項目	内容	ページ
ユーザー管理	ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。	102 ページ

●メンテナンス

メニュー項目	内容	ページ
ログ	ユーザーが実行した操作とデバイスのステータスの履歴を表示します。	142 ページ
HDD	S.M.A.R.T テスト	147 ページ
	不良セクタ検出	147 ページ
ユーザー管理	現在管理画面ログインしているユーザーを表示します。	138 ページ
ネットワーク情報	ネットワーク情報	141 ページ
	PoE ポート状態	141 ページ
カメラ選択	カメラ選択で設定したカメラの状態表示	166 ページ
録画ステータス	レコーダーの録画状態表示	110 ページ
パケットキャプチャ	パケットキャプチャの設定を行います（メンテナンス用）	169 ページ
メンテナンス	メンテナンス	170 ページ
	履歴診断情報	144 ページ
メンテナンスログの一括出力	NVR の診断情報と操作ログを一括して出力します。	149 ページ

クライアント

Web 設定画面にアクセスする PC との通信、映像を保存するフォルダなどの設定を行います。

項目	内容	
デフォルトのライブストリーム	デフォルトで表示するストリームを選択します。 [メインストリーム／サブストリーム（初期値）／サードストリーム]	
画像比率	フル（初期値）	映像を画面に合わせて伸縮し、全画面表示します。
	比例	オリジナルの画面比率を保持します。
ビデオモード	リアルタイム優先	ネットワークが良好な状態にある場合に選択します。
	きれいを優先（初期値）	ライブビデオのタイムラグを短くしたい場合に選択します。
録画ファイルサイズ	録画する映像の最大ファイルサイズを設定します。 [256MB / 512MB / 1GB（初期値）]	
ファイル保存先	映像データを Web 設定画面上から保存するときの保存先フォルダです。	
ライブビュープロトコル	TCP（初期値）	通常選択します。
	マルチキャスト	本製品でマルチキャストを有効にした場合のみ選択します。

システム—セキュリティ—HTTPS

セキュリティを確保するために HTTPS を使用することができます。



項目	内容
HTTPS	HTTPS を使用する場合はオンを選択します。[ON / OFF (初期値)]
証明書の種類	証明書の種類が表示されます。
証明書作成	証明書を作成します。

システム—セキュリティ—SSH

カメラに SSH 接続して、設定や操作をすることができます。



項目	内容
SSH	SSH を使用するときは、チェックを入れます。

カメラ選択—カメラ選択

新しくカメラを追加したり、接続しているカメラを設定することができます。また、各カメラの Web 管理画面にアクセスすることもできます。



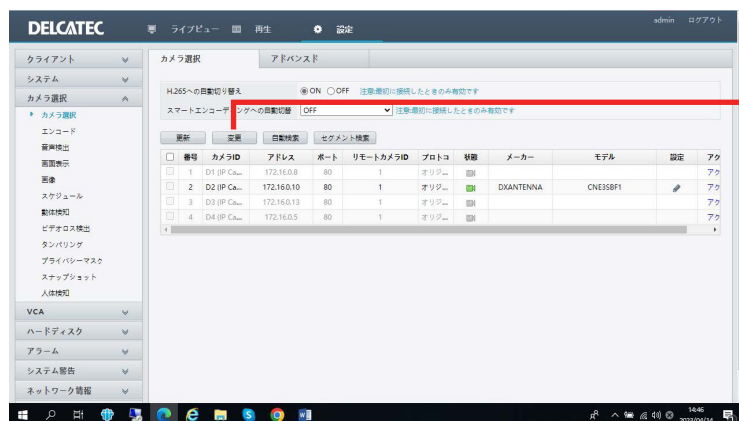
オンラインのカメラは
緑色で表示されます。

カメラにログインします

ここに表示されているチェックボックスは使用できません。選択したいカメラの行をクリックすると背景色が青色に変わり、選択された状態になります。

項目	内容
H265 への 自動切り替え	ON に設定すると、本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的にビデオ圧縮形式を「H.265」に設定します。[ON / OFF (初期値)]
スマートエンコー ディングへの自動 切り替え	ON に設定すると、本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的にスマートエンコーディング設定を選択した設定値に設定します。[ON / OFF (初期値)]
更新	表示を最新の情報に更新します
変更	選択しているカメラの設定を変更します。 ➡ 167 ページ「カメラ変更画面」
自動検索	ネットワーク上にあるカメラを自動的に検索します。
セグメント検索	ネットワーク上にあるカメラのセグメントを指定して検索します。

■カメラ選択



変更をクリックすると、
下記の設定画面を表示し
ます。

【設定画面】



項目	内容	
モードを追加	プラグ&プレイ	接続されたカメラを自動的に設定します。
	IP アドレス (初期値)	IP アドレスを指定して接続します。
	MyDDNS	外部クラウドサービスでの DDNS を利用して接続します。
	ドメイン名	DDNS サービスを利用して接続します。ネットワークカメラ側で DDNS の設定が必要となります。
プロトコル	カメラとの通信プロトコルを選択します。	
	プライベート (初期値)	通常は [プライベート] のままで使用します。
	ONVIF	ONVIF で接続します。
	カスタム	カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。プリセットは [プロトコル] ボタンをクリックすると設定することができます。
IP アドレス	変更できません。	
ポート	変更できません。	
ユーザー名	カメラの接続情報を設定します。	
パスワード		
リモートカメラ ID	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。通常は初期値「1」のままでご利用ください。	
長距離伝送	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。現在はご利用いただくことができません。通常は初期値「OFF」のままでご利用ください。	

カメラ選択—アドバンスド

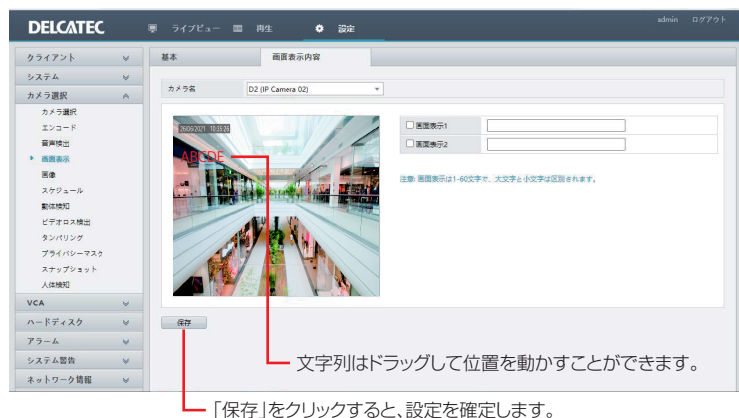
本製品に接続しているネットワークカメラのファームウェアをアップデートします。



- ① DX アンテナ Web サイトからダウンロードした ZIP ファイルを選択します。
- ② アップデートするカメラを選択します。
- ③ [更新] ボタンを押してアップデートを開始します。

カメラ選択—画面表示—画面表示内容

映像上に任意の文字列を表示します。



項目	内容
カメラ名	設定するカメラを選択します。
画面表示	チェックを入れて、テキスト欄に画面上に表示したい文字を入力します。

メンテナンス—パケットキャプチャ

カメラと本製品の間を流れるパケットをキャプチャできます。

※本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。

項目	内容
NIC 選択	パケットの送信先を指定します。
パケットサイズ	テスト送信するパケットのサイズを設定します。
IP	送信するアドレスを設定します。
ポート	送信するポートを設定します。



- 本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。
- パケットキャプチャはシステムデバッグ時の機能です、詳細な進行状況は表示されませんが終了するまでお待ちください
- モニター管理画面でパケットキャプチャをしているときは、同時に Web 管理画面上でパケットキャプチャを行えません。

メンテナンス—メンテナンス—メンテナンス

システムの再起動やアップグレードを行います。

項目	内容
再起動	クリックすると、システムを再起動します。
デフォルト	ネットワークとユーザーの設定以外を工場出荷時の状態に戻します。
工場出荷設定	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。
エクスポート	環境設定ファイルを書き出してダウンロードします。
環境設定のインポート	書き出した環境設定ファイルを読み込んで復元します。
アップグレード	DX アンテナ Web サイトからあらかじめダウンロードしておいたファームウェアファイルを指定して本製品のシステムをアップデートします。
クラウドアップグレード	クラウドに接続している場合、新しいバージョンを確認できます。
診断情報	診断情報を保存することができます。
クライアントログ	クライアントログが保存されているフォルダを開きます。
自動再起動システム	自動的に再起動する曜日と時間を設定します。
ファイルの自動削除	日にちを指定して自動的にファイルを削除する設定ができます。



システム設定の読み込みを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更している場合は、読み込み後に再設定してください。

その他—こんなときは

共通

ログインパスワードを変更する

管理画面にログインするパスワードを変更します。パスワードとユーザー名は、モニター管理画面と Web 管理画面で共通のものを使用します。

重要

- 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
- 変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。
- パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。

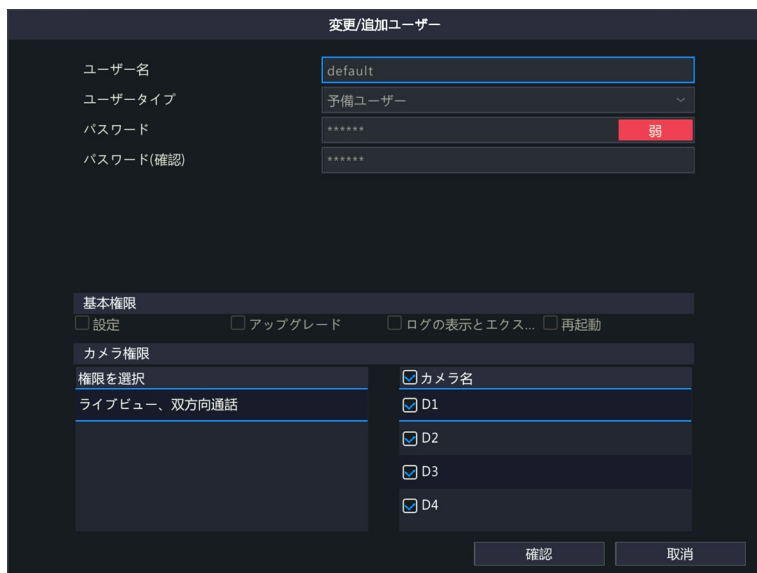
パスワードを紛失した場合は、お客様環境でパスワードを初期化する方法はありません。サポートセンターへお問い合わせください。

■モニター管理画面から変更する場合

- 1 ホーム画面でメニューアイコン  をクリックするか、ライブビュー画面で右クリックしてメニューをクリックします。
- 2 認証画面が表示されますので、パスワードを入力して【ログイン】をクリックします。管理画面が表示されます。
- 3 【システム】 — 【ユーザー管理】 をクリックします。ユーザー設定画面が表示されます。



- 4 パスワードを変更したいユーザー名の【編集】アイコンをクリックします。パスワードの入力画面が表示されたときは、パスワードを入力します。
- 5 【変更 / 追加ユーザー】画面が表示されますので、【パスワード】と【パスワード（確認）】欄に新しいパスワードを入力し、【確認】をクリックします。



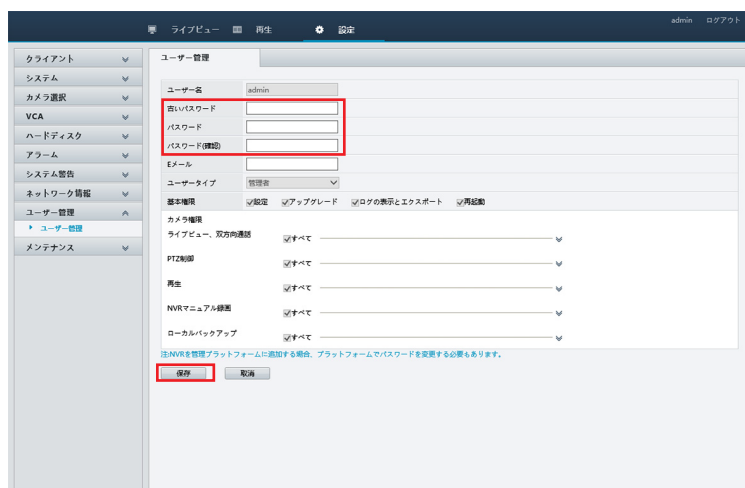
- 9 ～ 20 文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。
※使用できない記号… / \ : * ? ' " < > | % &

■ Web 管理画面の場合

- 1 Web 管理画面から【設定】 — 【ユーザー管理】 をクリックします。
- 2 管理者としてログインしている場合は、【ユーザー管理】 画面が表示されますので、パスワードを変更したいユーザーを選択し、【変更】 をクリックします。



- 3 【パスワード】 と 【パスワード (確認)】 欄に新しいパスワードを入力し、【保存】 をクリックします。



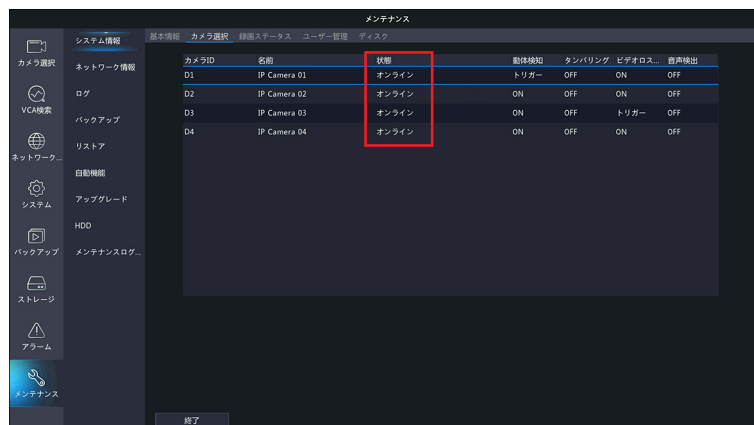
- 9 ～ 20 文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。
※使用できない記号… / \ : * ? ' " < > | % &



5 回ログインに失敗するとロックされます。その場合は、解除されるまで約 10 分お待ちください。

カメラを本製品に接続しても認識されない

- 1 モニター管理画面の【メンテナンス】 — 【システム情報】 — 【カメラ選択】 を表示します。
Web 管理画面の場合は、【メンテナンス】 — 【カメラ選択】 を表示してください。



- 2 【状態】列にある原因を確認します。

ネットワーク未接続の場合

- ・ オフラインのとき、カメラとレコーダーの接続を見直してください。
- ・ オンラインのとき、カメラ選択画面で更新をクリックし、認識させるカメラ番号をダブルクリックしてカメラのIPアドレスを選択します。

モニター管理画面：【ネットワーク】

Web 管理画面：【ネットワーク】

➡ 87 ページ「ネットワーク」

ユーザー名とパスワードが間違っている場合

下記手順に従ってユーザー名とパスワードを入れなおしてください。

モニター管理画面：【カメラ選択】 — 【カメラ選択】 — 【カメラ選択】 — 【カメラ設定】

Web 管理画面：【カメラ選択】 — 【カメラ選択】 — 【カメラ選択】 — 【カメラ番号選択】 — 【変更】

➡ 68 ページ「カメラ選択」

弱いパスワードで拒否されている場合

カメラの管理画面にログインし、強固なパスワードを設定してください。

帯域不足の場合

本製品が処理可能な帯域幅に収まるように、各カメラのビットレートを下げる調整を実施してください。

ライブビューに映像が表示されない

- 映像の解像度を下げてください。
モニター管理画面：[カメラ選択] — [エンコード]
Web 管理画面：[カメラ選択] — [エンコード]
➔ 73 ページ「エンコード」
- ライブビューの表示にサブストリームを使用します。
モニター管理画面：[システム] — [画面表示] — [詳細設定]
Web 管理画面：なし
➔ 98 ページ「詳細設定」
- ライブビュー画面でカメラの切り替えができない
➔ ダブルクリックで表示させたシングルウィンドウ（1 画面表示）の時に「前」「次」ボタンがクリックできない場合、カメラウィンドウ下にある画面分割ボタンで再度 1 画面表示へ切り替えてください。

ライブビューは表示されているが録画が見つからない

- 録画スケジュールが正しく設定されているか確認してください。
モニター管理画面：[ストレージ] — [録画ステータス]
Web 管理画面：[カメラ選択] — [スケジュール] — [録画スケジュール]
➔ 110 ページ「録画ステータス」
- 本製品に設定されている時間とタイムゾーンが正しいか確認してください。
モニター管理画面：[システム] — [時刻] — [時刻]
Web 管理画面：[システム] — [時刻] — [時刻]
➔ 99 ページ「時刻」
- ハードディスクが正常に動作しているか確認してください。
モニター管理画面：[メンテナンス] — [HDD]
Web 管理画面：[メンテナンス] — [HDD]
➔ 147 ページ「HDD」
- 録画データが上書きされていないか確認する。
HDD の残り容量がなくなったときに録画データを上書きする設定になっていると、もっとも古いデータから上書きされます（ファイル単位でデータを削除）。
モニター管理画面：[ストレージ] — [詳細設定]
Web 管理画面：[ハードディスク] — [詳細設定]
➔ 117 ページ「詳細設定」

動体検知がうまく働かない

- 動体検知の設定を確認してください。
モニター管理画面：[アラーム] — [動体検知]
Web 管理画面：[カメラ選択] — [動体検知]
➔ 118 ページ「動体検知」

ネットワークカメラの映像に横縞（フリッカー）が出る

蛍光灯の光などが映像に入ると、以下のような横縞が発生する場合があります。（図はイメージです）

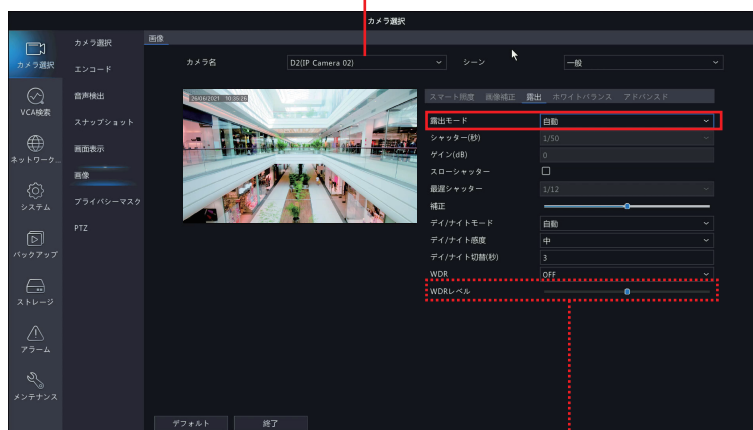


多くの場合、横縞が
上または、下方向に動きます。

フリッカーは、蛍光灯の状態、設置環境などで発生パターンが異なります。状態によっては100%抑制することができない場合があります。また、カメラを設置する際、まず照明の位置、種類を確認し、フリッカーのしやすい設置場所を避けることが一番の有効な回避手段となります。
設置場所や照明の種類を変えられない場合は、次ページの方法をお試しください。

- [露出モード] を以下のように設定すると軽減することがあります。
モニター管理画面：[カメラ選択] — [画像] — [露出]
(Web 設定画面からも、設定できます)

設定したいカメラを選択します。



WDR(明暗補正)をONにするとフリッカーがより目立ちます。
必須でない場合は、OFFに設定してください。

- [露出モード] を設定しても改善しない場合は、[補正] を MAX にしてお試しください。



マウスが動かない

- 付属のマウスを使用してください。
- USB 延長ケーブルを使用している場合は、直接本製品に接続してください。
- マウスが故障している可能性もあります。他の USB タイプのマウスに交換してお試しください。

キーボードから文字入力ができない

- USB 接続等の外部キーボードは、本製品に接続しても利用できません。
文字の入力を行う際は、画面に表示されるソフトキーボードをマウスでクリックして入力してください。

カメラの Web 管理画面で設定した設定値とは異なる設定値がレコーダーの設定画面に表示されている

- 本製品にてカメラの設定を行った後で、カメラの Web 管理画面で設定変更を行った場合、本製品の設定画面にはその変更は反映されません。
カメラの Web 管理画面で設定変更を行った場合は、本製品を再起動させてください。
カメラの WebUI でさまざまな設定が変更できますが、カメラの WebUI 側で変更した設定は本製品には反映されません。
本製品とカメラを組み合わせる場合には、ネットワークレコーダーでのみ設定の変更を行ってください。

バックアップした録画データを Windows 付属のプレイヤーで再生できない

- 本製品からバックアップした映像データは、カメラの「エンコード - ビデオ圧縮」で選択した圧縮形式 (H.264 または H.265) で出力されます。
下記アプリで H.265 形式の動画を再生する場合には、Microsoft 社のホームページから「HEVC ビデオ拡張機能」をインストールしてください。
 - ・ Windows Media Player
 - ・ Windows 10 映画&テレビアプリ

< マイクロソフト社：デバイス製造元からの HEVC ビデオ拡張機能 >

<https://www.microsoft.com/ja-jp/store/p/hevc-videoextension/9n4wgh0z6vhq>

USB デバイスで、ファイルフォルダが認識できない

- USB デバイスのファイルフォルダは、日本語など 2 バイトコードを使用することができません。

モニターに画面が映らない

- ネットワークレコーダーの初期出力解像度は 1024 × 768/60Hz です。
接続するモニターが上記解像度に対応していない場合は、それまで接続していたモニターでネットワークレコーダーの出力解像度を設定してください（96 ページ参照）。または、Web 管理画面からモニター出力解像度を変更してください（161 ページ参照）。
- Web 管理画面からモニター出力解像度を変更する
 - ① ネットワーク端子に LAN ケーブルで PC を接続します（12 ページ参照）。
 - ② PC のウェブブラウザでネットワークレコーダーの Web 管理画面にログインします（154 ページ参照）。
 - ③ [設定] — [システム] — [画面表示] の「解像度」を、ネットワークレコーダーに接続しているモニターが対応している解像度に変更します（96 ページ参照）。
Web 管理画面から画面表示解像度を変更すると、設定変更後にネットワークレコーダーが再起動しますので、ご注意ください。

画面がはみ出して切れた状態で表示される

- TV 側の映像設定によっては、レコーダーからの映像が一部表示されない状態になります。
TV のオーバースキャン機能（従来のテレビ方式との互換性を持たせるために、画面の周囲を表示しない機能）によるものです。
ジャストスキャンまたはアンダースキャン等へ設定変更してください。（設定方法について詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください）
また、レコーダー側の出力（画面表示解像度）は、お使いのテレビの画素数（水平×垂直）に近い解像度を選択してください。（96 ページ「画面表示」参照）

本製品の PoE 端子にネットワークカメラを接続すると、ネットワークカメラの IP アドレスが変更される

- 事前にカメラに対して IP アドレスを設定しても、本製品につなぐと「プラグ&プレイ」機能により、IP アドレスの設定（上書き）がされて変更されてしまいます。
IP アドレスを手動で設定する場合は、本製品にネットワークカメラ接続した後、「IP カメラ設定」画面で変更します。（69 ページ「IP カメラ設定・IP カメラ変更（カスタム）画面」）

本製品の PoE 端子につながれたネットワークカメラにネットワーク端子側のパソコンからアクセスできない

- LAN ポートにつないでいるパソコンから、ネットワークカメラの IP アドレスへ直接アクセスすることはできません。
ネットワークカメラの管理画面にアクセスするときは、ネットワークレコーダー Web 管理画面の [カメラ選択] — [カメラ選択] 画面からアクセスしてください。（166 ページ「カメラ選択—カメラ選択」）

Web 管理画面

ライブビューが表示されない

ライブビュー画面下の映像情報でビットレートが [OMbps] になっていないか確認してください。



OMbps になっている場合

ファイアウォールを無効にし、ウイルス対策プログラムを停止してください。

OMbps ではない場合

パソコンのグラフィックカードドライバが正しく機能しているか確認し、必要な場合はドライバを再インストールしてください。

ライブビュー画面でカメラの切り替えができない

ダブルクリックで表示させたシングルウィンドウ表示（1 画面表示）のときに、「前」「次」ボタンがクリックできない場合は、カメラウィンドウ下にある画面分割ボタンで、再度シングルウィンドウ表示（1 画面表示）に切り替えてください。

その他—付録編

使用上のご注意

〈本製品について〉

- 設置設定後の環境の変化などにより正常な動作が行われない場合があります。
- 電源など常時 100V が確保できるコンセントを使用してください。
- 本製品設置時、他機器など重ね置きなどせず十分なスペースに設置してください。（熱による不具合などの防止の為）
- HDD 交換によるデータ消失、不具合など保障はできません。
- 高所から落下した場合、破損や故障の原因になります。

〈お手入れ時〉

- お手入れするときは電源をオフにしてください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。変色などの原因になります。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

〈使用・取り扱いについて〉

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤作動する場合があります。
- 通気口をふさいで使用しないでください。故障の原因になります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離して使用してください。
- 長期間の使用に関して、安全にお使い頂くために専門業者による定期点検をお願いします。長期間使用すると外観上は異状がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障、事故につながる場合があります。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられており、ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますので、ご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- 潮風は保証の対象外となります。
- 防爆機能はありません。
- 本製品の取扱いは慎重にお願いいたします。落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。破損や故障の原因になります。
- 本体に強い衝撃や振動を与えると、破損や故障の原因になります。
- ご利用のネットワーク環境、被写体、アクセス数により、画像更新速度が遅くなる場合があります。
- 動きの速い物体を写した場合には、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。
- 設置したケーブルは、日光や雨風が直接当たらないようにモールなどで覆ってください。
- カメラの解像度を 4 対 3 の比率になる設定にした場合、映像は左右方向が圧縮され縦長に表示されます。

〈データの取り扱いについて〉

- 外的要因により、まれに録画できなくなる場合があります。随時、録画状態の確認をしてください。
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合がございます。本製品が廃棄、譲渡、修理などで第 3 者に渡る場合には、その取り扱いに十分にご注意ください。
- 万一、本製品内のデータが消失した場合、データの復旧につきましては、弊社ではいかなる保証もいたしかねます。



この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

設置上のご注意

〈設置場所について〉

- レコーダーは、屋内専用です。屋外での使用はできません。長時間直射日光の当たるところや、冷房・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態で使用してください。
- 照明、火災報知機、誘導灯などの既設設備の妨げにならないように設置してください。
- 以下のような場所での設置および使用はできません。
直射日光の当たる場所／プールなど、薬剤を使用する場所／厨房などの湿気、蒸気、油分の多い場所／溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所／放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所／海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所／使用温度範囲を超える場所／車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）／ほこりの多い場所

〈設置作業前の注意〉

- 当社のネットワークカメラおよびネットワークレコーダーをご使用になるネットワーク回線を、他の目的（一般業務用など）のネットワーク回線と混在してご利用いただくことは、保証いたしません。

〈雷に対する保護に関する注意〉

- LANケーブルを使って本機をネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

〈電波障害に関する注意〉

- テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

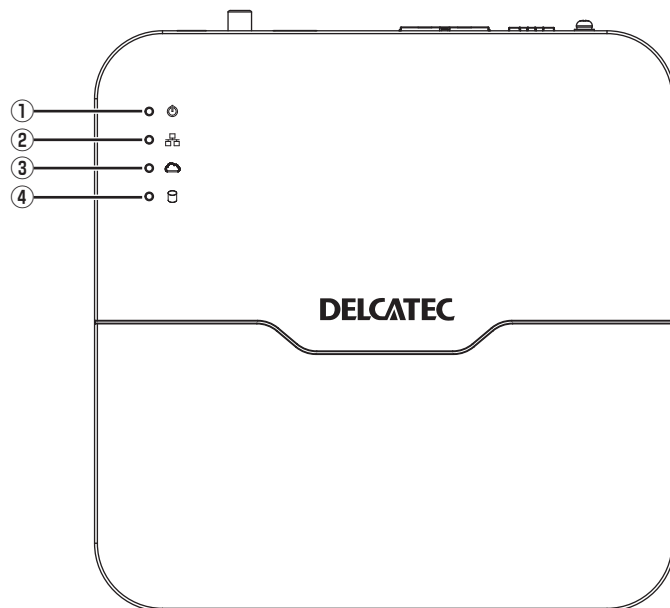
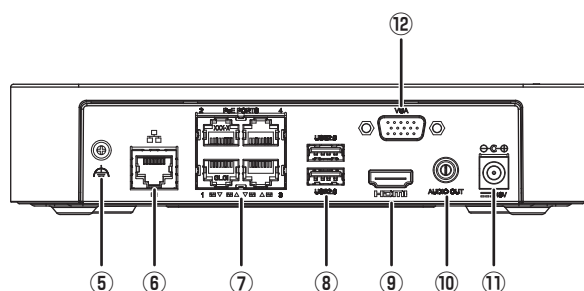
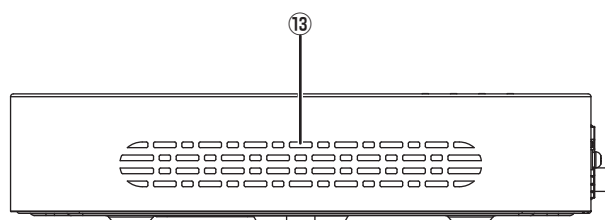
〈時刻設定に関する注意〉

- 時刻の設定については、本書の99ページ「時刻」をお読みください。

〈使用しなくなった際の注意〉

- 本製品を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

各部の名称とはたらき

本体上面**本体背面****本体側面**

①電源ランプ	点灯：正常動作中 点滅：起動中
② NET ランプ	点灯：ネットワークに接続済みです
③アラームランプ	点灯：アラーム設定中です
④ HD ランプ	点灯：ハードディスクに異常がある 点滅：データを読み込み／書き込み中
⑤アース端子	アースを接続します。
⑥ネットワーク端子	LAN ケーブルを接続します。
⑦ PoE 端子	PoE 給電に対応した RJ-45 端子です。ネットワークカメラを接続します。
⑧ USB 端子	USB 端子です。操作用のマウスや USB メモリなどを接続します。
⑨ HDMI 出力端子	モニターと HDMI 接続して本製品の管理画面を表示します。
⑩オーディオ出力	音声出力端子です。
⑪ DC 端子	電源アダプターを接続します。
⑫ VGA 出力端子	モニターと VGA 接続して本製品の管理画面を表示します。
⑬排気口	使用中はふさがらないでください。